

# 令和6年度 野鳥モニターによる 足立区野鳥調査報告書



サンコウチョウ  
令和6年4月 舎人公園にて撮影

【表紙写真】 サンコウチョウ 提供：鈴木 清文 氏  
令和6年4月 舎人公園にて撮影

【裏表紙写真】 (左上から)

チョウゲンボウ 提供：渡辺 浩 氏  
令和6年11月 荒川河川敷にて撮影

カイツブリ 提供：酒井 隆行 氏  
令和6年7月 舎人公園にて撮影

アオサギ 提供：白井 望 氏  
令和7年1月 見沼代親水公園にて撮影

カルガモの親子 提供：西崎 隆一 氏  
令和6年6月 ベルモント公園にて撮影

ツミ 提供：平石 純 氏  
令和6年7月 元淵江公園にて撮影

サンカノゴイ 提供：平石 純 氏  
令和6年11月 舎人公園にて撮影

チョウゲンボウ 提供：渡辺 浩 氏  
令和6年11月 荒川河川敷にて撮影

足立区では、野鳥モニターの皆様のご協力のもと、平成4年度から区内で野鳥の生息調査を行っております。

令和6年度は、39人の野鳥モニターが区内40地域で調査を行い、73種、延べ27,842羽の野鳥を確認しました。

昨年度と比べ、確認種数と確認個体数に大きな変化は見られませんでした。今年度はアリスイという区内で初めて確認された野鳥もありました。

区は、同様の調査を継続していくことで、野鳥を通して自然環境の変化を明らかにし、私たちが身の回りの自然環境とどの様に関わっていくべきかを考えていくきっかけにしたいと考えています。

最後に、野鳥モニターの皆様のご協力に感謝し、この場をお借りして心から感謝申し上げます。

令和7年10月 足立区 環境部 環境政策課

～ 目 次 ～

I	調査概要	1
II	調査結果	
1	年間確認種数と個体数	4
2	区内で繁殖行動が確認された野鳥	6
3	調査開始以来、初めて確認された野鳥	7
4	調査月別確認種数と確認個体数	8
5	確認個体数ベスト10及び経年変化	9
III	令和6年度野鳥モニターによる観察日誌・繁殖行動	15
	資料編	
資料1	調査月別確認種と個体数	78
資料2	ブロック別確認種と個体数	80
資料3～8	各調査月に確認された野鳥	82
資料9	年度別確認種及び個体数一覧	88
資料10	令和6年度野鳥モニター活動記録	97

# I 調査概要

## 1 目的

「野鳥モニター」による定期的な野鳥生息状況調査を継続して実施することで、自然環境の変化を把握し、環境保全のための基礎資料とする。

調査結果は広報等を通じて区民に公開することにより、身近な野鳥に関心を持ち、自然環境を大切にする意識を育てる。

## 2 調査期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

## 3 調査方法

### (1) 調査方法

調査地域をゆっくりと歩き（時速2km程度）ながら、観察された野鳥の種名と個体数を記録する。また、営巣や給餌<sup>\*</sup>等の特別な行動が観察された場合には、詳細を記録する。

<sup>\*</sup>給餌（きゅうじ：親から雛、または抱卵中のつがいに餌を与えること）

### (2) 調査日時

毎奇数月のうち各モニターが任意に選んだ1日で、午前6時から午前10時までの間の2時間程度（調査回数は各地域とも年6回）。ただし、夏季等、季節によっては、午前6時以前に調査開始可能。

### (3) 調査人数

野鳥モニター39名（令和6年4月現在）による。

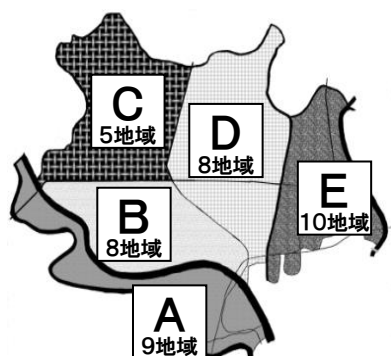
### (4) 調査項目

野外で観察されたすべての野鳥（外来種含む）の種名・個体数・営巣および給餌などの特別な行動。

## 4 調査地域

区内で野鳥が多く観察される地域、および荒川両岸の河川敷を、A～Eの5ブロックに分け、全体で40地域を調査地域として設定している。

モニター番号	地域
A-1	小台全域（河川敷含む）
A-2	新田全域（荒川右岸河川敷含む）
A-3	千住曙町、千住関屋町、千住東一・二丁目、千住仲町、日光街道以東の千住河原町及び千住橋戸町
A-4	千住五丁目、日ノ出町全域（河川敷含む）
A-5	千住桜木一丁目、千住緑町全域（隅田川含む）、日光街道以西の千住河原町及び千住橋戸町、千住宮元町
A-6	千住元町（荒川河川敷除く）、千住桜木二丁目
A-7	西新井橋～千住新橋（荒川右岸河川敷）
A-8	宮城全域（河川敷含む）
A-9	柳原一・二丁目（荒川右岸河川敷含む）
B-10	扇大橋～西新井橋（荒川左岸河川敷）
B-11	興野二丁目、扇三丁目
B-12	熊之木～江北橋（荒川左岸河川敷）
B-13	鹿浜橋～熊之木（荒川左岸河川敷）
B-14	関原二・三丁目、梅田五・八丁目、西新井栄町一丁目
B-15	千住新橋～東武線鉄橋南（荒川左岸河川敷）
B-16	西新井橋～千住新橋（荒川左岸河川敷）
B-17	江北橋～扇大橋（荒川左岸河川敷）



### 【調査地域】

Aブロック	9地域
Bブロック	8地域
Cブロック	5地域
Dブロック	8地域
Eブロック	10地域

計 40地域

モニター番号	地域
C-18	都市農業公園（新芝川含む）、芝川水門～鹿浜橋（荒川左岸河川敷）
C-19	舎人一・二丁目（隣接する見沼代親水公園含む）
C-20	舎人公園
C-21	舎人三～六丁目（毛長川含む）、古千谷本町三・四丁目
C-22	西竹の塚二丁目、伊興本町一・二丁目、東伊興二・三丁目（毛長川含む）
D-23	梅島一～三丁目
D-24	綾瀬川土手、花畑七・八丁目
D-25	島根全域
D-26	西綾瀬全域
D-27	西保木間一～三丁目
D-28	花畑三～五丁目
D-29	保木間一～三丁目
D-30	保木間四・五丁目
E-31	大谷田一丁目
E-32	大谷田二（中川含む）～五丁目
E-33	加平一～三丁目、しょうぶ沼公園
E-34	佐野一丁目、六木二丁目（中川含む）
E-35	佐野二丁目、辰沼全域、六木一丁目
E-36	神明一～三丁目、六木三・四丁目（堀川、中川含む）
E-37	神明南一・二丁目、北加平町
E-38	東和全域・谷中公園
E-39	中川五丁目（中川右岸区境まで含む）
E-40	東綾瀬公園

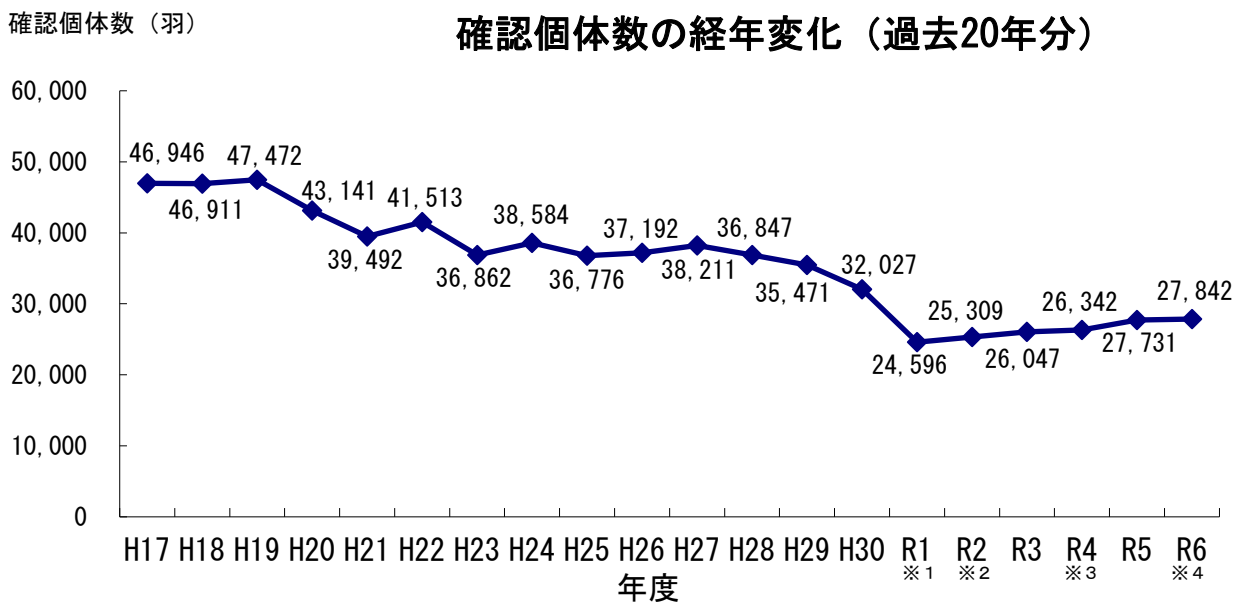
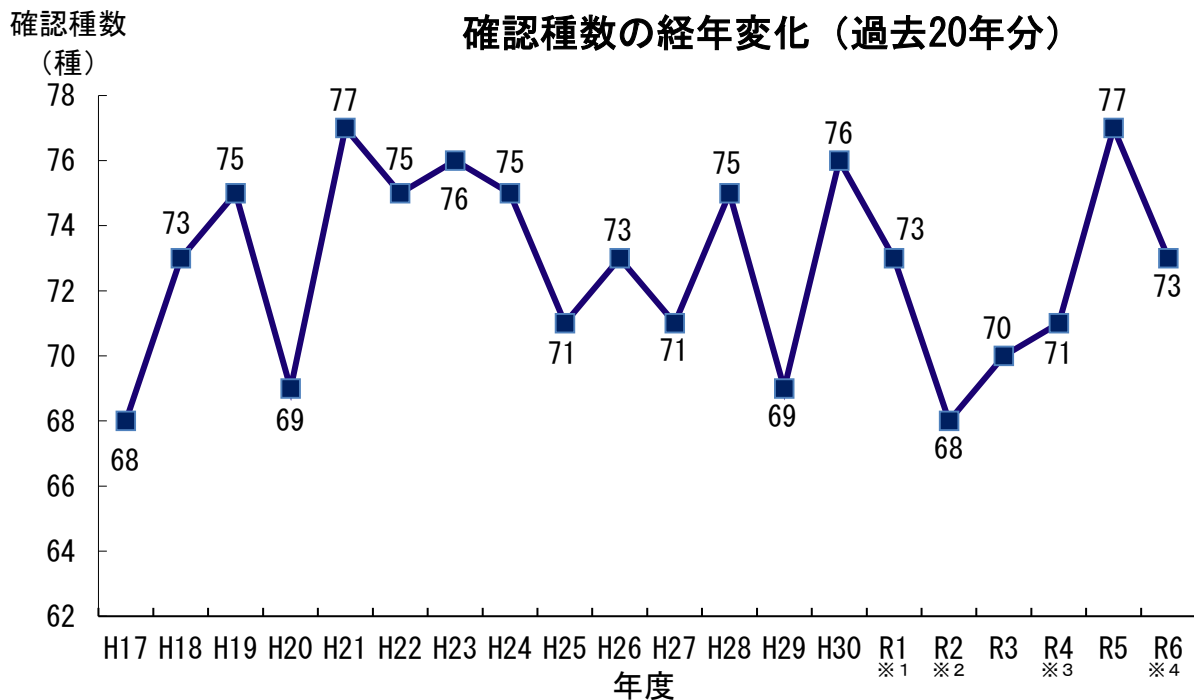
令和6年度までのモニター人数と調査地域数は以下のとおりである。

年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
モニター人数	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40	40	40	40	37	39	
調査地域数	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	

## II 調査結果

### 1 年間確認種数と個体数

令和6年度の調査で確認された野鳥は73種、延べ27,842羽、新たに確認された種はアリスイ1種であった。



※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月分調査が中止となり、年5回の調査となった。

※2 新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月分調査が中止となり、年5回の調査となった。

※3 7月にBブロックのうち一地点が調査できなかったため、7月調査のみ39地域で実施した。

※4 9月にCブロックのうち一地点が調査できなかったため、9月調査のみ39地域で実施した。

調査結果 (※並び順は「日本鳥類目録改訂第7版」に準ずる)

NO	目名	科名	種名	合計	前年度比	NO	目名	科名	種名	合計	前年度比
1	カモ	カモ	オシドリ	1	+0	45	スズメ	モズ	モズ	62	-7
2			オカヨシガモ	4	-10	46		カラス	オナガ★3	1,394	+345
3			ヒドリガモ★1	343	-99	47		ハシボソガラス★3	1,163	+53	
4			マガモ	32	+6	48		ハシブトガラス★3	1,036	+194	
5			カルガモ★1	656	-118	49		シジュウカラ	シジュウカラ	642	-83
6			コガモ	68	-34	50		ヒバリ	ヒバリ★3	17	+5
7			ホシハジロ	299	+36	51		ツバメ	ツバメ★4	202	-8
8			キンクロハジロ	194	-8	52			イワツバメ	13	+4
9			スズガモ	1	-3	53		ヒヨドリ	ヒヨドリ★4	2,629	+131
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	38	+2	54	ウグイス	ウグイス	31	-7	
11			カンムリカイツブリ	26	+5	55	メジロ	メジロ	408	-63	
12	ハト	ハト	キジバト	871	+151	56	ヨシキリ	オオヨシキリ★3	54	+18	
13	カツオドリ	ウ	カワウ★1	997	-979	57	セッカ	セッカ★3	23	-11	
14	ペリカン	サギ	アオサギ	84	-14	58	ムクドリ	ムクドリ★4	6,427	-175	
15			ダイサギ	39	-22	59	ヒタキ	シロハラ	4	+1	
16			チュウサギ	1	+0	60		ツグミ★4	277	-173	
17	コサギ	46	-8	61	ジョウビタキ	48		+11			
18	ツル	クイナ	クイナ	2	-3	62		ノビタキ	1	+1	
19			ヒクイナ	1	+0	63	イソヒヨドリ	4	-3		
20			バン★2	18	-5	64	スズメ	スズメ★4	6,753	+692	
21			オオバン★2	847	+221	65	セキレイ	ハクセキレイ	500	-25	
22	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	1	-6	66		セグロセキレイ	8	+0	
23			ヒメアマツバメ	2	-18	67		タヒバリ	73	-39	
24	チドリ	チドリ	コチドリ	9	+5	68	アトリ	カワラヒワ★4	546	+250	
25			シギ	タシギ	1	-6		69	マヒワ	11	+11
26				チュウシャクシギ	5	+2	70	ホオジロ	ホオジロ	50	+31
27				キアシシギ	6	+3	71		カシラダカ	6	-4
28		イソシギ	66	+4	72	アオジ	42		-19		
29		カモメ	カモメ	ユリカモメ★2	450	-4	73	オオジュリン	60	-20	
30				ウミネコ★2	14	-1		カモ科sp.	5	-9	
31	カモメ			4	+4		種名特定できず	ハト科sp.	2	-9	
32	セグロカモメ★2			72	-73		sp. …種名まで特定できなかったもの	カモメ科sp.	3	-1	
33	オオセグロカモメ			1	+1		H …特定の種の特徴が強く表れている交雑種	タカ科sp.	1	+0	
34	コアジサシ			35	+21			カラス科sp.	32	+16	
35	タカ	タカ	トビ	19	+0			ヨシキリ科sp.	1	+1	
36			ツミ	12	+5			ヒタキ科sp.	1	+1	
37			ハイタカ	2	+0			確認種個体数合計 (羽)		27,842	+174
38			オオタカ	3	-4			※ ★印のある種は、P11からP14に個体数の経年変化のグラフを掲載した。(★1…P11 ★2…P12 ★3…P13 ★4…P14)			
39			ノスリ	1	-1						
40	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	14	+4						
41	キツツキ	キツツキ	アリスイ(初)	1	+1		(参考) 交雑交配種	アイガモ	164	+8	
42			コゲラ	8	-1		(参考) かがぬけ	ドバト	6,542	+412	
43	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	18	+10			ワカケホンセイインコ	182	+79	
44			ハヤブサ	1	+1			ガビチョウ	5	+2	

※ (初) …本年度の調査で初めて確認された種

II 調査結果

2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

## 2 区内で繁殖行動が確認された野鳥

令和6年度にさえずり・営巣・抱卵・雛・幼鳥等の観察によって繁殖行動が確認されたのは、19種であった（交雑交配種、かごぬけ※は除く）。

※かごぬけ…飼育されていた種が野生化して定着したもの

《区内で繁殖行動が確認された野鳥（年度別）》

No.	種名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1	アオサギ													○	○					
2	イソシギ				○															
3	イソヒヨドリ																○			
4	イワツバメ	○	○	○	○	○														○
5	オオヨシキリ	○	○	○	○				○						○	○	○	○	○	○
6	オナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	カイツブリ				○						○		○	○	○*	○	●	○	○	○
8	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
9	カワセミ					○								○						
10	カワラヒワ			○	○		●					●		○	○	●		○	○	○
11	キジバト	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	コアジサシ	○							○			○				●			●	
13	ゴイサギ		○	○	○	○	●					●								
14	コゲラ			○			●													○
15	コサギ				○	○														
16	コチドリ		○			○	○						○	○	○					
17	ササゴイ	○	○		○															
18	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
19	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	セッカ																		○	○
21	チョウゲンボウ	○		○												○	(○)	○		
22	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ツミ								○				○	○	○	○	○	○	○	○
24	ハクセキレイ	○	○	○	○				○			●				○	○	○		○
25	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○*	○	○	○	○	○
26	ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	バン	○	○	○	○	○	○		○			●		○*	○*					
28	ヒバリ			○		○			○							○	○	○	○	○
29	ヒメアマツバメ	○	○																	
30	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○		○	○						○	○	○		○
31	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	メジロ			○	○															
33	モズ												○	○						
／	年度合計	18	18	20	21	17	15	9	15	8	10	15	13	16	16	18	16	18	17	19

参考《交雑交配種・かごぬけで区内で繁殖行動が確認された種（年度別）》

No.	種名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
1	アイガモ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	/	/
2	ドバト	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	○
3	ワカケホンセイインコ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	

※ 「繁殖行動の確認」とは、繁殖に伴う行動や状況等により、野鳥モニターが区内で繁殖行動をしたと判断したもの。

※ 平成26年度までは調査日に限り確認された種を計上（調査日以外を含めれば繁殖をしている種はもっと多いと考えられる）。

平成27年度報告書からは、調査日以外（過去含む）でも確認したものは掲載。

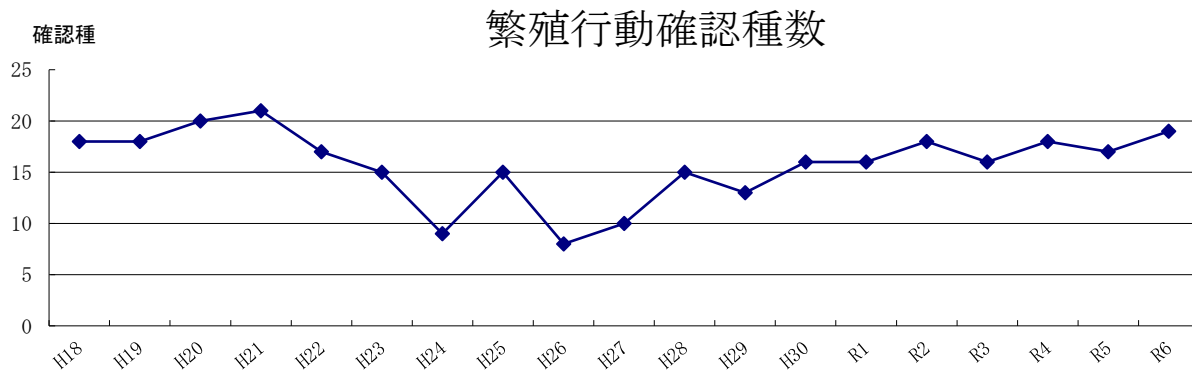
※ 種名の網掛けは、令和6年度に繁殖行動が確認された種。

※ ●＝幼鳥のみ

※ ★＝ヒアリング調査によるため、観察記録に記載なし。

※ (○)＝調査地域外で確認された種。数には含めないが、令和3年度のみ参考として掲載。

※ 交雑交配種・かごぬけも令和4年度より参考として掲載。



### 3 調査開始以来、初めて確認された野鳥

#### ◎ アリスイ (キツツキ目キツツキ科)

確認月 : 令和7年3月

地域 : Cブロック

発見場所: 舎人公園

夏鳥として北海道と東北地方の一部に渡来し、冬は本州中部以西の平地の灌木や藪のある農耕地から里山など温暖な地域で越冬する。

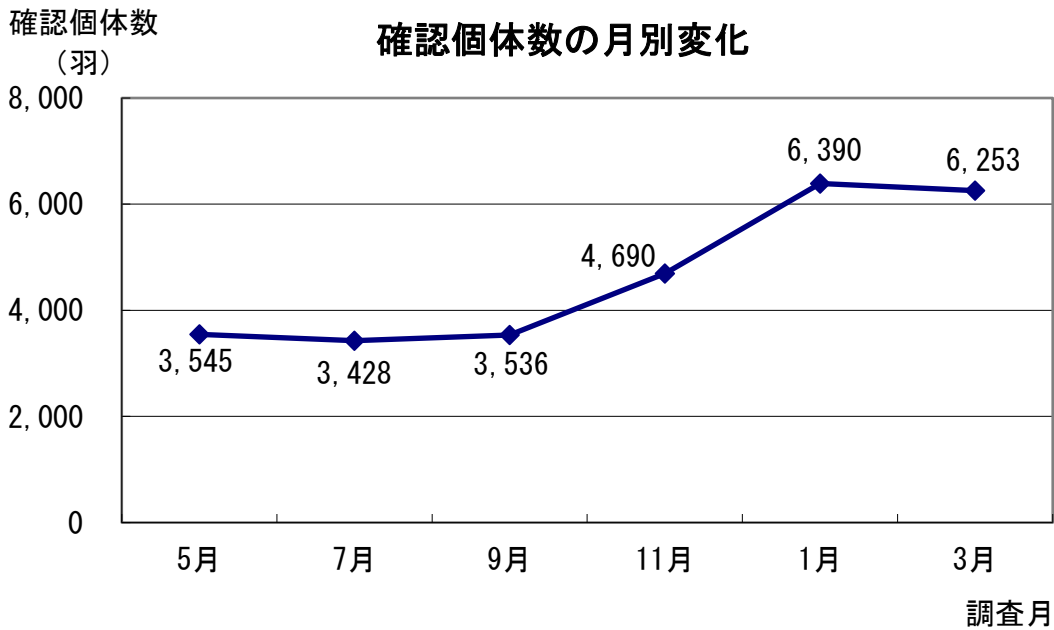
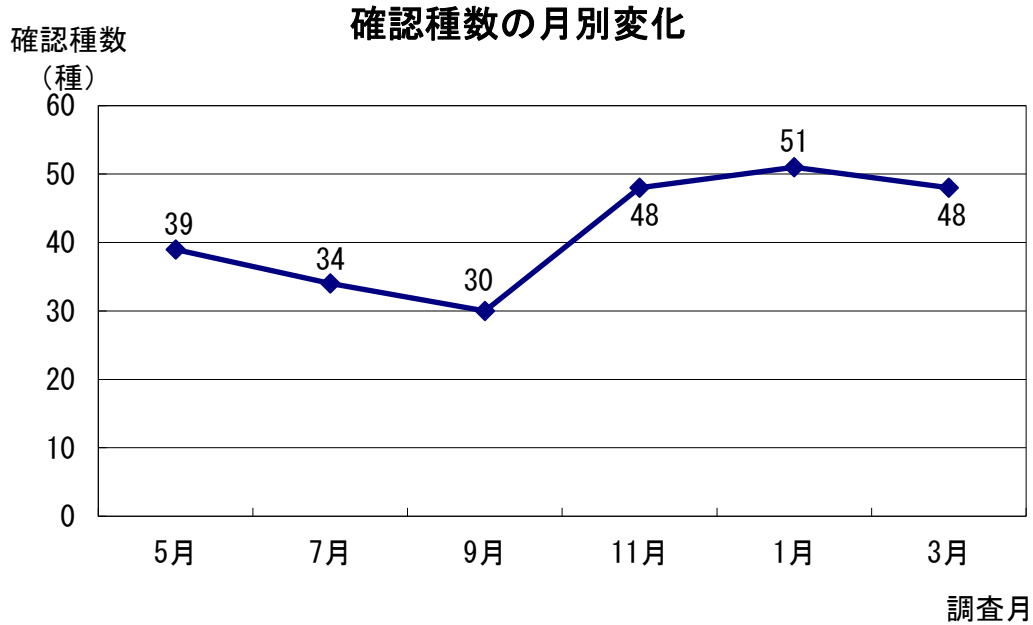
(文章引用: 決定版日本の野鳥650 (株)平凡社)

(注) 近年は関東でも越冬が確認されています。

II 調査結果

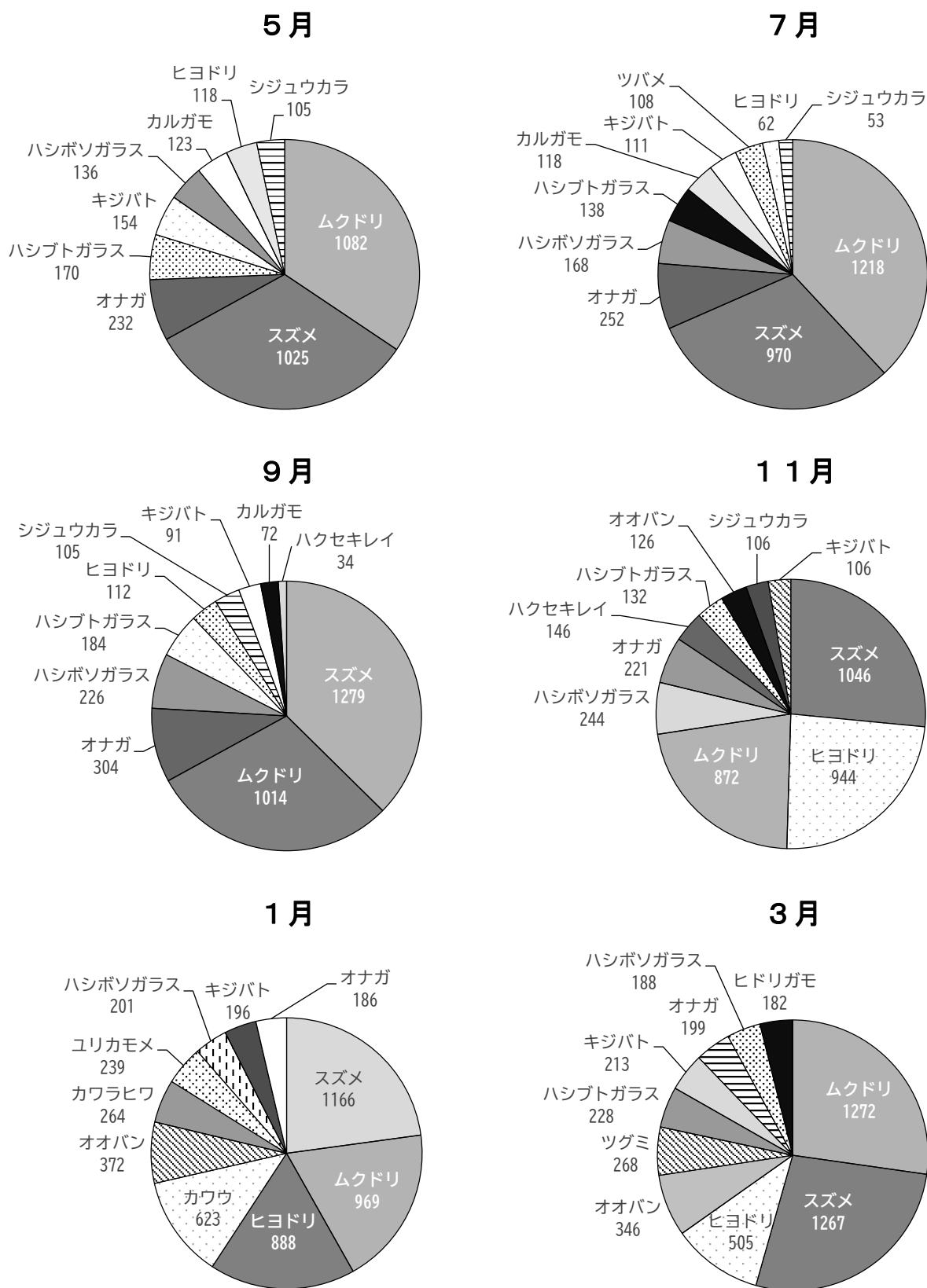
4 調査月別確認種数と確認個体数

### 4 調査月別確認種数と確認個体数



## 5 確認個体数ベスト10及び経年変化

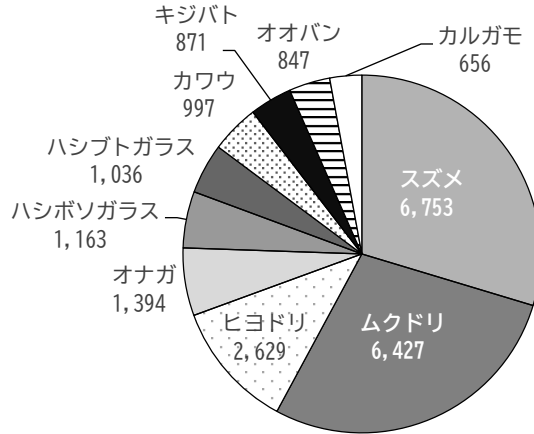
### (1) 調査月別 確認個体数ベスト10



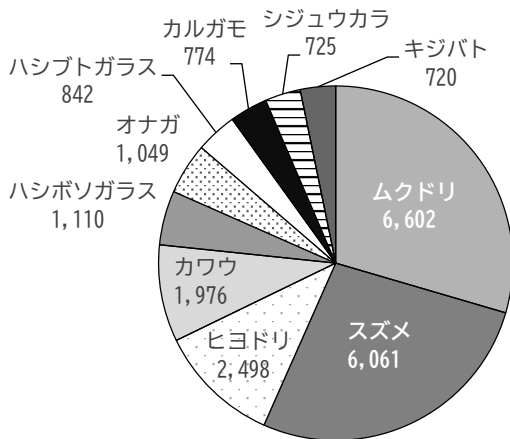
(2) 年間の確認個体数ベスト10の経年変化

令和6年度に確認された野鳥の総数27,842羽のうち、個体数ベスト10の合計は22,773羽で、総数全体の約82%を占める。

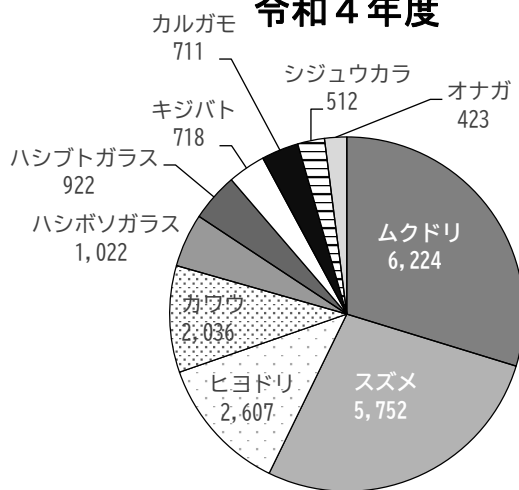
令和6年度



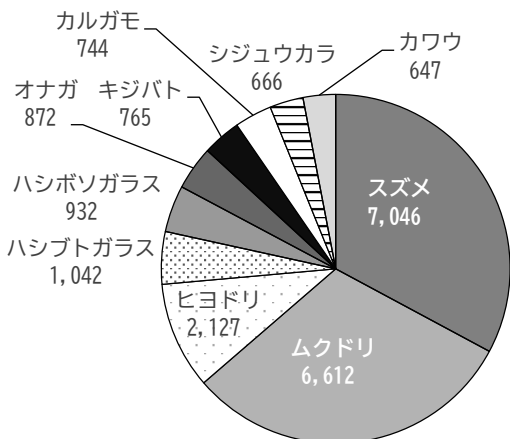
令和5年度



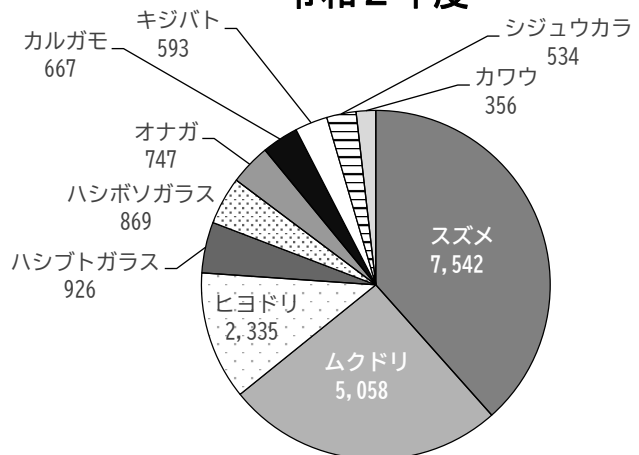
令和4年度



令和3年度

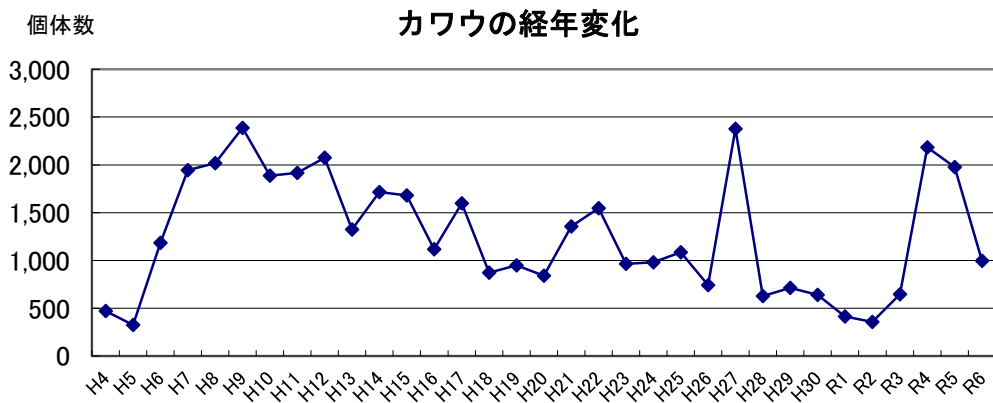
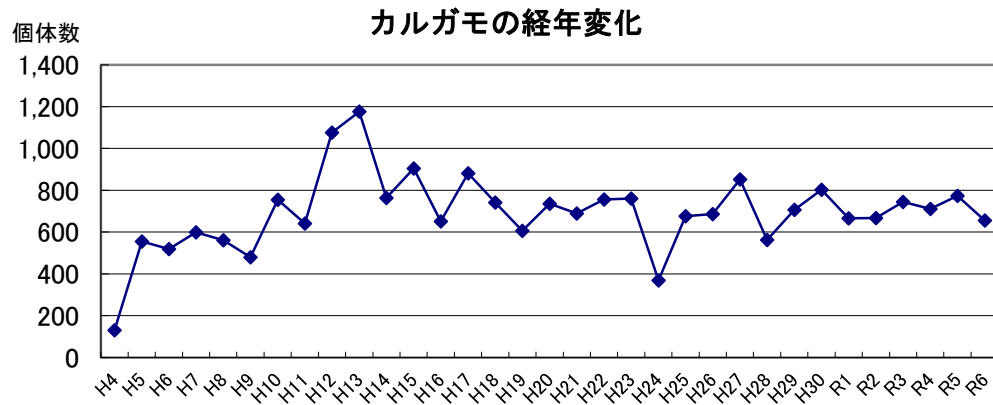
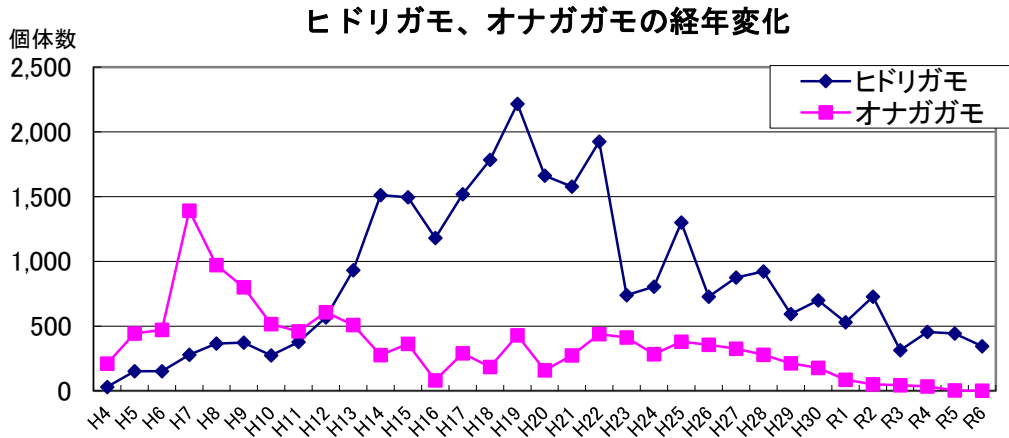


令和2年度

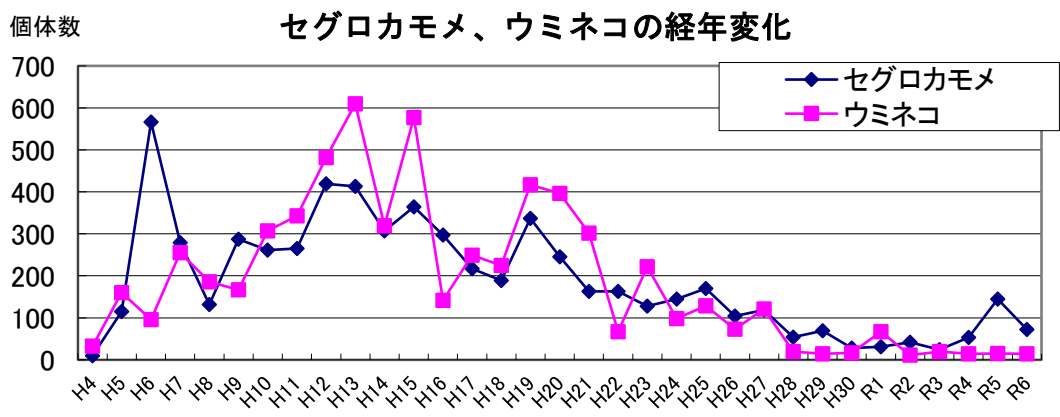
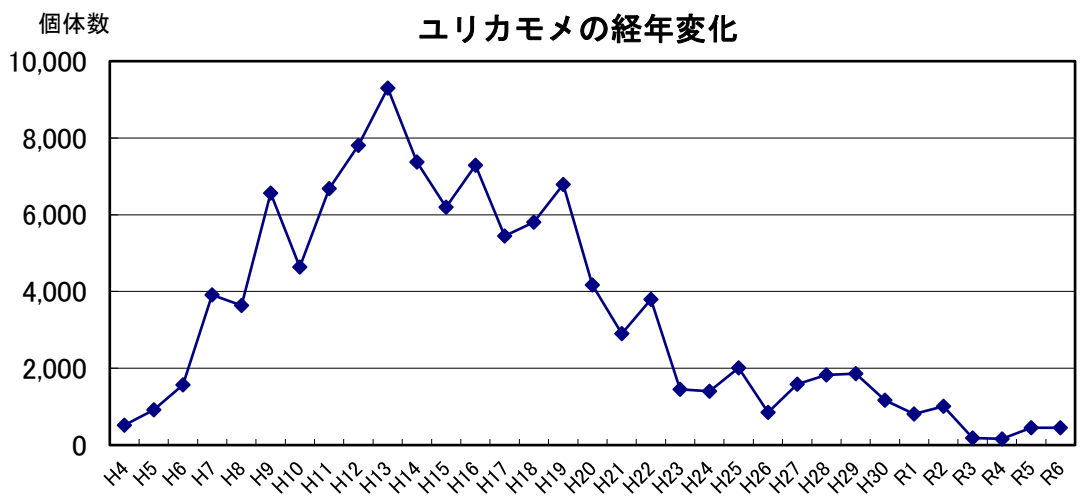
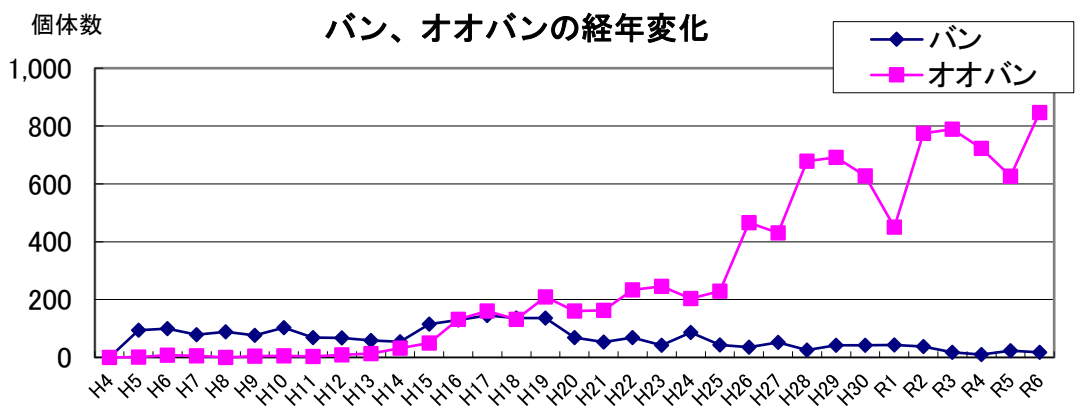


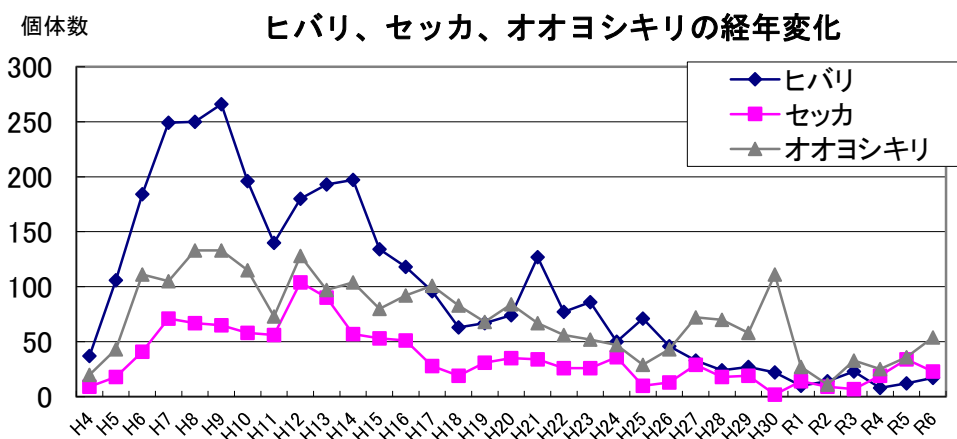
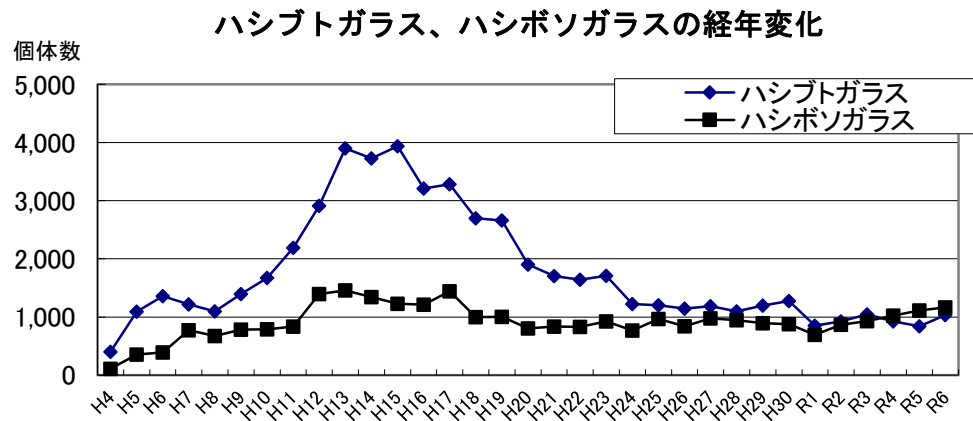
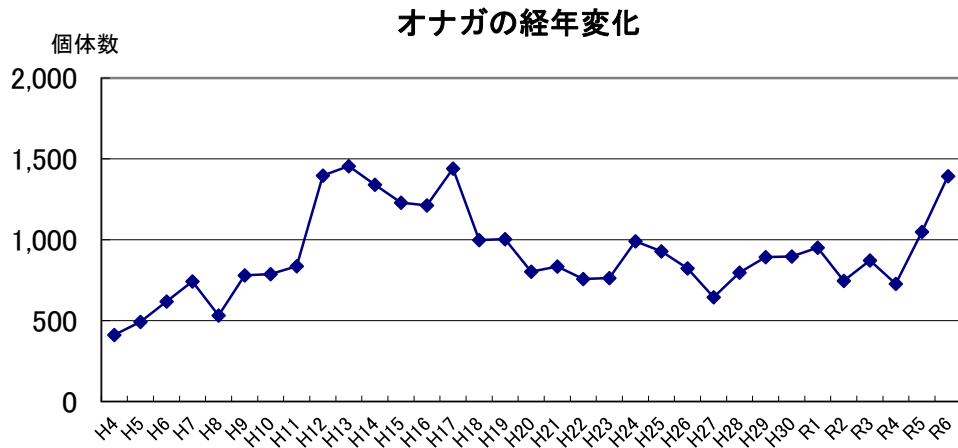
(3) 主な種の経年変化

※ 種の掲載順は「日本鳥類目録改訂第7版」を参考とした。



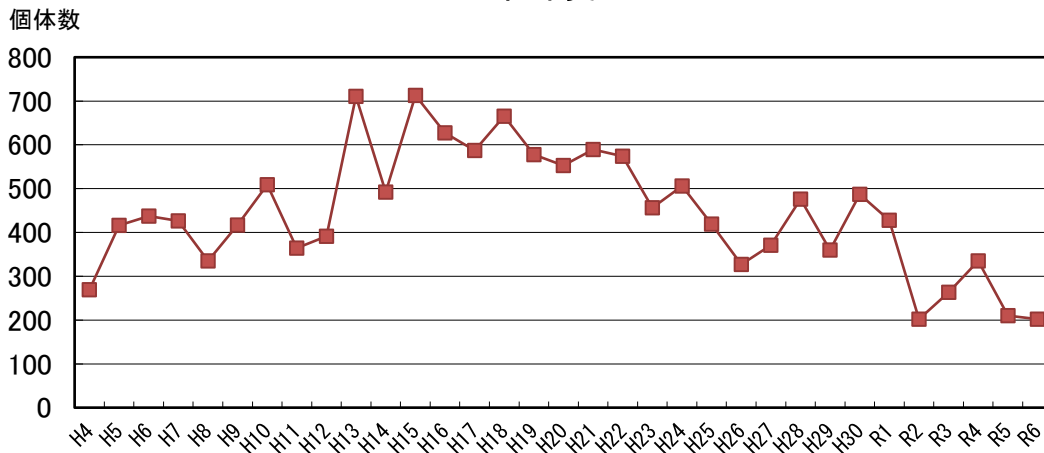
II 調査結果  
 5 確認個体数ベスト10及び経年変化



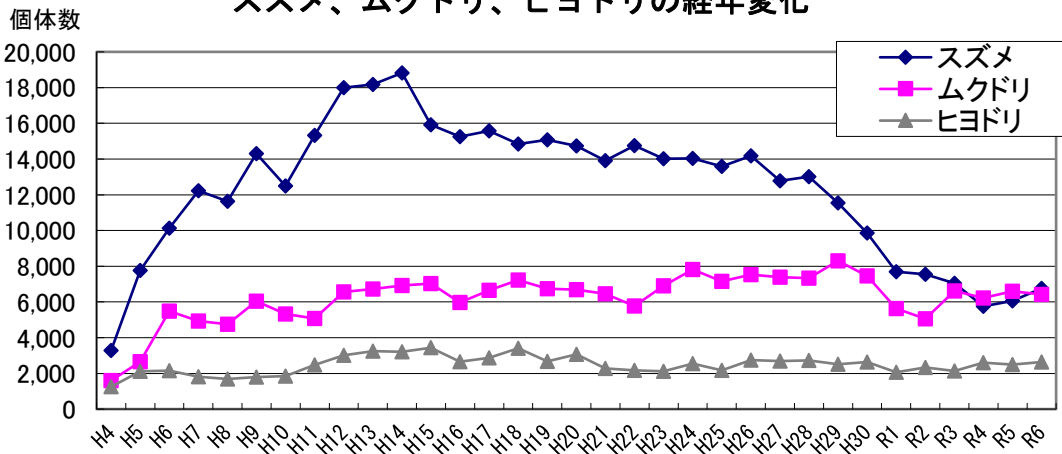


II 調査結果  
5 確認個体数ベスト10及び経年変化

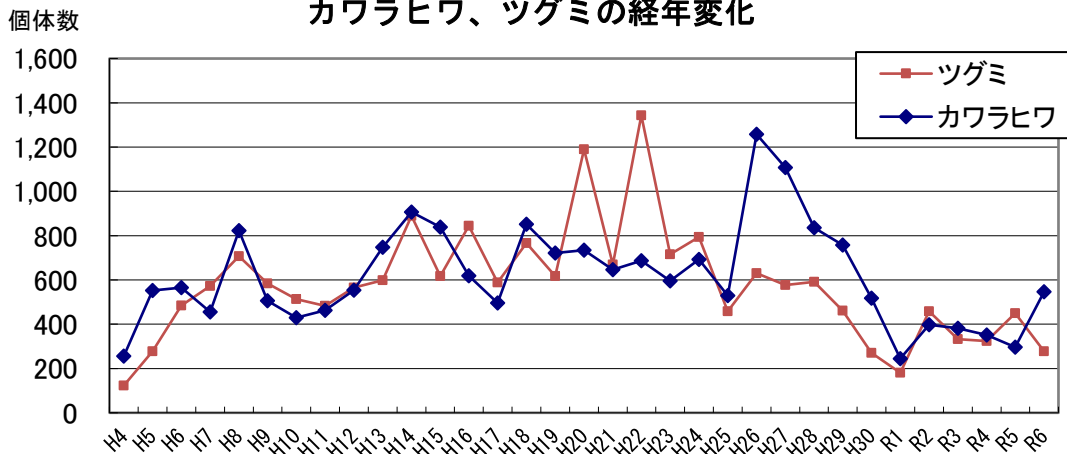
ツバメの経年変化



スズメ、ムクドリ、ヒヨドリの経年変化



カワラヒワ、ツグミの経年変化



# Ⅲ

## 令和6年度 野鳥モニターによる 観察日誌・繁殖行動

### 目次

令和6年4月繁殖行動確認	16
令和6年5月観察日誌	17
令和6年5月繁殖行動確認	23
令和6年6月繁殖行動確認	32
令和6年7月観察日誌	35
令和6年7月繁殖行動確認	40
令和6年8月繁殖行動確認	45
令和6年9月観察日誌	46
令和6年9月繁殖行動確認	53
令和6年10月繁殖行動確認	54
令和6年11月観察日誌	55
令和6年11月繁殖行動確認	62
令和6年12月繁殖行動確認	63
令和7年1月観察日誌	64
令和7年3月観察日誌	70
令和7年3月繁殖行動確認	76

令和6年4月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
4	ツミ	西中第二公園	交尾	(1) 昨年と同じ公園（西中第二公園）の楠木（木は異なります）にツミの営巣（枝折り）と交尾が確認できました。昨年より10日ほど早い交尾でした。	B-14
20	スズメ	舎人公園 管理センター物置	営巣	(1) 物置の屋根の隙間をスズメが出入りしていた。雛の声や給餌などは確認できなかった。	C-20
21	セッカ	荒川右岸 鹿浜橋下流	さえずり		A-2
29	ツミ	西中第二公園	抱卵 交尾	(1) 4月4日に確認したツミの抱卵が確認できました。抱卵中でしたが、オスが餌を持ってくると、メスが巣を出て餌（おそらくスズメ）を別の楠木で食べている時に、複数回交尾が確認されました。	B-14

## 令和6年5月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
2	ワカケホンセイインコ ハシブトガラス	<p>(1) 前任者の方より引き継ぎされた通り、ワカケホンセイインコが山王堀公園から20羽出てきて、そばの電線に止まっていた。鳴きながら飛んでいる姿しか見たことがなかった。</p> <p>(2) 保木間五丁目、陣川戸公園付近の民家先で、ハシブトガラスにネットを破られてゴミを漁られていた。民家の方に「対策はあるの?」と聞かれてしまった。</p>	D-30
3	カワラヒワ シジュウカラ ヒバリ ツバメ コアジサシ	<p>(1) 4月の終わりごろまでツグミがたくさん集まっていたが、忽然と旅立ってしまっで一羽もいなくなった。アオジも4月は早い時間帯にさえずっていたが見なくなった。カワラヒワやシジュウカラ、ヒバリがよくさえずるようになった。ツバメやコアジサシが飛来し、よく鳴いて飛ぶようになった。</p> <p>(2) 4月は天気が悪い日が多く、夏鳥を見たくて朝の散歩に通っていた。4月初旬に河川でオオジュリンとセッカを見て、4月20日にエゾムシクイの雄がグラウンドの前の木でさえずっており、4月28日にキビタキの雄が桜の木でフライングキャッチをしていて、時々ツクツクボウシの鳴きまねをしていた。</p> <p>(3) サギが朝よく飛んでいる姿を見る気がする。</p>	E-39
3	スズメ	<p>(1) 令和6年度スタートの5月です。ゴールデンウィークのちょうど中間の5月3日。快晴で、実に爽やかで過ごしやすい日です。</p> <p>(2) 大谷田一丁目団地公園のシャリンバイの白い花が綺麗でした。又、大谷田一丁目第二児童遊園の藤棚は、花が終わりたくさんの種袋がぶら下がっていました。</p> <p>(3) スズメが毎年営巣する大谷田一丁目団地4号棟の「4」の壁面番号の所には、スズメの成鳥が1羽出入りしていました。壁には、白い糞の跡と枯草の様なものも見えました。</p>	E-31
3	オナガ ワカケホンセイインコ	<p>(1) しょうぶ沼公園は新緑が美しかった。オナガの群れに交じってワカケホンセイインコが鳴いていた。</p>	E-33
3	スズメ ムクドリ	<p>(1) 晴天。また今月も野鳥が少なかった。ツミが見あたらなかった。スズメが少ないわりには、ムクドリが多かった。</p>	E-40

令和6年5月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
3	チュウシャクシギ キアシシギ カルガモ トビ ハシボソガラス	(1) チュウシャクシギ、キアシシギについては、西新井橋近くの干潟部分で観察した。 (2) 西新井橋横の野球場で、カルガモ2羽が草を食べていた。 (3) 日暮里・舎人ライナーの高架線路上空で、トビがハシボソガラス2羽に追われ、北千住方面に飛び去った。	B-10
4	オナガ	(1) 6時5分、快晴16℃、出発。ひんやりとした空気が心地よい。7時半、日差しが強くなってきたので上着をザックにしまう。若葉の勢いがすごくて小鳥の姿が見えにくかった。 (2) 最後は、北三谷公園でオナガのグループが3～4組大声で鳴き交わしているのを聞いて、数を確認できないまま終了。10羽以上はいたかもしれない。 (3) いたる所でツツジが最後のひと花を咲かせて目を楽しませてくれた。昼の暑さが心配。	E-38
4	ツバメ オオヨシキリ	(1) 快晴、北より風力1。ツツジやバラなど街中の花々が盛り。木々も緑が増えて鳥を見つけるのが難しくなった。街中ではツバメを見なかったし、河川敷でも5羽だけで、少なく感じた。 (2) 荒川の対岸（左岸）の湾処からオオヨシキリの song が聞こえた。	A-4
5	オオヨシキリ キジバト トビ	(1) 荒川沿いのヨシ原にオオヨシキリを声にて多数確認したが、個体を確認できたのはオス3羽程。鳴かないメスがいるので、実際にはもっと個体数は多いと思う。 (2) 川沿いの河川敷（グラウンド）に普段2羽で見かけるキジバトが11羽の集団で地面をついばんでいて、びっくりした。 (3) 上空にてトビとカラスが喧嘩をしていた。 (4) 荒川沿いの干潟にシギ・チドリが来るので、干潮時を狙っての観察がよさそう。コチドリ、コアジサシ、イソシギ、メダイチドリ、ヒクイナ、アオサギ、キアシシギ、トウネン、イカルチドリを確認（調査時間外）	A-1

## 令和6年5月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
5	オオヨシキリ セッカ コアジサシ ツバメ イワツバメ コガモ カルガモ スズメ	(1) 本日は22種、また夏鳥が6種（オオヨシキリ、セッカ、コアジサシ、ツバメ、イワツバメ）観察された。 (2) この時期に、コガモ（1羽）がカルガモ（3羽）と一緒に採餌していた。 (3) 姿は見えなかったが、オオヨシキリ（1羽）がアシ原でさえずっていた。 (4) スズメが荒川の流れのそばの水たまりで水浴びをしていた。	A-2
6	オナガ	(1) 風が強かった。 (2) 全体的に枯れ葉や羽や巣材を集めている個体が多かった。 (3) 大谷田公園にオナガがたくさんいた。見えなかっただけでもっといと思う。	E-32
8	ドバト	(1) 曇。ドバトが少し減った感じ。連休明けで河川敷は静かだった。	B-16
8	コゲラ コサギ ハシボソガラス	(1) 神明六木遊歩道でコゲラを確認。水車広場の水路でコサギの採餌の様子を観察した。圀川の水面近くまで伸びた木の枝に切れた釣り糸が引っかかかっていて、鳥たちがからまってしまわないか心配になった。 (2) ハシボソガラスがカーブミラーに付いている紐をくわえてぶらさがったり、鏡に映った自分の姿を何度も蹴ったりしていた。遊びなのか、威嚇なのか？ (3) 5月11日、圀川上空をカワウの成鳥1羽、幼鳥1羽が飛んでいた。	E-36
10	カルガモ	(1) カルガモ上空飛行。今朝はひんやりして湿度が低い気持ちのよい朝でした。	D-26
11	カワウ スズメ ツバメ ムクドリ	(1) 早朝5時20分に自宅を出発。晴天、旧葛西用水沿いの新緑が気持ち良い。 (2) 6時20分観察スタート。中川土手沿いに歩くが3月とは状況は一変、ヒドリガモなどカモ類の姿がない。唯一カワウを確認。スズメが土手沿いに生えたイヌビエやギンギシを食（は）んでいるのか、土手と住宅街を行き来している。六木一丁目の開け放たれた工場屋内にツバメが行き来している。昨年営巣を確認した工場外壁の巣の利用は確認できない。 (3) 5月度の観察は鳥の種類も激減し寂しい限り。唯一スズメ、ムクドリ、ツバメの繁殖行動が確認できたのが救いとなった。	E-34

令和6年5月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
1 1	カルガモ カワウ ムクドリ ワケホンセイインコ ツバメ ハシボソガラス オナガ	<p>(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、水路ではカルガモのヒナ10羽を含めた15羽（古千谷本町）を観察しました。</p> <p>(2) 毛長川ではカワウ1羽のみの観察でしたが、河川敷の樹木でムクドリとホンセイインコが木の実を食べている様子を観察しました。</p> <p>(3) 毎年ツバメの繁殖を確認している舎人四丁目の個人宅駐車場では、巣に1羽が入り1羽が近くの電線に止まっている様子を観察しました。</p> <p>(4) 舎人氷川神社の境内では、けやきの木に入ったハシボソガラスに、オナガが鳴きながら追い払う行動をしていたので営巣があるのではと観察しましたが、巣は確認できませんでした。</p>	C-21
1 2	ドバト スズメ ムクドリ	<p>(1) ドバトに餌を与えている人がいた。注意をしたがあまり強くは言えない。スズメやムクドリも来ていたので、よくないことだと思われる。</p>	D-25
1 2		<p>(1) 冬鳥が去ったこの時期、鳥の数は少なく淋しいかぎり。</p> <p>(2) 桜花亭入口の石垣の上から「シーシー」と低い声が聞こえるが2メートル以上の高さがあり確認できず！（シジュウカラの雛？）</p>	D-28
1 2	オオヨシキリ	<p>(1) 今回担当区域内のヨシ原で、オオヨシキリが約100mの間隔を開けて縄張りを持っているように思いました。特に扇大橋側のグラウンドに近い個体は狭いヨシ原に追いやられており、今年の競争の激しさを感じました。</p>	A-6
1 4	キビタキ	<p>(1) キビタキのさえずりが聞こえました。</p> <p>(2) 流通センターでは、毎年ヒメアマツバメの営巣が見られましたが、今年はありませんでした。</p> <p>(3) 私は見ていませんが、友人たちはオオルリやサンコウチョウを写真に撮っていました（4月～5月）。</p> <p>(4) 4月20日、初めてこの公園でオオコノハズクを見ました。カラスに追われ弱っていましたが、やがて茂みに隠れてしまいました。</p> <p>(5) 4月20日、キビタキとセンダイムシクイの声がよく聞こえましたが、姿は見られませんでした。</p>	C-20

## 令和6年5月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
15	オオヨシキリ コチドリ	(1) 京成上野線の橋梁建て替え工事現場の近くで、狭くなったヨシ原に2年ぶりにオオヨシキリが飛来していた。 (2) 聞き慣れない鳴き声が聞こえた。あたりを探してみると、河川敷の水たまりにコチドリ1羽がピオピオと鳴きながら歩きまわっていた。	A-9
15	ドバト キジバト	(1) 団地にドバト多し (2) キジバト営巢中(2カ所): 佐野公園、街路樹	E-35
15	オオヨシキリ	(1) あっちからもこっちからもオオヨシキリの声が賑やかでした。	B-15
15	スズメ ツバメ ムクドリ	(1) 優しい色をした荒川は静かに流れていました。ときおり船が通った後に数本の線が残り、素敵でした。周囲は新緑が輝いて見えました。 (2) 小鳥たちは多くいました。久しぶりに多くのスズメ。今年初めてのツバメに出会い、うれしく思いました。ムクドリは多くいました。食べ物を啜えて忙しそうに飛び交い、スズメも忙しそうでした。	B-12
16	カルガモ	(1) 橋の反対側に成鳥のカルガモが1羽いた。家族群とは別のように見えた。父鳥かどうか見分ける知識がないため報告のみにします。	D-23
16	ムクドリ ツバメ イワツバメ コアジサシ	(1) 雨が止んだばかりの曇り空。川原でも公園でもムクドリが目立った。 (2) 飛んでいるツバメの中にイワツバメが混じっていた。 (3) 荒川でコアジサシがダイブする姿が見られた	C-18
17	ムクドリ トビ	(1) 穏やかな五月晴れの中のモニターとなりました。荒川の河川敷はムクドリの天下で、スズメもヒヨドリもいませんでしたが、上空をトビがぐると大きく輪を書いていました。	B-17
18		(1) 天気は良かったが、鳥の種類、数とも少なかった。	B-11
19	ツバメ	(1) 今年初めてツバメを見た。これからもっと見られると思う。巣を見つけてみたい。	A-8

令和6年5月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
24	スズメ ムクドリ シジュウカラ	<p>(1) 風がなく快晴でした。観察開始時は肌寒く感じたものの、後半は暑いぐらいでした。野鳥の種類は少なかったものの、活発な印象でした。スズメ、ムクドリ、シジュウカラの声が響き、幼鳥も観察できました。</p> <p>(2) 橋戸町のタワマンの建設はかなり進み、周辺では全方向からクレーンが見えるようになりました。千住桜木町から緑町にかけてのテラス（左岸修景工事）も進みつつあり、影響が気になるところです。</p>	A-5
25	オナガ	<p>(1) オナガが元気に大きな声で鳴いていた。存在感のある声、存在感のある大きさなので、かなり目立つ。</p>	D-24
26	スズメ	<p>(1) スズメが巣立ち雛に給餌している姿が見られた。</p>	A-3
26	ムクドリ	<p>(1) 今年も白旗公園に隣接しているお宅にムクドリが繁殖しているのが確認できました。親鳥が戻ると雛の元気な声が聞こえてきて、それを聞いているだけでも楽しくなりました。</p>	C-22

## 令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
1	ツバメ	新田一丁目 民家（向い中）	抱卵	(1) 玄関の巣で抱卵していた。	A-2
		新田一丁目 民家（向い手前）			
2	ハシブトガラス	保木間五丁目 原公園	営巣	(1) 大きな青い針金のような物を運んでいた。よく見たら、ハンガーをくずした状態の物だった。	D-30
2	ドバト	保木間五丁目 陣川戸公園	その他 (求愛)	(1) オスと見られる個体が首を上下してメスにアピールしていた。	D-30
2	キジバト	保木間五丁目 児童遊園	営巣	(1) 木の小枝をくわえていた。	D-30
2	スズメ	梅田五丁目 マンション	営巣	(1) マンションの2階と3階の間にある通気口に、スズメの営巣が確認できました。	B-14
2	オナガ	稲荷神社	営巣	(1) 稲荷神社の杉の巨木に、オナガが営巣しているのを確認しました。（複数のオナガが騒ぎながら木の中に集まっていた。）	B-14
2	ムクドリ	中川土手	給餌	(1) 土手の草むらで、親鳥が幼鳥に給餌していた。	E-36
2	ツバメ	新田二丁目 民家	抱卵	(1) 玄関の巣で抱卵していた。	A-2

令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
3	ハシボソガラス	西新井橋横 野球場西側	営巣	(1) 西新井橋横の野球場西側、土手側から2本目の高木の梢近くで、ハシボソガラス2羽が巣作りをしていた。巣材を運んでいること、2羽同時に巣を離れることがあるので、まだ産卵はしていないらしい。針金でなく、プラスチックのハンガーを巣材にしていた。	B-10
3	スズメ	関原三丁目電柱	巣の出入り	(1) 電柱のボックスの穴からスズメが出入りしているのを確認した。中に巣があると思われる。	B-10
3	ツミ	元淵江公園	営巣	(1) ツミが営巣を始めるようです。抱卵はまだのよう。	D-29
3	スズメ	大谷田一丁目	営巣	(1) 大谷田一丁目団地4号棟の4の数字の横バーに藁状のものが詰め込まれていた。下の壁面は、糞で白くなっていた。 (2) 4羽の横バーの上には成鳥が1羽とまっており、その1羽かどうかの確認はできなかったが、行ったり来たりしていた。	E-31

## 令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
4	シジュウカラ	千住5丁目	餌運搬	(1) 電線に止まって、周囲を気にしている様子だった。	A-4
4	ムクドリ	日ノ出町	餌運搬	(1) 虫をくわえて一直線に飛んで行った。	A-4
4	オオヨシキリ	荒川左岸の湾処	さえずり		A-4
5	オオヨシキリ	荒川右岸 鹿浜橋下流	さえずり		A-2
5	スズメ	小台二丁目 住宅地	営巣	(1) 電柱のトランスに営巣。つがいと思われる2羽が出入りしていた。	A-1
5	スズメ	六木三丁目	営巣 巣の出入り	(1) 電柱のトランスの隙間に成鳥が出入りしていた。	E-36
6	ムクドリ	公園 (大谷田二~五丁目)	営巣	(1) どの公園にもいて、くちばしに枯草などを持っていた。	E-32
6	シジュウカラ	学校 (大谷田二~五丁目)	給餌	(1) 大きな毛虫をくわえていた。近くに子どもがいるかもしれない。	E-32
8	スズメ	竹の塚六丁目	給餌	(1) 木の中に食べ物を運んでいました。	B-12
8	スズメ	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) 幼鳥6羽、砂遊びしたり木に止まったりしていました。	B-12
10	シジュウカラ	大谷田一丁目 団地屋上 大谷田一丁目 第三児童遊園樹上	さえずり	(1) 結構な勢いで、無数のさえずりが聞こえた。	E-31

令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
11	カルガモ	見沼代親水公園 古千谷本町三丁目	家族群	(1) 雛10羽とともに水路を散策するカルガモを確認しました。	C-21
11	ツバメ	舎人四丁目 (個人宅駐車場)	営巣 抱卵	(1) 毎年、繁殖している駐車場に本年も営巣していました。巣に入り、抱卵と思われる様子を確認しました。	C-21
11	ムクドリ	ゴルフ練習場 (六木二丁目)	営巣 給餌 巣の出入り	(1) ゴルフ練習場ネット支柱を構成する円筒鉄骨（横棒）に営巣があり、盛んに入りしている。高い位置のため確認はできません。	E-34
11	スズメ	佐野一丁目 六木二丁目の電柱 トランス治具	営巣 雛の声 給餌 巣の出入り	(1) 観察エリアの数本の電柱トランス治具の中で営巣あり、親鳥が頻繁に給餌をしている。雛の声も聞こえる。雛は目視出来ない。	E-34
11	ツバメ	六木一丁目 町工場	営巣	(1) 工場東壁面の巣は利用されていないようだ。開け放れた別棟の工場内に数羽が頻繁に出入りしている。敷地内のため、確認できず。	E-34

## 令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
12	キジバト	六木一丁目	営巣	(1) 剪定された低木の中（佐野公園横の街路樹）	E-35
12	キジバト	辰沼二丁目	営巣	(1) 剪定された低木の中（街路樹）	E-35
12	カラス科 sp.	花畑毛長公園	営巣	(1) 個体はそばにいない。	D-28
14	コゲラ	舎人公園 大池の東 柳の木	営巣	(1) コゲラが巣を作っていました。（その後に様子を見ると、放棄したようです。）	C-20
15	スズメ	荒川土手	幼鳥	(1) 親鳥1羽、幼鳥1羽が土手の上を歩っていました。	B-12
16	ツミ	元淵江公園	営巣 巣の出入り	(1) ツミのメスが巣に入っているのを確認できました。	D-29
16	カルガモ	元淵江公園	幼鳥	(1) カルガモ親子の雛7羽確認できました。	D-29
16	ハシブトガラス	梅島一丁目 電柱	営巣	(1) 電信柱に「カラス営巣あり除去待ち」と張り紙あり。トランス辺りに黒い巣と羽を確認。	D-23
16	カルガモ	ベルモント公園 池の中	抱卵	(1) 橋から近いので、多くの人が見ている。じっとした時間が長かったが、ドバト3羽が近寄ったら首を伸ばして威嚇していた。	D-23

令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
18	ムクドリ	民家	餌運搬	(1) 2階の戸袋に食べ物を運んでいました。	B-12
18	スズメ	興野二丁目 電柱2箇所	営巣	(1) 電柱のトランスに営巣していた。雛のさえずりが聞こえた。	B-11
18	シジュウカラ	興野二丁目	家族群	(1) ハシブトガラスが幼鳥を襲っており、側で親鳥が鳴き声で威嚇していた。	B-11
18	シジュウカラ	木の幹のうろ	給餌	(1) 巣穴からシリシリ声が聞こえ、ツピツピ遠くにいた親鳥が虫をくわえて巣穴に戻ってきた。 (2) カラスやオナガ、ワカケホンセイインコなどが周りにおり、親鳥は警戒している様子。翌日朝にはいなくなっていた。	E-39
18	オオヨシキリ	荒川対岸のヨシ原	さえずり	(1) さえずりが聞こえる。	B-13
18	ムクドリ	古い空き家の 雨戸の中 (3~4カ所)	給餌	(1) 大きなミミズや毛虫を何度も忙しく往復して運んでいた。 (2) 近くにカラスがとまったときは、しばらく警戒して中に入らなかった。	E-39
19					

## 令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
19	スズメ	木が生い茂った草むら、上枝など	給餌	(1) 巣立った雛に給餌をする姿にたくさん遭遇した。子どもは羽をふるわせてご飯をねだっていた。	E-39
19	ムクドリ	宮城氷川神社近く民家	営巣	(1) 電線にとまり、周りを警戒しながら民家の戸袋の隙間に入っていた。	A-8
19	キジバト	江南公園向かい木立の中	営巣	(1) 何回も小枝をくちばしにくわえて、木立の中を出入りしていた。	A-8
20	ムクドリ	新田二丁目民家	餌運搬	(1) 戸袋に餌を運んでいた。	A-2
20	ムクドリ	新田二丁目民家（駐車場左）	餌運搬	(1) 戸袋に餌を運んでいた。	A-2
20	ムクドリ	鹿浜橋の手すり	餌運搬	(1) 橋の手すりの穴に餌を運んでいた。	A-2
21	ムクドリ	扇三丁目	営巣	(1) 倉庫の軒下に2, 3組営巣していた。 (去年と同じ場所)	B-11
22	カルガモ	見沼代親水公園古千谷本町三丁目	家族群	(1) 雛は9羽しか確認できませんでした。が、順調に育っています。	C-21
22	カルガモ	見沼代親水公園古千谷本町三丁目	家族群	(1) 親水公園の水路で、10羽の雛と親鳥2羽を確認（2組目）	C-21
22	カルガモ	見沼代親水公園古千谷本町三丁目	家族群	(1) 親水公園の水路で、9羽の雛と親鳥を確認（3組目）	C-21

令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
22	ムクドリ	広場内の木のうろ及び民家の戸袋	給餌	(1) 昆虫などの餌をせつせと雛に運んで給餌。雛の声があちこちで聞こえた。	E-39
22	スズメ	河川の葦	その他	(1) 穂を5本、嘴で折ってくわえ、巣へ持っていった。	E-39
22	スズメ	公園付近の歩道	その他	(1) ハトの羽を拾って持って帰った。	E-39
23	カルガモ	ベルモント公園内池	家族群 幼鳥	(1) 8羽が卵からかえり、3～4日とのこと。数年幼鳥を見ているが、一番小さかった。泳ぐし水から段のある陸へ上られる。元気だ。	D-23
24	スズメ	千住桜木町公園付近	交尾	(1) 周囲にはスズメが多く、幼鳥も見られる。 (2) 電線上で交尾が観察された。	A-5
24	ムクドリ	隅田川沿い遊歩道（千住大橋近く）	餌運搬	(1) 遊歩道上の草むらにムクドリが多く見られた。餌を啜えた同じ個体を、複数の場所で見かけた。	A-5
24	スズメ	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) ケヤキの木の葉の上にスズメの幼鳥1羽がチッチ、チッチと鳴いていた。	B-12

## 令和6年5月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
24	ヒヨドリ	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) ケヤキにヒヨドリの幼鳥が1羽とまっていた。	B-12
24	オナガ	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) ケヤキにオナガの幼鳥が1羽いた。	B-12
25	カルガモ	見沼代親水公園内川	家族群 幼鳥	(1) 3家族群を確認した。 ①親1羽-子10羽 (この群れの子ガモは他の2群の雛より少し大きかった。) ②親2羽-子8羽 ③親1羽-子9羽	C-19
25	ムクドリ	2階建て住宅 2階窓の戸袋の中	雛の声 糞運び 巣の出入り 餌運搬	(1) 家の前を通ったら、しきりに鳴く雛の声が聞こえた。しばらく待つと親鳥が餌を啜って入り、出る時に糞らしきものを啜って出てきた。	C-19
26	スズメ		給餌	(1) 巣立ち雛に給餌している姿が見られた。	A-3
26	ムクドリ	白旗公園 住宅	雛の声 餌運搬	(1) 雛の声を確認した。	C-22
30	ツミ	西中第二公園	抱卵 抱雛 巣の出入り 餌運搬	(1) 5月30日の午後、オスがやや頻繁に巣への出入りが認められ、雛が孵化（ふか）したと思われる。 (2) 翌日午前4時半ごろにオスは狩りに出かけたが、それ以降姿を現さなくなった。	B-14

令和6年6月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
1	ツミ	西中第二公園	雛の声 巣内雛 給餌 餌運搬	(1) 6月1日以降、オスが餌を持ってこなくなり、それからはメスが狩りをして雛に餌を与え続けている。	B-14
2	スズメ	六木三丁目	交尾	(1) 電線上でスズメが数回、交尾をしているのを確認。	E-36
3	ムクドリ	民家	給餌	(1) 皿沼公園付近の民家に多くのムクドリ	D-29
3	ワカケホンセイインコ	公園	営巣	(1) 皿沼公園にワカケホンセイインコ	D-29
4	ムクドリ	陣川戸公園	給餌	(1) 前日に30mm/1hの大雨が降り、木の実が大量に落ちていた。 (2) ムクドリの親が幼鳥に、落ちていた木の実を給餌していた。	D-30
4	ムクドリ	保木間五丁目 民家	営巣 雛の声 給餌 餌運搬	(1) 戸袋の中から雛の声 (2) 親鳥が餌を運んで入っていった。	D-30
5	ツバメ	商店街	給餌	(1) 西新井の商店街で営巣中	D-29
6	ツバメ	新田一丁目 民家（向い中）	抱卵 巣内雛	(1) 玄関の巣で抱卵していた。	A-2
6	ツバメ	新田一丁目 民家（向い手前）	抱卵 巣内雛	(1) 玄関の巣で抱卵していた。	A-2

## 令和6年6月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
10	ツミ	西中第二公園	雛の声 巢内雛 給餌	(1) 今回の巣がやや深い形状の為、なかなか雛の姿を確認できなかったが、10日に雛の数が3羽であることがわかった。	B-14
11	シジュウカラ	神明六木 遊歩道	幼鳥	(1) 幼鳥3羽が樹間を飛び交っていた。	E-36
11	オナガ	舎人氷川神社	巢内雛 給餌	(1) 5月の調査でハンボソガラスを追うオナガを観察し、その時は営巣を確認できませんでしたが、境内の木に営巣場所を確認しました。 (2) すでに雛が誕生し、給餌の様子を観察できました。	C-21
11	オオヨシキリ	荒川右岸 鹿浜橋下流	さえずり	(1) さえずり個体が9羽観察された。	A-2
16	イワツバメ	鹿浜橋	営巣 抱卵	(1) 橋の裏側の床とパイプの間に巣が作られていた。	A-2
19	ツバメ	新田二丁目	営巣 抱卵	(1) 民家の壁、抱卵していた。	A-2
22	スズメ	新田三丁目	巢内雛	(1) 電柱から雛の声が聞こえてきました。 (2) 親鳥は苦労して給餌しているように見えました。	B-12
28	ツミ	西中第二公園	巣立ち雛 給餌 餌運搬 幼鳥	(1) 雛が巣から出て、巣のある木の中を自由に飛び回るのが確認された。	B-14

令和6年6月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
29	オナガ	西中第二公園	営巣 雛の声 給餌 幼鳥	(1) オナガの巣が4つ、キジバトの巣が1つ確認できた。それぞれの巣には雛がおり、親鳥の給餌が見られた。	B-14
	キジバト				
29	スズメ	神明二丁目	雛の声 巣の出入り	(1) 信号機のパイプの中から雛の声がして、成鳥が何度も出入りしていた。	E-36
29	ハシブトガラス	神明一丁目	家族群 幼鳥	(1) 民家の塀に成鳥2羽と幼鳥1羽が止まっていた。	E-36
29	スズメ	新田二丁目	巣立ち雛	(1) フェンスの上に雛が1羽。親鳥1羽が近づくと、羽を震わせていた。	B-12
29	キジバト	新田わくわく広場	幼鳥	(1) キジバトの親子を確認しました。	B-12
				(2) 親鳥1羽と幼鳥1羽が木にとまっていました。	

## 令和6年7月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
2	ワカケホンセイインコ キジバト スズメ ハシブトガラス	(1) 山王堀公園のワカケホンセイインコは、付近の民家のツバキの木にペットボトルで作られた餌入れを設置しており、大きなリンゴを奪い合う姿が見られた。そこにキジバトやスズメも集まっていた。前回確認した陣戸川公園付近の民家前の電線は、先月も20羽程のハシブトガラスがおり、毎朝いる様子。天気が良く暑かったためか全体的に数も種類も少なかった。	D-30
3	ハクセキレイ オナガ ハシブトガラス ムクドリ	(1) 6月7日、川岸にいたアオサギ1羽が全体に色が淡く、首も灰色だったので、明らかに幼鳥と思われた。 (2) ハクセキレイが青虫を捕らえて地面に何度も打ちつけて食べていた。 (3) 葛西用水でオナガがじーっと水の中を見つめていた。水生昆虫を狙っていたのだろうか？ (4) 電線に止まった2羽のハシブトガラスがお互いの羽繕いをしあって、最後はピタッと寄り添っていた。 (5) ヤマモモの木でムクドリが実を食べる様子を観察した。 (6) 特定外来植物のミズヒマワリが葛西用水にたくさん生えている。昨年よりも増えているようだ。	E-36
3		(1) 曇り、風弱い。23℃くらいか。朝のうちは涼しい。	A-4
4	カルガモ ドバト	(1) 自宅を5時20分に出発。今日も暑い。6時に観察地点をスタート。中川は鏡面ガラスのようで穏やかだったが、観察を始めて暫くすると涼やかな風が出てきて暑さも和らいだ。カラスが水辺で何かをついばんでいる横でカルガモを見かけた。鳥の鳴き声も少なく多少の不安を抱きながら足を進める。土手の両サイドにドバトを多く見かける。昨年頻繁に見かけたツバメの姿を見かけない。5月の観察報告に記載したが、六ツ木二丁目町工場の外壁にある巣が放棄されていることの影響か？ 工場周辺の観察を行ったが、工場屋内への出入りを1羽確認したのみ。周辺全体で6羽(昨年同月/18羽)営巣地を変えたのかもしれない。5月にはスズメ・ムクドリを多く見かけた空き地も4カ所ほど宅地化され分譲されていた。六ツ木二丁目も野鳥が給餌する空き地は無くなりつつある。	E-34

令和6年7月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
4	カルガモ コサギ ハクセキレイ	(1) 5月の調査でカルガモのヒナの誕生を確認している見沼代親水公園から調査を開始しました。5月の調査以降3組28羽の繁殖を確認しましたが、今日の調査では育ったヒナ23羽を確認しました。 (2) 毛長川ではコサギ、河川敷でハクセキレイを観察しましたが、河川工事が始まり他の観察はできませんでした。	C-21
5	ダイサギ	(1) 荒川右岸の京成上野線橋梁工事現場があり、入れないよう柵で囲まれている。静かで誰もいないからか、橋梁下の川岸でめずらしくダイサギ2羽餌を探していた。対岸でセッカの声聞く。	A-9
5		(1) 風がなく晴天。6時30分から中央付近でラジオ体操や気功術に多数参加。野鳥が少なかった	E-40
6	キジバト ハシブトガラス アオサギ オナガ	(1) 薄曇りで湿度の高い中5時57分出発。家を出てすぐキジバトの縄張り宣言とハシブトガラスの呼び合う声を聞いて一安心。東和親水公園ではラジオ体操の準備で人出が多く、池にはアオサギが1羽小魚を狙ってじっとしていた。半分回った辺りでニイニイゼミの初鳴きを聞いた。 (2) 西沼公園ではコシアキトンボとシオカラトンボ数匹を観察。真夏の感じだ。最後は、北三谷公園のケヤキの茂みの中で飛び交いながら騒いでいる数組のオナガを観察して終了。暑い2時間だった。	E-38
6	ハシブトガラス オナガ ハシボソガラス ドバト スズメ	(1) 大谷田一丁目団地公園では、ハシブトガラスがうるさいくらいに鳴いていた。大谷田一丁目第二児童遊園では、縄張り争いなのだろうか、オナガがハシボソガラスを威嚇して追い払おうとしていた。大谷田一丁目第三児童遊園では、数羽のスズメが、白いパンを啜えて嬉しそうに飛び跳ねていた。各所で夏の花のムクゲが白い花を咲かせていた。飯塚橋桁下のエリアはドバト専用という感じで、他の鳥の姿は見受けられなかった。スズメが毎年営巣する大谷田団地4号棟の「4」の壁面番号の所には、10～20分程見ていたが、残念ながらスズメの出入りは確認できなかった。ここ数日猛暑続きのため、少しでも涼しい時間帯の方が鳥が観られると思って朝の早い時間に観察をしたが、多くを見ることはできなかった。	E-31

## 令和6年7月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
8		(1) 朝8時現在、体感35℃の猛暑。人の姿も鳥の影もほとんどなし。	B-16
10	ムクドリ ヒヨドリ ハシボソガラス	(1) ムクドリ2羽若鳥、ヒヨドリ1羽若鳥、ハシボソガラス1羽若鳥を観察。ハシボソガラスの若鳥は久しぶりに口の中の赤い色を観察できました。今朝は曇り空の予報で調査に出かけました。ハズレで汗だくでした。	D-26
10	ムクドリ	(1) 西新井橋側の土手下の道路上に、大量のミミズの死体があった。大雨による酸欠で、地上に這い出してきたものと思われる。すでに乾燥しているものが多かった。草刈りされた土手でムクドリの群れが採食していたが、このミミズには見向きもしなかった。	B-10
13		(1) ニイニイゼミがたくさん鳴いている中、ミンミンゼミも鳴き始めた。	E-33
14		(1) 雨天でほとんど木の中か住宅の中などにおり雨が上がるのを待っている個体が多くいたと思う。姿が見えないので目視できた個体数以上に、濡れないように身を潜めている個体があったのではないかと思う。	E-39
15		(1) 荒川は干潮で干潟が出ていました。西新井橋上流右岸100m以内に4人の若い釣人がいて、2人は腰まで川に入って釣りをしていました。スズキでも釣れるのかなあ？ (2) 鳥たちは繁殖期が終わり静かになりました。もっとシギチを期待しましたが見つけれませんでした。	A-6
15	スズメ	(1) 雨上がりで風が強く曇っていたこの日は涼しくて気持ち良い。 (2) スズメの幼鳥と親鳥が二羽でいる姿があちこちで見られた。	E-32
16	オオヨシキリ	(1) くもり、風なし～弱い、湿度は高いが気温が低い（6時00分、23.3℃）ので涼しく観察することができた。 (2) 鳥の種類は昨年と同じく14種観察された。 (3) オオヨシキリのさえずり個体数が減少していた（6月1日9羽、7月3日7羽、7月16日2羽）。	A-2
17	アオサギ	(1) 土手にレンゲの花が咲き、きれいでした。 (2) アオサギが砂地の上でエサをさがしていた。	A-8

令和6年7月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
17	カイツブリ ツバメ ムクドリ	(1) この日は、雨上がりのくもり空でした。 (2) カイツブリは、親1羽子1羽と親2羽子2羽の2つのグループがいました。背中に乗っている子もいた。 (3) 今年は、カルガモやアイガモの雛は見られませんでした。 (4) 雨上がりのためか、ツバメが低い場所を数多く飛んでいました。 (5) ムクドリは幼鳥が多く加わり多数いました。	C-20
17	セッカ	(1) 梅雨の合間の観察。早朝、曇り空。荒川の河川敷にセッカ来訪か？ ヨシキリ確認できず。	B-13
18	カルガモ	(1) 梅雨明けしたくさんの鳥に会えるかと思っていたが会えなかった。ベルモント公園にまだ成鳥に達していないカルガモ5羽がいた。1羽がどこかに飛び去った。ずいぶん歩いたがスズメやカラスに出会えなかった。スズメが減ったと感じた。	D-23
19	ムクドリ	(1) 梅雨明けのモニターとなりましたが、暑さのためか全体的に鳥の種類も数も少ない中で、ムクドリだけが数えるのに苦労するぐらい群れていて大騒ぎしていました。	B-17
21	コチドリ ハクセキレイ	(1) 夏真っ盛り、荒川河川敷は背の高い植物が生い茂り、調査地域内で潟を覗くことができませんでした。コチドリは、河川敷の雨上がりの湿ったグラウンドで、ミミズをついばんでいました。ハクセキレイの幼鳥や若鳥の姿が、よく見かけられました。薄いグレーのふわふわとした感じの幼鳥や、顔の少し黄色い若鳥の姿が可愛かった。	A-1
22	ワカケホンセイインコ	(1) 暑いせいか鳥の影が薄かった。 (2) ワカケホンセイインコが近くの神社に住み着いた模様。毎日鳴き声が聞こえ、時々姿が見える。	B-11
23		(1) 明け方は曇天が多く、晴れる日が少なくそれでいて高温。前日の雨の後、気温も予報より低い25℃程度だったのでこの日を選びましたが、鳥の数が少なくセミの鳴き声が強くと鳥の鳴き声での確認が難しい。7月はなるべくセミが盛んにならない前半を選ぶべきだったと反省。	E-37

## 令和6年7月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
24	ムクドリ	(1) 風がなく湿度が高い朝で秋空のような雲が出ていました。満潮の時間（6時8分）に重なり、墨田川の水がテラス近くまでできていました。5月に報告した親水テラス工事箇所ですが、新たに階段設置工事（掲示板表記）がはじまり、擁壁を挟んだ緑町側が7月22日から通行止めとなりました（2月まで）。このため川沿いを通ることができず、緑町に迂回するコースに変更しました。7時過ぎには陽射しが強くなり、川沿いの遊歩道には通勤の方しかいなくなりました。野鳥の活動は日陰中心で、陽射しを避けている印象でした。本日はムクドリが少なかったです。橋戸町のタワマンは完成時の高さとなり、周辺で下水管の設置も行われておりました。また10階建て集合住宅建設予定の橋戸町公園付近のヒイラギが撤去されていました。なお去年は7月のモニターを26日に実施いたしましたが、猛暑が続いており公園のポプラの葉が地面にたくさん落ちていた記憶があります。本日は落ちておりませんでした。	A-5
28		(1) 暑さを避け、いつもより30分早く出たが、すでにセミの大合唱が始まっていた。毛長川の水鳥は皆無！ この時期は種類も少なく淋しい。	D-28
28	スズメ ムクドリ ドバト	(1) ものすごい暑さゆえ、全体的に数、種類ともに少なかった。公園の水飲み場の所に、水を求めて多くの鳥、スズメ、ムクドリ、ドバトが集まっていた。	D-25
28	カワウ	(1) 朝から強い陽射しが照り付け、暑さをしのいでいるのか鳥の姿も少なめでした。川ではカワウが翼を広げている姿が見られました。	C-22
29	キジバト	(1) 朝からすでに暑く、小鳥たちの声よりセミの声の方が大きかった。キジバトの声が響き渡っていた。	D-24
30	コサギ	(1) 澄み切った青空は、いつしか灰色の雲が広がってきました。荒川は、濃い青でゆったりと流れていました。種類、個体数は少なめでした。コサギ3羽確認できたのは初めてです。美しいコサギはこの暑さの中でも優雅に飛んでいました。	B-12
31	スズメ ムクドリ トビ	(1) 朝8時から30度を超える暑い日射しの強い日。セミの鳴き声とトンボが元気だった。スズメやムクドリは多かったがヒヨドリは見られなかった。魚を持った猛禽類はミサゴかと思ったが、写真判定で魚を持ったトビだった。	C-18

令和6年7月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
2	ツミ	元淵江公園	給餌	(1) 雛5羽、元気に育ちました。	D-29
2	オナガ	山王堀公園	給餌 幼鳥	(1) 親鳥1羽が幼鳥2羽に給餌していた。	D-30
3	ヒヨドリ	清亮寺	給餌	(1) 幼鳥に餌(虫)を与えていた。	A-4
3	オオヨシキリ	荒川左岸	さえずり		A-4
3	スズメ	保木間三丁目	営巣		D-29
4	カルガモ	見沼代親水公園 (古千谷本町三丁目)	家族群	(1) 5月の調査で、見沼代親水公園の堀に3組23羽の雛を確認しましたが、7月4日に以下の確認をしました。 (2) 5/22 7/4 1組目 9羽 ⇒ 8羽 2組目 10羽 ⇒ 7羽 3組目 9羽 ⇒ 8羽 (3) 幼鳥は親鳥よりひと回り小さいが、雛のイメージはなく、育っていました。	C-21
4	ツバメ	新田一丁目	抱卵	(1) 民家の壁に巣を作り、抱卵していた。	A-2
6	スズメ	大谷田一丁目 アパート付近 中川西岸中川沿い	さえずり	(1) かなり多数のスズメのさえずりが聞こえるが、暑さを凌いでか、木々の茂みの中において姿が見えず。	E-31

## 令和6年7月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
6	オナガ	中川西岸常善院 境内のイチョウ	さえずり	(1) ものすごい勢いで、うるさいくらいに無数のオナガのさえずりが聞こえた。	E-31
6	カイツブリ	舎人公園	巣立ち雛 給餌 家族群	(1) 大池で雛を背中に乗せたカイツブリの親子を確認。親の背中に乗った雛に、別の親が小魚を与えている様子を観察しました。	C-21
6	カルガモ	東和親水公園	家族群	(1) 池を少し離れた用水に成鳥2羽と幼鳥9羽が群れでいてくれた。餌を貰えるかと思ってかこちらに向かって来たところを一枚撮影。11羽かえったうち9羽が元気に育ってくれたようだ。公園の工事が始まってしばらく姿が見えなかったが一安心。	E-38
7	カルガモ	桜花亭の外濠	抱卵	(1) 花壇の中で卵を抱いている。	D-30
23				(2) 23日現在も抱卵中	
10	シジュウカラ	関原二丁目 児童遊園	幼鳥	(1) シジュウカラが確認されたが、幼鳥であり、おそらく近くに営巣場所があるものと思われる。	B-14

令和6年7月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
10	オナガ	稲荷神社	営巣	(1) 以前からオナガが多数確認されてきており、巣までは確認できなかったが、神社社屋横のマツの木と神社入口にあるケヤキの木に複数のオナガが入っていくところが確認でき、これらの木で営巣しているものと考えられる。	B-14
11	オナガ	竹の塚二丁目	幼鳥	(1) 電線にオナガの幼鳥1羽、羽を震わせて親鳥から食べ物をもらっていた。	B-12
11	スズメ	竹の塚二丁目	巣内雛	(1) スズメ1羽が電線の上から動かないので、気になって見ていると、口に何かくわえていました。 (2) 雛に給餌にきたが、オナガが巣の近くにいたため、オナガが飛び立つのを待って、やっと巣に入ることができました。 (3) 巣の中から雛の声が聞こえて、ホッとしました瞬間でした。	B-12
13	カルガモ	しょうぶ沼公園	家族群	(1) 水路を親子（若鳥）が泳いでいた。	E-33

## 令和6年7月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
15	ツミ	大谷田南公園	幼鳥	(1) 巣立ったツミの幼鳥が2羽見られた。地面に降りて1羽が獲物を捕り、もう1羽が欲しそうにしてもあげずにいた。公園横のホームセンターの屋上の手すりに母親らしきツミの雌が止まり、子どもの様子を見守っているように見えた。	E-32
15	スズメ	大谷田二～五丁目	幼鳥	(1) スズメの幼鳥と親鳥が二羽でいる姿があちこちで見られた。	E-32
16	ハシブトガラス	竹の塚六丁目	家族群 幼鳥	(1) ハシブトガラスの親鳥3羽、子ども3羽。 (2) 3羽とも産毛が残り、大きい口を開け、羽を震わせて可愛かったです。	B-12
16	ツバメ	新田一丁目	給餌	(1) 雛が3羽	A-2
21	ハクセキレイ	荒川沿いのグラウンド	幼鳥	(1) 幼鳥2羽が遊んでいた。 (2) 少し離れた場所に成鳥の姿もありました。	A-1
21	セッカ	荒川沿いの土手	さえずり		A-1

令和6年7月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
21	スズメ	建物外壁の配電ボックス	雛の声 巣の出入り 餌運搬	(1) 1羽が配電ボックスの中へ入り、下穴からは巣材が見え、中からは雛の声がした。 (2) 少ししたらもう1羽が餌を咥え、巣の入り口近くの配線に止まり、周りの様子をうかがった後、ボックスの中へ入っていきました。	A-1
25	スズメ	竹の塚六丁目	雛の声	(1) 雛の声は聞こえても、木の中に入っていたので姿は見かけませんでした。 (2) 親鳥は、食べ物を近くで探していました。	B-12

## 令和6年8月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
5	カルガモ	桜花亭の外堀	抱卵 巢内雛	(1) 桜花亭の外堀にて、カルガモの卵がかえりました。卵は数個ありましたが、雛は1羽しか生まれませんでした。	D-30

令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
5	ドバト	<p>(1) 夏枯れ状態といったところで、種類、個体数ともに少なかった。ドバトの54羽は、餌をまいている人に集まっていたもので、その人が移動しても数十羽単位で付きまとっていた。</p> <p>(2) 有料施設（ゴルフ場等）以外及び土手全体については雑草が生い茂っていた。荒川の水面を確認できたのは、西新井橋横の野球場と舎人ライナー鉄橋下からのみで、それ以外は全く見渡せなかった。ただし満潮だったので、鳥はほとんどいなかったと考えられる。</p>	B-10
5	カルガモ スズメ ムクドリ	<p>(1) 6時に中川の起点をスタートする。観察には程良い気温で助かる。土手は覆い茂ったイヌビエ等で川岸が見えない。虫の鳴き声が賑やかで秋の訪れを感じさせる。川にはホテイアオイが大量に流れていて、カルガモがせわしなく啄いばんでいた（ふだんカルガモを見かける事は少ない）。スズメは実りの秋とばかりイヌビエの実を食べては住宅街に消えていく。ゴルフ練習場を起点に多く見かけるムクドリが皆無。7時30分頃「佐野いこいの森」周辺で多く確認でき一安心。繁殖時期が終わったためか給餌場所が変わったのか不明（確認数は昨年同月比で同等）。土地区画整理事業が急速に進み、エリア内の空き地は少なくなる一方で、4カ所ある公園での野鳥の確認は少ない。植栽の種類に問題があるのではと感じる。</p>	E-34
6		<p>(1) 神社で祭りの準備ができていた。</p> <p>(2) 土手で夫婦がハトやネコに餌をあげていた。</p> <p>(3) イチョウの木に銀杏がまだ青くたくさんついていた。</p>	A-8

## 令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
7	アオサギ	<p>(1) 幾分か涼しい中、草むらにはエンマコオロギの声。他にも2種類のコオロギの声があちらこちらで聞こえていた。薄い雲の上に白い太陽が丸く見えていて、少し蒸し暑い。鳥の種類も数も少なめだった。</p> <p>(2) 西沼公園では、公園に入った所でアオサギが小魚を捕まえたところに出会った。鳥もびっくりしたのか、しばらくくわえたままでこちらを見ていた。気の毒なので、すぐにそこを離れた。池の反対側に回るとネムノキにピンクの花が満開だった。2度咲きしたのか遅れたのか。いつもはセミが何種類かは鳴いている時期なのに、今回は1度も声が聞こえなかった。台風10号で出てこられなかったか。</p> <p>(3) 北三谷公園で花の匂いがきついで上を見ると、ニセアカシアの花が風も無いのに次々と花を散らせていた。昨年は雨風でほとんど散ってしまっていて道端に花びらが積もっていたのを思い出した。</p>	E-38
8		<p>(1) 昨日、白露を迎えたが本日も暑さはやまず、秋とは遠いように思えた。</p> <p>(2) しかし秋の虫であるエンマコオロギやカネタタキ、ハラオカメコオロギなどが盛んに鳴いていた。野鳥はとても少なかった。</p>	E-33
9	ツバメ	<p>(1) 今日は湿度が高く、蒸し暑い（9:00 29.0℃、76%）なかでの調査となった。</p> <p>(2) 鳥の種類（13種）も数も少なかったものの、ツバメ2羽がまだ見られた。</p> <p>(3) キクイモの黄色い花が方々で見られ、またツユクサの群落の青い花が美しかった。</p> <p>(4) 9月1～7日の朝の散歩時に見られたチョウゲンボウ、トビ、カワセミ、コムドリやムクドリの大きな群が見られなかったのは残念だった。</p>	A-2
11	オナガ	<p>(1) 当日は早朝から風がなく、湿度の高い日でした。そのためか、カラスを含めて野鳥があまり確認されなかった。しかしながら、西新井さかえ公園で今まで確認されなかったオナガが確認され、6羽のうち少なくとも2羽は幼鳥であり、6羽ともひとつの木にいたことから、この公園で営巣していた可能性が高いと思われます。</p>	B-14

令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
12	カワセミ	(1) 出発した時は曇天。だんだん暑くなり、歩き始めて30分位は鳥の声も姿もなかった。 (2) 久しぶりにカワセミを見ました。 (3) 五反野コミュニティ公園脇の水路に20cmぐらいのウナギを発見したと散歩中の方から話がありました。	D-26
13		(1) まだ暑く鳥の種類も数も少ない。季節がまだ変わっていない。赤とんぼ（種類は不明）が多く飛んでいて秋の予感が感じられた。	A-7
13	オナガ	(1) 9月半ばになっても暑さがきつく野鳥観察も汗だくになりました。全体的に夏場は野鳥の数が少なくなりますが、今年は特に少なく感じられます。 (2) 元淵江公園でオナガの給餌を見ることができました。ツミの鳴き声が聞こえましたが、姿は見られませんでした。	D-29
14	オナガ ドバト ムクドリ	(1) カラスは声のみで姿は見えなかった。オナガの声は聞こえたがベルmont公園隣のマンションの屋上アンテナに1羽見つけた。公園で餌やりをする人がいたためドバトが集まってきた。ムクドリの群れが西から東へ飛び去った。暑いせいか街中には鳥はいない。	D-23
14	オナガ	(1) 朝から残暑が厳しいせいか、鳥の種類、数とも少なかった。オナガの鳴き声が辺り一帯に響き渡っていた。	B-11
14		(1) 晴れ。川面を渡ってくる風は涼やかだったが、日差しは真夏そのもの。飛んでいるのは白球と少々トンボ。鳥の影は薄かった。	B-16
15	ハシボソガラス	(1) 秋が待ち遠しい暑い朝です。鳥の種類も少ない！ (2) ハト位の大きさのハシボソガラス2羽が親鳥のそばでヒョコヒョコ歩いていた。	D-28
15	ノビタキ	(1) 月の後半は何があるかわからないので、暑いなか出かけました。荒川でノビタキが見られて、すべて報われました。	A-6
16	オナガ アオサギ コサギ	(1) 曇り空。オナガが都市農から新芝川向こう岸へ群れて飛んで行った。干潮時ではあったが干潟ではアオサギとコサギのみ見られた。	C-18

## 令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
16	ハシブトガラス ドバト スズメ	<p>(1) 令和6年度3回目観察の9月。スーパーマーケット付近では、7月同様ハシブトガラスがうるさいくらいに鳴いていた。各所の草むらで、秋の訪れを伝える虫の鳴き声（コオロギ等）が聞こえていた。夏の花のムクゲはほとんど終わっていたが、大谷田一丁目アパートの薄紅色のムクゲは、まだ綺麗に咲いていた。</p> <p>(2) 飯塚橋陸橋下は、ドバト専用のエリアではなかった様で、スズメを3羽確認した。毎年営巣する大谷田一丁目団地4号棟の「4」の壁面番号の所には、白い糞の跡は増えていたが、残念ながらスズメの出入りは確認できなかった。</p> <p>(3) 相変わらず猛暑続きで、久々の比較的涼しい日だったが、野鳥の数も種類も少なかった。各所で、夏枯れのせいか桜の葉がたくさん散っていた。</p> <p>(4) 心地よい、無数のスズメの声が聞こえた。</p>	E-31
20	カワセミ	(1) 朝からピーカンで暑い。小鳥の声もしない。ただ遠くにカワセミが見られたことが救いでした。汗びっしょりで疲れしました。	B-15
22	キジバト	<p>(1) 週末は天気が優れず、探鳥も難航。生い茂った草むらや木の中で雨宿りしているかも。飛び立つとたくさん出てくる。私は見ていないけど、鳥見していた人によるとムシクイやコサメ、キビタキが来ているよう。</p> <p>(2) キジバトはせっせと小枝を啜えて土手の草むらに運んで往復している。これから子育てする気かな。セッカは土手の小枝に留まって濡れた羽を乾かしているようだった。</p>	E-39
22	モズ	(1) モズの高鳴きあり（初）。	B-13
23		(1) 涼しい。時々雨。日が短くなった。日の出も遅くなって結構暗い。	E-32
23	ヒヨドリ オナガ スズメ	(1) 夏を過ぎて少し涼しくなり、ヒヨドリとオナガが大きな声で鳴いていた。スズメが大群でいるところを見かけなくなった気がする。	D-24
23	オナガ ドバト	(1) オナガの数が増えていると思われる。いつも見られるハシブトガラスが今日は見られなかった。ドバトの数については主観で見た数です。	D-25

令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
23	ハシボソガラス ワカケホンセイインコ	<p>(1) 埴川の上にはたくさんのトンボが飛んでいて、ギンヤンマもいた。今年も花畑川にアオコが発生。</p> <p>(2) 区民農園でハシボソガラス2羽が土の中から何かを掘り出して啜っていた。</p> <p>(3) ワカケホンセイインコが1羽、電線に止まっているのを確認。</p> <p>(4) 花畑川沿いの民家屋根にイソヒヨドリらしき個体があった。こんな所に！？と驚いていたら飛び立ってしまい、特定できなかった。</p>	E-36
24		<p>(1) 河川敷は樹木がほとんどないために、涼しさを確認してのモニターとなりました。夏草が茂りすぎのためか、鳥の種類も数も全体的に少ない感じでした。</p>	B-17
24	ドバト	<p>(1) 朝の気温が18℃まで下がった日をねらい調査をしたが、思ったほど鳥の数は多くなかった。ドバトだけは多かった。</p>	D-30
24	ドバト スズメ ムクドリ イソシギ ハクセキレイ	<p>(1) 柳原1～2丁目の桜並木道を歩いたが、鳥の気配は全く感じられず、鳴き声も聞けなかった。今までこんなことはなかったと記憶しているが、柳原稻荷神社でかろうじてドバト、スズメ、ムクドリに会えた。</p> <p>(2) 堀切橋近くの荒川の狭い干潟で、久しぶりのイソシギとハクセキレイが餌をついばんでいた。</p>	A-9
24	シジュウカラ スズメ アオサギ キジバト	<p>(1) 見沼代親水公園から調査を開始しましたが、今年5月に誕生したカルガモは確認できませんでした。シジュウカラやスズメ等は通路や兩岸の木々で観察出来ました。見沼代親水公園の起点となる舎人四丁目で、水路に降りたアオサギを観察しました。</p> <p>(2) これまで5年以上の調査時に毛長川で水辺の野鳥を観察できないことはなかったのですが、今回の調査では水辺の野鳥を全く観察できず、河川敷でキジバトとスズメのみの観察でした。(河川工事が継続されていることの影響もあるのか?)</p>	C-21
25		<p>(1) 晴天で風なし。東綾瀬公園温水プール付近で約10人が気功術をやっていました。今日は野鳥の種類が少なかった。また今日もツミの飛翔や木に留まる様子が見られなかった。</p>	E-40
25		<p>(1) 野鳥の行動が不活発でした。</p>	D-27

令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
25		<p>(1) この日の調査時間外にキビタキ（雌）とムシクイを見る。周囲の人の話では、キビタキ（雄）とオオタカも見たと話していました。昨日（24日）は、サンコウチョウ（雌）とツツドリを見えています。上記のような渡りの途中で立ち寄る鳥は、同じ場所でじっくり時間をかけないと見つけることはできないと思います。22日には、エゾビタキ、コサメビタキなども見ました。いつも見ているヒヨドリやメジロは、この日は見られませんでした。</p>	C-20
27		<p>(1) 時間が遅かったのと雨模様のせい、小鳥が少なかった。</p>	E-35
27	<p>ガビチョウ ヒヨドリ モズ チョウゲンボウ</p>	<p>(1) 現地に到着した途端雨が降り始め、今日は諦めて帰ろうかと引き返していたら止んできて、今日はもう後がないと思いきし観察を開始。小雨が降ったり止んだりの中でしたが、以外に多くの野鳥と出会い、楽しく観察することができました。</p> <p>(2) 干潮時を狙って淵を覗きたかったのですが、チドリの声は聞こえるものの、夏場に伸びた草に阻まれ観察することができませんでした。</p> <p>(3) 荒川沿いの木の茂みの中、聞こえてくる複雑できれいな少しうるさい音量のある声、ガビチョウだったのですね。全身茶色の。江北橋緑地右岸球技場横の樹木のあるところで、ガビチョウ、ヒヨドリ、モズが同時に鳴いて、とても賑やかでした。</p> <p>(4) 観察終了間際、荒川沿いグラウンドのネットの上、カラスと並んでチョウゲンボウが！ 小柄ながらやはり猛禽類、キリリと格好いいです。</p> <p>(5) 調査終了後、担当地域外ですが、千住新橋を渡って下を覗いた淵に、茂みに出入りするヒクイナの姿を観ました。</p>	A-1
28	<p>スズメ モズ</p>	<p>(1) どんよりした曇り空で荒川は空と同じ色でした。</p> <p>(2) スズメは多くいました。どこから集まってきたのか不思議ですが嬉しいです。集団で木から木へと飛び交っていた姿は可愛らしく思いました。雨に濡れた草原からは秋の虫の澄んだ声が聞こえてきました。モズの声も聞くことができ、姿も見られました。</p>	B-12

令和6年9月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
28	カワウ	<p>(1) 前線の影響で河面に雨が落ちる場面もありましたが、後半は薄日が差し、半袖でも暑いぐらいでした。天候の回復につれ個体数も多くなったと思います。</p> <p>(2) 荒川区側にはカワウを見かけましたが、カモ類は観察できませんでした。7月に報告した千住桜木町公園近くの親水テラスはかなり整備されてきましたし、橋戸町のタワマンも完成に近づきました。景観や人流が変わると思いますので、冬に向けて継続観察をしてみたいです。</p>	A-5
29	/	<p>(1) しばらく猛暑も落ち着き、時折小雨が降る最中でしたが、鳥の活性は良い方だったと思われれます。</p>	E-37
30	/	<p>(1) 曇り、時々小雨、風弱い北。22℃くらいか。朝のうちは涼しい。</p>	A-4

## 令和6年9月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
11	オナガ	さかえ公園	家族群 幼鳥	(1) ひとつの木に6羽のオナガが確認され、少なくとも2羽の幼鳥が見られた。(今までこの公園ではオナガはあまり見られない。)	B-14
16	ドバト	飯塚橋陸橋下	営巣	(1) 陸橋下の鋼材の上面角隅に、営巣3か所を確認。	E-31
21	シジュウカラ	舎人公園 舎人ライナー東側	営巣	(1) 昨年の11月末に設置した11個の巣箱を外すと、9個が使用されていた。そのうちの2個の中には、雛の死骸があった。 (2) 1個はスズメバチの巣になっていた。残りの1個にはヤモリが入っていた。	C-20
22	オナガ	神明六木遊歩道	幼鳥	(1) 木の間を飛び交う群れの中に幼鳥がいて、枝の上で羽を震わせ鳴いていた。	E-36
25	ハクセキレイ	舎人公園 自然観察園	給餌 家族群 幼鳥	(1) 3羽のうち、1羽が幼鳥であった(他と比べて、全体に黒っぽい) 餌ももらっていた。	C-20
30	キジバト	清亮寺	営巣	(1) 小枝を啜っていた。	A-4

Ⅲ 令和6年度野鳥モニターによる観察日誌・繁殖行動

令和6年10月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
14	オナガ	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) 木の枝に止まり、羽を震わせていた。	B-12
24	ヒヨドリ	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) 小枝にとまって休んでいた。	B-12

令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
1	オナガ ムクドリ ヒヨドリ ドバト	(1) 令和6年度4回目観察の11月。久々の晴天。秋も急に深まり朝夕は寒い時期になりました。そのおかげか、種類こそ少ないですが、鳥の数は増えてきました。各所でさえずりが聞こえます。中川対岸の1本の柿の木には、オナガが30羽も集中して、柿の実を殆ど独占状態で食べていました。又、同じく、中川対岸の常善院のイチョウの大木には、ムクドリとヒヨドリそれぞれ20羽程度が、住处にしているようだった。飯塚橋の橋脚下のエリアは、相変わらずドバトが独占していた。木々の紅葉も始まりつつある。ここ数日の寒さで色づいてくれる事を期待しています。ただ残念なことに、紅葉を待たずして夏枯れで散ってしまった葉が沢山ある。	E-31
3		(1) 河川敷土木業者のダンプ出入り多い。野鳥観察に影響あり。快晴。	B-13
3	カモ科 sp.	(1) カモがやって来た。まだ数は少ないがこれからもっと来るでしょう。種類まではわからなかった。	A-8
4	ジョウビタキ ヒドリガモ キンクロハジロ オオバン オオタカ チョウゲンボウ	(1) 快晴。11℃。風弱く快適に調査が出来た。 (2) 今年も冬鳥のジョウビタキ、ヒヨドリ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、オオバンがやってきた。また、オオタカとチョウゲンボウがたてつづけに出てくれてうれしかった。	A-2
4	ジョウビタキ オオジュリン	(1) とりあえずジョウビタキが見られたのが良かった。この時期にオオジュリンが見られたのも嬉しいです。	A-6
4	ヒヨドリ	(1) 猛暑だった夏が終わり、やっとイチョウが色づいてきた。 (2) 冬のおとずれが間近となり、ヒヨドリの鳴き声がよく聞こえるようになった。	E-33
4	ムクドリ ヒヨドリ	(1) 13℃快晴。血圧が200を超え高めだったので薬を飲んで少し様子を見て出発。3連休3日目で静かな朝。いつもの声が聞こえぬと思ったら、月曜日。燃やすゴミを出す日で、カラスは高いところで鳴いている場合ではなかったか。ムクドリやヒヨドリも群れで動いているようで、餌を食べるのに夢中だったか。途中で、カラスが大きなものを啜っているのを2度見て静かな理由を納得した。土曜日が雨で、日曜日は用事があったので、今日になったが、休日で土曜日と環境は似ているが、生ごみを出す日なのでカラスの動きは普段と大分違って姿もあまり見えなかった。	E-38

令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
5	ヒヨドリ ジョウビタキ	<p>(1) 今月の調査ではさかえ公園以外でカラス（ハシブトガラス、ハシボソガラス共に）が認められなかった。当日は火曜日で、資源ゴミの回収日だったことが影響しているのではないかと考えられる。また、先月まであまり見られなかったヒヨドリが多数確認された。今年1月に初めて確認された、亀田公園のジョウビタキが今月は確認出来た。</p>	B-14
5	モズ チョウゲンボウ ハシブトガラス	<p>(1) 太陽光が逆光になり、観察しづらかった。                  (2) 西新井橋近くの木の梢にモズ（オス）がいた。                  (3) 中央の広場（ネコの餌台がある）近くで、モズの高鳴きを聞いた。姿は確認できなかった。                  (4) 扇大橋近くの野球場上空で、チョウゲンボウ（オス）がハシブトガラス2羽にモビングされ、飛びながら逃げ回っていた（私が確認した限りでは3回）。テニスコートのフェンスにチョウゲンボウが止まったので近づいたが、私を警戒する様子はなく、飛び立っても低空飛行で数十メートル先の野球場のフェンスに止まりバッタを捕食したり、土手の階段のフェンスにとまったりしていた。このためすぐ近くで撮影できたが、逆に私がカラスに対する用心棒に利用されていたのかもしれない。</p>	B-10
7	ムクドリ ツミ	<p>(1) 北風が吹き、この季節らしい寒さになり、6時スタートは少々早く、鳴き声を頼りに双眼鏡での探鳥でした。                  (2) 土井苗海堀公園付近の民家でジョウビタキの鳴き声が聞こえましたが姿が見えませんでした。                  (3) 都営保木間町アパート横の民家の柿の木にムクドリが10羽ほど柿の実を採餌中、カラスが来て一斉に飛び立ちです。                  (4) 元淵江公園の上空でツミが小鳥を捕まえ高い木の枝の中に入っていくのを確認できました。                  (5) 調査区域外 11月のはじめ、舎人公園内の大池の木道から東向き70メートルほど先の葦の中にサンカノゴイがいました。他のカメラマンが見つけており、双眼鏡でやっと確認して撮影しました。</p>	D-29

## 令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
8	スズメ アオサギ	(1) 木枯らし一号が吹いた翌日です。寒くなって鳥達も生き生きとした姿でした。 (2) スズメは、電柱の柱上トランスの影で暖をとっているのか、声は聞こえても姿を見られません。 (3) 公園は五反野コミュニティ公園。アオサギはコミュニティセンターの池をねらっている。	D-26
8	スズメ ハシボソガラス	(1) 晴。久しぶりにスズメ、ハシボソガラスの群を観察。なじみの鳥が帰ってきた印象。	B-16
10	ジョウビタキ チョウゲンボウ	(1) 寒くなって少し鳥の種類が増えた。 (2) ジョウビタキが鳴いているのを聞いて探していたら、建物のアンテナみたいな高いところにチョウゲンボウがとまっていた。 (3) 土手で堤防？の工事が始まって一部立ち入り禁止になっており、探鳥しづらくならないでほしい。	E-39
12	スズメ オナガ ドバト	(1) スズメ、カラスの数が減ったのに、オナガの数が非常に増えていると思う。 (2) ドバトの大群数は、正確にわからないので、60羽とした。	D-25
13	ユリカモメ アオジ タカ科 sp.	(1) シギ類が観察できるかと思い日にちと時間を選んだのですが、潟では観察時間の始めから終わりまで何も観察できず、ユリカモメが飛び交うだけでした。 (2) 河川敷の藪の中にアオジの地鳴きが聞こえました。 (3) 荒川上空にタカの姿を確認しましたが、種の特定はできませんでした。	A-1
13	ハシボソガラス	(1) ハシボソガラスが河川敷横のアスファルト上でクルミをついばんでいた。荒川河川敷にはクルミの木が自生しています。	A-7
13	ヒヨドリ ユリカモメ	(1) ヒヨドリの声がにぎやかでした。 (2) となりのエリアにユリカモメが40羽程いました。調査終了後にはいなくなっていました。どこにいったのかな？	B-15
13	ワカケホンセイインコ	(1) 保木間四丁目、民家の庭の木にリンゴを切ったものを餌付けされている。その民家の電線にワカケホンセイインコが26羽いました。近隣住民によると、朝7時頃に餌付けがはじまり、4~50羽のワカケホンセイインコが集まり、非常にうるさいとのこと。	D-30

令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
13	オオバン ハクセキレイ モズ ヒヨドリ	(1) 5時50分に自宅を出発。6時20分に中川の起点をスタートする。気温は14度、風も無く川面をべた風で期待が膨らむ。ご無沙汰していたオオバンが迎えてくれた。普段は2～3羽程度しか確認できないハクセキレイか岸辺で5羽程が忙しく捕食している。暫く歩くと電線にモズを発見、モニター2期目に初観察で心躍る。ヒヨドリの到来で賑やかとなったが、スズメを多く観察していた花畑運河・六ツ木水門脇の草地が土地整備の為に整地され工事車両が置かれ、スズメやムクドリの確認が出来なかった。六ツ木二丁目も日増しに分譲住宅が建設され、空き地もほぼ無くなった。	E-34
13	チョウゲンボウ ヒヨドリ カワウ モズ トビ ムクドリ スズメ セグロセキレイ ハクセキレイ カワラヒワ カイツブリ アオサギ セグロカモメ ウミネコ ハシブトガラス ハシボソガラス ドバト	(1) 一面の青い空、荒川は穏やかに流れていました。気温は高めでポカポカと春のようでした。 (2) チョウゲンボウ、ヒヨドリ、カワウ、モズ、トビ、ムクドリ、スズメ、セグロセキレイ、ハクセキレイ、カワラヒワ、カイツブリ、アオサギ、セグロカモメ、ウミネコ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ドバト (3) チョウゲンボウ1羽が木の枝にとまると、すぐにもう1羽が飛んできて2羽は並んで木の枝にとまり、暫く一緒にいました。2羽同時に確認出来たのは初めてです。 (4) 渡り鳥？チチチと可愛い声で鳴いて通り過ぎて行った集団の小鳥たち。種類の確認ができなくて残念に思います。	B-12
14	カンムリカイツブリ	(1) 秋晴れの中、快適なモニターとなりました。荒川の真ん中でカンムリカイツブリが盛んにエサを追って潜水を繰り返していました。	B-17
16	ムクドリ スズメ	(1) くもりのち晴れ。最近ムクドリは増えていますがスズメが少なくなりました。	E-40

## 令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
20	モズ メジロ シジュウカラ カワセミ ホシハジロ キンクロハジロ コサギ ダイサギ アオサギ メジロ ムクドリ ヒヨドリ キジバト オナガ ハシボソガラス	(1) 神明六木遊歩道が地質調査のため一部立入禁止だったが、モズ・メジロ・シジュウカラ等確認した。 (2) 堀川でカワセミを確認。今年も会えて良かった。 (3) 花畑川にはホシハジロ・キンクロハジロ・コサギ・ダイサギ・アオサギがいた。 (4) 柿の木にメジロとムクドリ、ハナミズキにヒヨドリ、モッコクにキジバトがそれぞれ実を食べていた。 (5) オナガが電柱に止まって足場ボルトの穴をつついていた。また民家の屋根のすきまから貯食していたらしいものを取り出して食べる様子を観察した。 (6) ハシボソガラスが落ちていた柿の種の袋から、ピーナツだけを選んで食べていた。	E-36
23	ヒヨドリ トビ ハシブトガラス	(1) 北風が強く寒い朝で鳥は少なかったです。ヒヨドリの鳴き声がひびいていました。トビが上空を旋回しており、ハシブトガラスが2羽で威嚇していた。	B-11
23	オナガ ムクドリ ヒヨドリ メジロ	(1) いよいよ冬鳥も到来し、賑やかになってきました。 (2) 住宅地の柿の実も今年は出来が良く、オナガ、ムクドリ、ヒヨドリ、メジロなどがこぞって集まる姿が多く見られました。	E-37
23	スズメ ハシボソガラス ドバト	(1) 寒くなり街の中には鳥がいなかった。足立消防署の屋根と生垣の中にいるスズメが鳴き合っていた。それを見ているのかハシボソガラスが電線に停まっていた。ベルモント公園とその隣の公園にしばらくいた。ドバトの旋回が見たことがない程多かった。そのせいか他の鳥がいなかった。	D-23
24	カルガモ オオバン カワウ カワセミ	(1) 見沼代親水公園でのカルガモは舎人三丁目で4羽、舎人四丁目で3羽を観察できました。 (2) 毛長川では河川工事が継続されていますが、オオバン3羽を観察しました。また、水面近く飛翔するカワウとカワセミを観察、川に隣接する民家の屋根でアオサギを観察しました。 (3) 観察日は干潮で、数年前からの浚渫作業により干潟となる場所が全く無くなった場所に小さな干潟を確認できました。多くの野鳥が観察出来るには、かなりの期間がかかりそうです。	C-21

令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
24		(1) 快晴、北西2、10℃以下、日が昇ってから少し暖かくなった。柿の葉など紅葉している。河川敷、春のようにホトケノザが満開に咲いている。	A-4
24	ジョウビタキ メジロ	(1) 11月後半になりようやく寒くなってきました。本日は河面に朝日が当たる7時少し前から観察をはじめました。手袋なしで大丈夫でした。7時台は風もなく野鳥の活動も活発でありました。冬鳥が増えました。ジョウビタキと冬ガモが観察でき、メジロも複数箇所で見ることができました。完成間近のタワマンと千住小仮校舎跡（現観光バス会社駐車場）の間の空き地が今回キレイに整備されておりました。まちづくり課『千住大橋駅前用地活用方針（案）』上のF街区に該当する場所です。住宅地区（未定）と表記されておりましたが、おそらく高層建物群に変わっていくことと思います。タワマンの工事ははじまりまして、千住緑町から墨田川への歩道でイソヒヨドリを見ることがなくなりました。親水テラスの延伸とともににぎわいの創出により野鳥も影響を受けることでしょう。	A-5
24	ヒヨドリ メジロ ハクセキレイ ウグイス	(1) ヒヨドリとメジロの数が増えた。ハクセキレイも公園や住宅街に歩く姿が増えた。ウグイスも結構鳴いている。カモメは飛んでいたのに識別できなかった。	E-32
24	ヒヨドリ コゲラ メジロ	(1) ピーヨ、ピーヨと賑やかなヒヨドリの声が、あちこちで響き渡っていた。冬鳥、コゲラ、メジロも顔を出し、種類も増えてきた。一度だけツグミらしい声を聞いたが確認できず。	D-28
25		(1) 堀切橋々脚築造工事のため周りのアシ原と草が刈られ、広く柵が設けられ工事が本格化していた。毎年飛来して来たオオジュリンとツグミの飛来が心配だ。	A-9
25		(1) 11月も後半になると、急に鳥の種類が多くなりました。この日に見ることができませんでしたが、クイナ、ヨシゴイ、コガモ、アオジ、コゲラ、ハシビロガモ、オナガガモなどを確認しました。また、友人の中には、サンカノゴイ、ゴイサギ、ハイタカ、アリスイを見た人もいました。	C-20

## 令和6年11月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
25	ホシハジロ オオバン ヒヨドリ スズメ	(1) 風のない晴天。新芝川にはホシハジロが渡ってきていた。また、オオバンも集まっていた。都市農業公園ではヒヨドリの声がやかましいほどで、スズメなど他の鳥が少ないのは、その縄張り主張の影響と思えるほどです。	C-18
28		(1) 大鷲神社の酉の市前後だったため鳥達はどうかなと心配した。群れは確認できないもののパラパラとはいつもの場所にいつもの種が見られた感じ。この地域の水鳥にいまいち出会えていない。	D-24
30	ヒヨドリ ジョウビタキ	(1) ようやく冬がやってきたという感じで、ヒヨドリたちの大きな声が響いていました。残念なことにまだツグミの姿を見かけませんでした。ジョウビタキのメスが寺院の中で忙しく飛びまわっていたのが印象的でした。	C-22

Ⅲ 令和6年度野鳥モニターによる観察日誌・繁殖行動

令和6年11月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
17	カイツブリ	舎人公園	営巣	(1) 野鳥モニター研修会の時に、大池で巣作りと思われる行動を確認した。	C-21

## 令和6年12月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
10	キジバト	竹の塚六丁目	幼鳥	(1) 綺麗な羽をしたキジバトの幼鳥一羽、木の枝で眠っているように見えました。暖かな午後でした。	B-12
22	カイツブリ	舎人公園	営巣 巣内雛 巣立ち雛 給餌	(1) 11月17日の野鳥モニター研修会の時に確認した営巣場所を観察すると、巣内及び周辺で3羽の雛を確認した。 (2) 親鳥が小エビを雛に与えている様子を観察した。	C-21

令和7年1月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
2	メジロ	(1) たくさんのメジロがサザンカの花の蜜を吸っていた。	E-33
4	ドバト カルガモ ヒヨドリ スズメ	(1) 朝6時30分（気温2.7℃）では、まだ少し暗いので少し待つ。6時50分頃出発。暮れには幾つか残っていた近所の柿の実、ヘタだけ残して一つも無し。雲一つない正月の青空の下、血圧を少し心配しながら観察を始める。東和親水公園では、ラジオ体操が終わってドバトが地面に降りてエサを探していた。パン屑を撒く人がいて、10数羽のハトがその人の後について行った。池には、12羽のカルガモが、泳いだり休んだりしていた。ラジオ体操の人から餌をもらったのか岸边に居る人のそばに数羽が近づいて餌をねだっているような感じだった。その後は、何も居ないかと思うと、ヒヨドリが大きな鳴き声で近くに飛び出してきて、そちらを見ると他の小鳥も近くに見えるという感じで、終わりまで退屈せずに進めた。日差しが温かく感じられる中、北三谷公園で、常緑樹の茂みの中からスズメ8羽が飛び立つのを見、ヒヨドリが大きな声で鳴くのを聞きながら終了。	E-38
4		(1) 快晴、北2、2℃以下。	A-4
5	メジロ ジョウビタキ カワラヒワ	(1) 11月の調査に比べて多くの野鳥が確認された。特に11月には確認出来なかったメジロが公園内の木の上で確認出来たが、気温の低下に伴って平地に降りて来たと共に、樹木の落葉によってより確認しやすくなったのもその要因と思われる。今年は秋の高温が原因と思われるが、冬鳥の飛来が例年よりもかなり少なくなっている。特にジョウビタキは大きな公園でもあまり見かけないが、住宅地の小さな公園（例えば神領堀親水緑道や入谷日の出公園）で確認されている。今月の調査では梅田稲荷神社でメスが確認された。冬鳥のカワラヒワも昨年同様、梅田亀田公園と隣のトレイン公園で確認されたが、これはおそらく両公園の間にある空地に生えている雑草の種を目当てに飛来したものと思われる。	B-14

令和7年1月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
5	トビ	(1) 宮城一丁目あたりにて、上空にトビが飛んでいた。	A-8
5		(1) 晴れ、穏やかな河川敷。野鳥の影は薄かった。	B-16
5	ムクドリ オオバン ハシブトガラス	(1) 令和7年1回目観察の1月。今年のスタートは、晴天が多く、寒いけれども穏やかな正月です。調査ルート全体を通して、ムクドリの地鳴が聞こえて、賑やかでした。中川では、オオバンの群れがエサ取のために潜ったり、水面に頭を出したり、繰り返している群れの姿が、数カ所確認出来ました。中川対岸常善院のイチョウは、11月のムクドリ、ヒヨドリに代わってハシブトガラスが占領していました。大谷田1丁目団地公園のケヤキ30m程上部に、ハシブトガラスの空巣が確認できました。各所で、冬らしく、サザンカの赤い花がきれいに咲いていました。	E-31
7	ムクドリ キジバト ハシブトガラス スズメ ジョウビタキ カワラヒワ オナガ	(1) ムクドリ8羽、キジバト3羽、ハシブトガラス1羽、スズメ12羽は淵江中学校で確認しました。 (2) ハシブトガラス1羽は淵江第一小学校で確認しました。 (3) ジョウビタキ1羽、スズメ9羽、ドバト3羽、カワラヒワ3羽、キジバト1羽は都営保木間アパートで確認しました。 (4) オナガ12羽は糯田公園と民家を行ったり来たりしていました。 (5) 道路上で確認できた鳥も次回からメモ出来たら良いと思います。冬季期間は日の出が遅くできる限り東側の公園から観察をはじめています。	D-29
8	ワカケホンセイインコ	(1) いつもより多くの種類の野鳥を観ることができた。 (2) 山王堀公園付近の民家の庭では今月も餌をあげていて、ワカケホンセイインコがたくさん集まっていた。	D-30
8	カワセミ カワウ	(1) 快晴、風は弱い霜柱のたつ寒い朝（7時）でした。 (2) 今日は21種観察された。 (3) カワセミ：順光下で背～上尾筒の光沢のある青が鮮やかで、とても美しかった。 (4) カワウ：隅田川の上空を下流に向かってカワウの群がV字形の編隊を組んで、次から次へと通過していくさまは壮観でした。このような大群を見るのは久しぶりで、その数は500羽を超えると思われました。	A-2

令和7年1月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
10	ユリカモメ カワウ オオバン ムクドリ スズメ	(1) 6時20分自宅を出発。6時50分日の出とともに起点の中川堤から調査開始。気温0度微風で寒い。今年初の調査で多くの野鳥に出会えればとの期待が膨らむ。ユリカモメ、カワウが出迎えてくれた。カワウ、オオバンは見かけるが、ヒドリガモには出会わない。ムクドリはゴルフ練習場と土手の草地を忙しく行き来している。更に土手沿いに足を進め花畑運河まで観察するが、野鳥の種類、数量ともに少なく感じる。六ツ木の新興住宅街は空き地がますます減ってきてスズメなどの数も少なくなった。今回は燃えるゴミ収集日でないせいかカラスを見かけなかった。	E-34
10	ホシハジロ	(1) 寒いやや風のある日、都市農業公園も河川敷もヒヨドリの声がやかましい。そのせいか公園では鳥の種類は少なめだった。 (2) 新芝川では浚渫工事が行われていたせいか例年より水鳥の数も種も少なかった。そんな中でもホシハジロが集まっていたのが嬉しい。	C-18
10	コガモ	(1) 西新井橋と扇大橋の中間位の川の中の杭の辺りに、コガモの群れがいた	B-10
12	チョウゲンボウ スズメ シジュウカラ オカヨシガモ カンムリカイツブリ ヒヨドリ アオジ ウグイス ジョウビタキ モズ	(1) チョウゲンボウがスズメを追いまわしていた。しばらく停空飛翔をしてから、八潮市方面へ飛び去って行った。ケヤキの根元にパラパラと落ちてくる物があったので見上げると、シジュウカラがくちばしで樹皮を剥いで虫を食べていた。 (2) 中川にオカヨシガモとカンムリカイツブリがいたが、観察しているうちに大場川水門の方へ泳いで行ってしまった。 (3) 畑でヒヨドリがブロッコリーの葉を食べていて、そのそばではスズメの群れが砂浴びをしていた。 (4) 神明六木遊歩道で、アオジ、ウグイス、ジョウビタキ、モズ等確認した。	E-36
13	カワセミ カルガモ オオバン アオサギ カワウ	(1) 見沼代親水公園ではカワセミが用水路の縁に止まり、5m位離れた水路の反対側を散歩の人が歩いても全く動かない状況でした。また、カルガモ8羽は古千谷本町での観察です。 (2) 毛長川では河川工事が続いています。オオバン6羽を観察しました。また、アオサギは新砂子路橋付近で、カワウは相撲部屋近くで観察しました。	C-21

## 令和7年1月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
15	カワセミ	(1) チーッと小さな聞き覚えの音がし、周りを探してみると、すぐ側の枝にカワセミが止まっていた。小さな池を見つめており、しばらく観察していたが、魚がないのかダイビングは見られなかった。十数年の長い間の観察で千草園に飛来したのは初めてでした。 (2) いつも観察できたツグミ、オオジュリンが、今期初めて見られなかった。このようなことも今までにない。	A-9
16		(1) ツグミがない。これから来るのでしょうか？	B-15
16		(1) 川は東京拘置所脇の水路。12月から1月にかけて降雨量が少なかった為か、下草が枯れて地面でエサを探す野鳥が少なかった。	D-26
17		(1) 荒川左岸、河川土木作業中。	B-13
18		(1) 観察した日としては、最低気温。ベルmont公園の池は氷が張っていた。朝日がまだ地上まで来ず、高いところいる鳥達でした（種類まで判別できず）。	D-23
19	ウグイス メジロ	(1) ウグイスの音がよく聞こえた。 (2) メジロがアキニレの木の幹や枝に群がって、木の皮をめくってはぼろぼろ落とし中の虫かなにかをついばんでいた。	E-32
19	ヒヨドリ スズメ メジロ モズ	(1) ヒヨドリの鳴き声が響き渡っていた。スズメの数より多く感じられた。メジロが数カ所あるツバキの木で、花の蜜をついばんでいた。カキの木のてっぺんに止まっているモズを久しぶりに見た。	B-11
19	ドバト スズメ	(1) 数は少ないが、この地域にしては多くの種類が見られた。 (2) 公園でドバトにエサを与えている人がいて、スズメも集まっていた。良くない事だが、注意する事はどうなのか考えた。	D-25
19		(1) 全般的に活動が活発です。鳴き声もにぎやかです。	D-27
22		(1) 少し風があったが春を感じる暖かい日となりました。河川敷はグランド整備工事の為か鳥の種類も数も少なかった感じでした。	B-17
22		(1) 最近、野鳥が少ない。	E-40

令和7年1月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
23	ムクドリ ヒヨドリ カワラヒワ ハシボソガラス	(1) 空はどこまでも青く、穏やかに荒川は春を思わせるよう なうらかな日和でした。 (2) ムクドリ・ヒヨドリは多く、カワラヒワの大群にも会う ことができました。 (3) ハシボソガラスはムクドリ8羽を追いかけていました。 しばらくして、ハシボソガラスは帰ってきました。	B-12
24		(1) 花畑運河の水のある場所、ホシハジロが20羽ほどいた が、河の半分より向こう側だったのでカウントしなかった。	E-35
25	ムクドリ スズメ カワラヒワ メジロ ヒヨドリ カワウ セグロカモメ オオバン ホシハジロ	(1) 前日雨が降り朝から曇り空で寒い日だった。草を刈った 後で、広いグラウンドへムクドリやハト、スズメやカワラヒ ワが降りて食事をしていました。スズメが多く、葉が落ちたは だかの木の枝にたくさん群がってずっとおしゃべりをして いた。メジロがたくさんビワの木の花の蜜に群れて賑やか だった。ヒヨドリもいた。 (2) 河川は堤防のかさ上げをする工事で立ち入り禁止、いつ も冬来ている鳥が見られてないかもしれない。 (3) カワウやセグロカモメの群れはたくさんいた。オオバン も増えていた。ホシハジロはつがいで泳いでいた。	E-39
26	カワラヒワ ジョウビタキ	(1) まだ薄暗い中の始動だった。今回はあまり冬鳥に会えず！ (2) カワラヒワの大群（15羽）と、ジョウビタキのオスと メスに会えたのは嬉しかった。	D-28
26	ノスリ	(1) この冬は雪が降っていないので枯れたアシが倒れず残り、 ブラインドのようになって川の景色を遮っています。今回 自分の担当区域で初めてノスリを観察しました。カラスの 群れに追われて下流側に飛んでいきました。	A-6
26	ヒヨドリ スズメ ユリカモメ メジロ	(1) 日の出が6時45分ぐらいで荒川の朝日を見てから観察 をはじめました。快晴でしたが風があり、河面に細かい波 が立っていました。カモ類は低調な印象でした。今期はまだツグミを見る ことができていませんで、タワマンの横の 草地も空振りでした。ヒヨドリとスズメはたくさん観察で きました。ユリカモメについても同様です。千住桜木町公 園近くの親水テラスは完成に近づいているようで、今後川 沿いを歩くことが可能になりますと、現在のルート変更が 必要になりそうです。その他、お化け煙突跡の東電事務所 敷地内にサルスベリがありますが、メジロが実を食べてお りました。	A-5

令和7年1月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
26	ホシハジロ オオバン カムリカイツブリ オオタカ ハシブトガラス アオジ ホオジロ オオジュリン コガモ	(1) 風の強い日で、ホシハジロやオオバンが浮かんだまま下流に流されていく中、カムリカイツブリだけが潜ってどどん川上の方へ移動していました。 (2) 遠目にハシブトガラス3羽がじゃれているのかと双眼鏡を覗くと、1羽はオオタカで、ハシブトガラス2羽に追いかけられ争っているようでした。 (3) アオジ、ホオジロ、オオジュリンのチッ、チッやチチッ、チチチッの音が芦原中で続いていました。 (4) 帰り道、千住新橋の上からコガモ6羽を観察しました。	A-1
26	ヒヨドリ	(1) 相変わらずヒヨドリたちが元気な声で飛び回っていました。今冬はツグミの姿も見られず、またジョウビタキも私の地域では見ることが出来ませんでした。	C-22
28	ヒクイナ	(1) ヒクイナが昨年と異なる場所で過ごしていた。そしてその場所は通常のコースではなかったが、以前から見ていたのでこの日も確認できた。通常見ることができる、オオタカ、ハイタカ、ダイサギ、コゲラ、アオジ、タシギ、アカハラなどは見ることはできなかった。 (2) 今年はツグミを1回（1羽）しか見ていません。例年10羽以上見るのですが。ツグミ以外にも、カシラダカやシメを一度も見えていません。一週間ほど前に大池の中之島でゴイサギが1羽休んでいました。	C-20
29	/	(1) 冬だけど冬じゃないような比較的暖かい気候の今年ですが、冬鳥はちゃんといました。ご家庭の庭先の早咲きの木に止まっている姿を見かける度に、家庭木のありがたさを感じます。	D-24

令和7年3月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
1	ヒヨドリ キジバト スズメ ムクドリ	(1) 保木間五丁目、原公園近くの生産緑地地区に収穫したブロッコリーの葉があり、それにヒヨドリが集まって食べていた。何も植わっていない畑の土の上では、キジバト、スズメ、ムクドリが何かをついばんでいて、一帯が野鳥の楽園の様だった。	D-30
1	カルガモ ドバト	(1) 6時3分、6.3℃、湿度56%、6時11分日の出。6時21分出発。近所の梅の花がほぼ満開。時折、良い香りが漂ってくる。カルガモのいる公園ではラジオ体操が始まっていて、いつも20数羽いるドバトが、5羽しかいなかった。近くの道路や電線に避難していたようだ。葛西用水通りの枝垂れ柳の枝が少し緑色付いて春が近いことを知らせていた。7時11分過ぎ、家々の屋根の上に太陽が上がり、街角を曲がる度、まぶしく陽の温かさを感じた。あるマンションの花壇では小さなアセビ5株が満開だった。終盤、楽しみにしている畑では鳥の姿は見えなかったが、ホトケノザとスズナの小さな花が空地一面に咲いていてすっかり春になっていた。モニター最終日が、良い天気良かった。	E-38
1	カルガモ アオサギ コガモ オオバン	(1) 見沼代親水公園から調査を開始し、古千谷本町地区ではカルガモに加えてアオサギを観察しましたが、アオサギはこの地区では初めて観察しました。 (2) 毛長川では河川工事がほぼ終わり、今シーズン初めてコガモを観察しました。オオバンは10羽観察しましたが、これまで観察していなかった尾久橋通より下流でも観察できました。	C-21
2	キンクロハジロ	(1) 今月の調査では1月の調査と比較して、野鳥の確認数がかなり少なかった。特に今年の冬は、冬鳥の飛来が少なくなっているが、これは秋でもなかなか気温が下がらなかったことが原因しているのではないかと思われる。 (2) 担当区域ではありませんが、ほぼ毎日訪れる舎人公園の大池に通常3月に入って大量に飛来するキンクロハジロが2月に200羽以上飛来し、調査当日（3月2日）にはややその数が減少していた。それと同日、舎人公園の北側入口付近の藪で、今季初のウグイスのさえずりが確認された。 (更に9時過ぎには第二駐車場付近の藪でもさえずりが確認された。)	B-14

令和7年3月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
2	カルガモ	(1) カルガモが土手のコンクリートの上でひなたぼっこしていた。	A-8
2	ドバト	(1) 春を感じさせる日射し。ドバトが減少した印象。水鳥の姿がやや寂しい。	B-16
2	ハイタカ ホシハジロ オオバン ホオジロ トビ コサギ ダイサギ アオサギ	(1) 荒川ヨシ原沿いの砂利道でハイタカが地上すれすれを低空飛行、捕食（失敗）する姿を目撃しました。 (2) 今日の荒川上は、ホシハジロとオオバンの数が半端なかった。 (3) ヨシ原にホオジロの地鳴きがあちらこちらで多く聞こえる中、1羽だけがヨシのてっぺんでさえずっていました。 (4) トビを調査開始後すぐ位に上空に見かけたが、調査終了頃、同じ上空に旋回しているトビを確認。多分同じ個体。ずっと同じ上空にとどまっていたようです。 (5) コサギとダイサギが近距離でエサをついばんでいて、少し離れたところにアオサギもいて、大きさの比較ができました。	A-1
2	ジョウビタキ ウグイス ツグミ	(1) ふだん見られないジョウビタキを、都営住宅の花壇のところで見ました。その他、ウグイス、ツグミなど、数は少ないが多くの種類を観察できた。	D-25
2	ツグミ カルガモ オオバン	(1) 寒波の合間の暖かい朝でした。ツグミは今季初のお目見えでした。毛長川では、護岸工事のせいか、あまり水鳥が見られなくなったが、今日はカルガモが2羽見られた。下流の花瀬橋下ぐらいから逆流するようにオオバンが5羽泳いできた。	D-28
2	カルガモ	(1) 数日春の気温。例年になく降雨が少なく、足元の野草に花がない。 (2) ツグミの姿が見えない。 (3) カルガモが五反野親水公園の水路内フラワーポットにいました。	D-26
2	オオジュリン ツグミ	(1) 京成上野線の橋梁工事の柵があり、周りの草地が刈られているにもかかわらずオオジュリンが飛来しており、河川敷にはツグミが来ていた。	A-9

令和7年3月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
2	モズ	(1) 西新井橋横野球場と中央付近の広場にモズ（オス）がいた。いままでの調査では木の梢にいたことが多かったが、今回は2羽とも立ち枯れた草の上に止まっていた。 (2) ヒバリが1羽、上空に舞い上がって行ったが、鳴き声は聞こえなかった。	B-10
2	ツグミ ムクドリ スズメ ヒヨドリ キジバト	(1) 暖かい朝でした。今年の冬、初めてツグミを見ることができました。 (2) 耕作した畑は、ムクドリ、スズメ、ヒヨドリ、キジバトが群れ、餌をついばんでいた。	B-11
2	ヒヨドリ メジロ シジュウカラ	(1) しょうぶ沼公園はカワヅザクラが咲いていて、ヒヨドリが花のみつを吸いに来ていた。また、ハルニレの木の上の方で、メジロとシジュウカラが集い、近くのサザンカの花のみつをメジロが吸いにきていた。そこに、ヒヨドリがやって来ると、メジロはハルニレの木に戻って行った	E-33
4	オシドリ モズ アリスイ	(1) この日は前日（3月3日）が一日中雨であったため、寒いくもりの日でしたが、鳥は出ていたようです（調査中は4℃くらい）。また前日が雨であったためか、オシドリが1羽（オス）いました。舎人公園の場合、前日が大雨であったりすると、翌日変わった鳥が入ったりします。モズのそばでアリスイの甲高い声が聞こえました。	C-20
4	ハシボソガラス モズ ユリカモメ	(1) 河川敷の高圧鉄塔（「30」の表示）の鉄骨の上に、ハシボソガラス2羽が木の枝を運んで巣を作っていた。 (2) モズ（オス）が、グラウンドと川の境界にあるフェンスの杭に止まっていた。 (3) ユリカモメが26羽の群れで、下流方向に飛び去っていった。	B-17 (代理)
6		(1) 天気は回復の傾向。しかし早朝は寒かった。公園の他は、少しの鳥しかいなかった。ベルモント公園のサボテンが枯れていた。今までの冬よりも寒いのだろう。先が茶色く、痛々しかった。	D-23

令和7年3月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
7	カワセミ チョウゲンボウ ハシブトガラス ヒヨドリ ツグミ	(1) 中川土手にカワセミがいた。この辺りでは初めて確認した。 (2) 1月の調査時と同じ場所で、チョウゲンボウが今回はハシブトガラスに追いかけていた。 (3) ツバキにヒヨドリがいたので蜜を吸っているのかと思ったら花びらを食べていた。 (4) 今年はなかなかツグミに出会えなかったが、ようやく遊歩道で確認できた。	E-36
8	メジロ ヒヨドリ オナガ	(1) 公園の早咲き桜にメジロが群れて、忙しく飛び回っていました。神社ではヒヨドリ対オナガがお互いを牽制しあうように飛び交って、とても賑やかな光景を楽しませてくれました。	C-22
8		(1) 早朝、気温低く雲空。荒川河川敷で先月に引き続き土木作業ダンプ出入り。	B-13
9	スズメ ムクドリ ハシブトガラス オナガ オオバン	(1) ここ数日、悪天候と真冬のように冷え込む日が続いています。そんな中で、今日は北風もなく、比較的穏やかな朝でした。気温は低めで、スタート時が2℃で終了時は5℃でした。 (2) 調査ルート全体を通して、スズメ、ムクドリのさえずりが聞こえ、にぎやかです。大谷田一丁目第二児童遊園では、ハシブトガラスが、オナガを追い払う様子が見えました。中川では、1月の調査時にも増して、オオバンの群れがエサ取りをしている様子が数カ所確認できました。 (3) 各所で新緑が目立ち、春近しという感じですが。大谷田一丁目第三児童遊園付近の民家には、今の時期らしく、黄色いミモザの花が咲いていました。サクラは枝全体に芽吹いて開花が楽しみです。	E-31
9	ツグミ ジョウビタキ アオジ オオジュリン コガモ ヒドリガモ ユリカモメ	(1) 一昨日は強風のため、調査を途中で中止した。 (2) 今日は晴、気温低めだが、風も弱く調査には絶好。 (3) 白い富士山がかすんで見え、春を思わせる。また、河川敷のカンヒザクラが満開を迎えている。 (4) 今年は25種（昨年24種、一昨年25種）観察された。 (5) ツグミがあちこちで見られたが、ジョウビタキ、アオジ、オオジュリン、コガモ、ヒドリガモ、ユリカモメにも出会えてうれしかった。	A-2

令和7年3月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
9		(1) 雑草が枯れていることもあり、普段草がうっそうとしてなかなか生き物を発見できない場所でも静かにたたずむ小鳥達に出会えた。	D-24
10	ヒドリガモ オオバン ムクドリ ヒヨドリ オナガ ハシボソガラス	(1) 6時10分、調査起点の中川より調査を始める。気温4度で風もなく寒さも緩んだ感じだ。日の出の時刻、川面はまだ薄暗いがヒドリガモ、オオバンが迎えてくれた。刈込が終わった土手のハコベやカタバミなどを世忙しく食べていて、その可愛さにしばし観察。釣り船を係留している桟橋に多く見かけるドバトは見かけない。相変わらずムクドリはゴルフ練習場と餌場の土手とを忙しく行き来している。花畑運河水門手前の資材置き場跡?の雑草が茂っていた空地も整地され「ふるさと桜/河津桜」のプレートとともに6本の河津桜の中木が植えられていてメジロやシジュウカラの訪れに期待。昨年は花畑運河/桜橋の河津桜でメジロを見かけたが今年はヒヨドリが陣取っていた。今回は珍しく「佐野憩いの森」で多くのオナガを見る事が出来た。ハシボソガラスとの縄張り争いで騒然としていた。	E-34
10		(1) 快晴、北の風1.5℃以下。	A-4
10	カルガモ	(1) 日の出が6時前になりました。風もなく快晴でした。手袋なしでも大丈夫でした。春めいています。30分ぐらい開始を遅らせたほうが野鳥の活動が活発だったかもしれません。日が昇ると鳴き声がそこここから聞こえてきます。建設中のタワーマンションが完成間近となり、川に向かう歩道沿いの壁が撤去されました。タワーマンション付近の親水テラスにカルガモが2羽いました。逃げずにおかしいと思ったのですが、通り過ぎてから水面に降り、首を上げ下げしていました。求愛行動と思います。千住桜木町公園近く（～緑町）の親水テラスは今月末にオープンの様です。お化け煙突跡の東電敷地内で樹木（サルスベリ他）が剪定されすっきりした分、実を食べに集まる野鳥に影響がありそうです。	A-5
10		(1) 気温4℃、快晴・無風。鳴き声は少なく活動は低調でした。	D-27
10	ツグミ モズ コサギ	(1) ツグミが賑やかでした。 (2) モズがいろいろな声で歌っていました。 (3) コサギの飾り羽がきれいでした。	B-15

## 令和7年3月（観察日誌）

観察日	種名	観察日誌	モニター番号
10	ハイタカ ツグミ	<p>(1) 2月5日、かわいらしいムクドリの幼鳥が8羽きて、落ち葉や草の葉などついばんでいた。ムクドリがこの庭に入ってきたのは初めてです。</p> <p>(2) 2月6日、ムクドリが2羽飛んできて、1羽は木の枝にとまり、もう1羽は地に降りて食物を見つけて給餌していた。</p> <p>(3) 澄み切った青空、荒川もきれいな色でした。</p> <p>(4) 大空に舞う大きく広げたハイタカの白い羽は輝いて見えました。</p> <p>(5) ツグミが11羽、江北橋の下と左手のグラウンドを行ったり来たりしていました。多くみかけてうれしく思いました。</p>	B-12
11	ツグミ オオジュリン ホオジロ ホシハジロ	<p>(1) 2月までほとんど姿を見なかったツグミが3月に入り、一気に増えました。オオジュリンは葦の中の声を頼りにカウントしましたが、ホオジロは河川敷の通路に出てエサ取りをしていたので見やすかったです。ホシハジロがまとまって見られました。</p>	A-6
12	ヒバリ ヒドリガモ カンムリカイツブリ	<p>(1) 時折霧雨を感じる曇天の日。久しぶりにヒバリの声を耳にした。天高くさえずり都市農業公園前の荒川土手斜面に降りた。新芝川では昨年見られなかったヒドリガモに出会えた。カンムリカイツブリは新芝川で2羽、荒川で1羽見ることができた。</p>	C-18
20	メジロ ヒヨドリ ツグミ	<p>(1) ゴミ置き場のごみにカラス以外、ハトやヒヨドリも集まって、車道だし危ないと思った。</p> <p>(2) 桜のつぼみが膨らんで咲き始めてそこへメジロやヒヨドリがやってき始めた。ツバキかサザンカの花の蜜もなめに来ている。モクレンのはなびらもヒヨドリが集まって食べていた。中川でツグミを見るのが3月に入ってからはじめてで、この冬ほぼ見なくて心配だった。ジョウビダキはオスメス時々見かけた。</p> <p>(3) 堤防を高くする工事で3月いっぱい中川土手に上がれない。オオジュリンとかホオジロがくる場所も上がれないので今冬は観察できなかった。</p>	E-39
20	ハシブトガラス	<p>(1) ハシブトガラスのつがいが白いハンガーをくわえて巣を作るであろう木に運んできた。</p>	E-32

令和7年3月（繁殖行動確認）

確認日	種名	確認場所	繁殖と判断した根拠	コメント	モニター番号
1	スズメ	保木間四丁目 アパートの電線	交尾	(1) オスと思われるスズメがメスと思われるスズメに近寄っていき、一瞬だった。	D-30
2	ヒバリ	荒川土手の草原	さえずり	(1) 姿は確認できませんでしたが、どこかに止まってさえずっているようでした。	A-1
7	シジュウカラ	神明六木遊歩道	さえずり	(1) 遊歩道の二か所でさえずっていた。	E-36
9	シジュウカラ	神明二丁目	さえずり	(1) 民家のアンテナの上でさえずっていた。	E-36

# 資料編

資料1 調査月別確認種と個体数

NO.	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
1	カモ	カモ	オシドリ	0	0	0	0	0	1	1
2			オカヨシガモ	0	0	0	2	2	0	4
3			ヒドリガモ	0	0	0	74	87	182	343
4			マガモ	0	0	0	10	0	22	32
5			カルガモ	123	118	72	101	107	135	656
6			コガモ	1	0	0	0	39	28	68
7			ホシハジロ	0	0	0	35	113	151	299
8			キンクロハジロ	0	0	1	13	32	148	194
9			スズガモ	0	0	0	1	0	0	1
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	3	6	3	10	9	7	38
11			カムリカイツブリ	0	0	0	4	11	11	26
12	ハト	ハト	キジバト	154	111	91	106	196	213	871
13	カツオドリ	ウ	カワウ	66	36	32	70	623	170	997
14	ペリカン	サギ	アオサギ	11	11	20	16	17	9	84
15			ダイサギ	1	6	14	8	7	3	39
16			チュウサギ	0	0	1	0	0	0	1
17			コサギ	11	11	3	7	5	9	46
18	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	1	1	2
19			ヒクイナ	0	0	0	0	1	0	1
20			バン	0	0	0	3	8	7	18
21			オオバン	2	0	1	126	372	346	847
22	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	1	0	0	0	0	0	1
23			ヒメアマツバメ	0	2	0	0	0	0	2
24	チドリ	チドリ	コチドリ	4	5	0	0	0	0	9
25		シギ	タシギ	0	0	0	1	0	0	1
26			チュウシャクシギ	5	0	0	0	0	0	5
27			キアシシギ	6	0	0	0	0	0	6
28			イソシギ	12	8	12	15	6	13	66
29			カモメ	ユリカモメ	2	0	0	78	239	131
30		ウミネコ		4	6	1	1	2	0	14
31		カモメ		0	0	0	1	2	1	4
32		セグロカモメ		0	0	2	6	60	4	72
33		オオセグロカモメ		0	0	0	0	1	0	1
34		コアジサシ	32	3	0	0	0	0	35	
35	タカ	タカ	トビ	5	1	0	5	4	4	19
36			ツミ	2	8	0	1	0	1	12
37			ハイタカ	0	0	0	0	0	2	2
38			オオタカ	0	0	0	2	1	0	3
39			ノスリ	0	0	0	0	1	0	1
40	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	1	2	4	5	2	14
41	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	1	1
42			コゲラ	2	1	2	3	0	0	8
43	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	2	1	2	8	3	2	18
44			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	1

NO.	目名	科名	種名	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
45	スズメ	モズ	モズ	0	1	8	27	12	14	62
46		カラス	オナガ	232	252	304	221	186	199	1,394
47			ハシボソガラス	136	168	226	244	201	188	1,163
48			ハシブトガラス	170	138	184	132	184	228	1,036
49		シジュウカラ	シジュウカラ	105	53	105	106	138	135	642
50		ヒバリ	ヒバリ	4	4	2	1	2	4	17
51		ツバメ	ツバメ	91	108	3	0	0	0	202
52			イワツバメ	10	3	0	0	0	0	13
53		ヒヨドリ	ヒヨドリ	118	62	112	944	888	505	2,629
54		ウグイス	ウグイス	2	0	0	7	8	14	31
55		メジロ	メジロ	3	3	0	88	201	113	408
56		ヨシキリ	オオヨシキリ	45	8	1	0	0	0	54
57		セッカ	セッカ	6	15	2	0	0	0	23
58		ムクドリ	ムクドリ	1,082	1,218	1,014	872	969	1,272	6,427
59		ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	1	2	4
60			ツグミ	0	0	0	0	9	268	277
61			ジョウビタキ	0	0	0	18	13	17	48
62			ノビタキ	0	0	1	0	0	0	1
63			イソヒヨドリ	2	1	0	0	0	1	4
64		スズメ	スズメ	1,025	970	1,279	1,046	1,166	1,267	6,753
65		セキレイ	ハクセキレイ	38	45	34	146	117	120	500
66			セグロセキレイ	2	0	0	2	4	0	8
67			タヒバリ	0	0	0	15	11	47	73
68	アトリ	カワラヒワ	24	36	0	88	264	134	546	
69		マヒワ	0	0	0	0	11	0	11	
70	ホオジロ	ホオジロ	0	0	0	0	11	39	50	
71		カシラダカ	0	0	0	0	6	0	6	
72		アオジ	0	0	0	3	12	27	42	
73		オオジュリン	0	0	0	1	13	46	60	
種名特定できず			カモ科sp.	0	0	0	5	0	0	5
			ハト科sp.	0	2	0	0	0	0	2
			カモメ科sp.	0	0	0	2	1	0	3
			タカ科sp.	0	0	0	1	0	0	1
			カラス科sp.	1	5	1	8	8	9	32
			ヨシキリ科sp.	0	1	0	0	0	0	1
			ヒタキ科sp.	0	0	1	0	0	0	1
確認種個体数合計(羽)				3,545	3,428	3,536	4,690	6,390	6,253	27,842

(参考) 交雑交配種	アイガモ	24	26	36	28	20	30	164
(参考) かごぬけ	ドバト	876	1,033	1,254	1,214	1,133	1,032	6,542
	ワカケホンセイインコ	43	24	21	36	28	30	182
	ガビチョウ	1	0	2	1	0	1	5

## 資料2 ブロック別確認種と個体数

NO.	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
1	カモ	カモ	オシドリ	0	0	1	0	0	1	
2			オカヨシガモ	0	0	2	0	2	4	
3			ヒドリガモ	101	4	86	4	148	343	
4			マガモ	17	14	0	0	1	32	
5			カルガモ	117	27	224	113	175	656	
6			コガモ	38	24	6	0	0	68	
7			ホシハジロ	119	29	113	0	38	299	
8			キンクロハジロ	12	23	145	0	14	194	
9			スズガモ	1	0	0	0	0	1	
10	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	2	29	1	5	38	
11			カンムリカイツブリ	12	8	4	0	2	26	
12	ハト	ハト	キジバト	188	115	214	198	156	871	
13	カツオドリ	ウ	カワウ	713	103	30	12	139	997	
14	ペリカン	サギ	アオサギ	29	11	21	1	22	84	
15			ダイサギ	8	18	3	0	10	39	
16			チュウサギ	1	0	0	0	0	1	
17			コサギ	14	8	11	0	13	46	
18	ツル	クイナ	クイナ	0	0	2	0	0	2	
19			ヒクイナ	0	0	1	0	0	1	
20			バン	2	0	16	0	0	18	
21			オオバン	270	62	199	19	297	847	
22	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	1	0	0	0	1	
23			ヒメアマツバメ	0	0	2	0	0	2	
24	チドリ	チドリ	コチドリ	7	2	0	0	0	9	
25			シギ	タシギ	0	0	1	0	0	1
26				チュウシャクシギ	3	2	0	0	0	5
27				キアシシギ	5	1	0	0	0	6
28				イソシギ	33	31	1	0	1	66
29		カモメ	ユリカモメ	335	57	30	3	25	450	
30			ウミネコ	13	1	0	0	0	14	
31			カモメ	3	0	0	0	1	4	
32			セグロカモメ	13	6	3	0	50	72	
33			オオセグロカモメ	1	0	0	0	0	1	
34	コアジサシ	13	0	1	0	21	35			
35	タカ	タカ	トビ	5	10	4	0	0	19	
36			ツミ	0	0	0	9	3	12	
37			ハイタカ	1	1	0	0	0	2	
38			オオタカ	2	0	1	0	0	3	
39			ノスリ	1	0	0	0	0	1	
40	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	2	1	7	1	3	14	
41	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	1	0	0	1	
42			コゲラ	0	0	3	3	2	8	
43	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	8	5	2	0	3	18	
44			ハヤブサ	1	0	0	0	0	1	

NO.	目名	科名	種名	A	B	C	D	E	区分計	
45	スズメ	モズ	モズ	21	26	8	0	7	62	
46		カラス	オナガ	89	116	299	412	478	1,394	
47			ハシボソガラス	169	173	489	167	165	1,163	
48			ハシブトガラス	219	99	84	208	426	1,036	
49		シジュウカラ	シジュウカラ	74	31	249	91	197	642	
50		ヒバリ	ヒバリ	14	1	2	0	0	17	
51		ツバメ	ツバメ	99	25	33	9	36	202	
52			イワツバメ	3	3	7	0	0	13	
53		ヒヨドリ	ヒヨドリ	573	324	614	398	720	2,629	
54		ウグイス	ウグイス	4	9	9	1	8	31	
55		メジロ	メジロ	70	31	92	43	172	408	
56		ヨシキリ	オオヨシキリ	40	12	2	0	0	54	
57		セッカ	セッカ	11	10	1	0	1	23	
58		ムクドリ	ムクドリ	1,739	1,010	1,255	1,117	1,306	6,427	
59		ヒタキ	シロハラ	0	0	4	0	0	4	
60			ツグミ	129	90	29	19	10	277	
61			ジョウビタキ	14	7	3	10	14	48	
62			ノビタキ	1	0	0	0	0	1	
63			イソヒヨドリ	3	0	0	0	1	4	
64		スズメ	スズメ	2,336	815	536	1,098	1,968	6,753	
65		セキレイ	ハクセキレイ	200	94	64	67	75	500	
66			セグロセキレイ	1	6	0	0	1	8	
67			タヒバリ	39	34	0	0	0	73	
68		アトリ	カワラヒワ	136	178	113	60	59	546	
69			マヒワ	0	11	0	0	0	11	
70		ホオジロ	ホオジロ	44	6	0	0	0	50	
71			カシラダカ	6	0	0	0	0	6	
72			アオジ	16	13	0	2	11	42	
73			オオジュリン	56	3	1	0	0	60	
種名特定できず				カモ科sp.	5	0	0	0	5	
				ハト科sp.	0	0	0	2	0	2
				カモメ科sp.	1	0	1	1	0	3
				タカ科sp.	1	0	0	0	0	1
				カラス科sp.	32	0	0	0	0	32
				ヨシキリ科sp.	0	1	0	0	0	1
				ヒタキ科sp.	0	0	0	0	1	1
確認種個体数合計（羽）				8,234	3,694	5,055	4,069	6,785	27,842	
(参考) 交雑交配種		アイガモ	0	0	164	0	0	164		
(参考) かごめけ		ドバト	1,681	1,304	936	1,116	1,505	6,542		
		ワカケホンセイインコ	0	1	31	132	18	182		
		ガビチョウ	5	0	0	0	0	5		

### 資料3 令和6年5月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	4	2	3	0	2	7	3	1	11
2	アマツバメ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
3	イソシギ	5	7	0	0	0	12	0	0	12
4	イソヒヨドリ	2	0	0	0	0	0	0	2	2
5	イワツバメ	3	3	4	0	0	7	3	0	10
6	ウグイス	0	2	0	0	0	2	0	0	2
7	ウミネコ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
8	オオバン	0	1	0	0	1	2	0	0	2
9	オオヨシキリ	31	12	2	0	0	45	0	0	45
10	オナガ	8	23	63	65	73	1	136	95	232
11	カイツブリ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
12	カルガモ	25	20	49	14	15	88	29	6	123
13	カワウ	25	14	4	4	19	60	3	3	66
14	カワラヒワ	21	2	0	0	1	20	1	3	24
15	キアシシギ	5	1	0	0	0	6	0	0	6
16	キジバト	37	19	25	41	32	26	82	46	154
17	コアシサシ	10	0	1	0	21	30	2	0	32
18	コガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
19	コゲラ	0	0	1	0	1	0	2	0	2
20	コサギ	3	1	2	0	5	9	2	0	11
21	コチドリ	2	2	0	0	0	4	0	0	4
22	シジュウカラ	13	7	30	16	39	7	40	58	105
23	スズメ	393	93	83	145	311	196	337	492	1,025
24	セグロセキレイ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
25	セッカ	1	4	1	0	0	6	0	0	6
26	ダイサギ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
27	チュウシャクシギ	3	2	0	0	0	5	0	0	5
28	チョウゲンボウ	2	0	0	0	0	1	0	1	2
29	ツバメ	34	19	10	2	26	55	5	31	91
30	ツミ	0	0	0	2	0	0	2	0	2
31	トビ	1	4	0	0	0	5	0	0	5
32	ハクセキレイ	15	7	6	6	4	20	9	9	38
33	ハシブトガラス	30	14	15	32	79	17	57	96	170
34	ハシボソガラス	15	25	58	20	18	39	62	35	136
35	ヒバリ	3	0	1	0	0	4	0	0	4
36	ヒヨドリ	38	5	38	22	15	25	39	54	118
37	ムクドリ	307	196	186	197	196	415	445	222	1,082
38	メジロ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
39	ユリカモメ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
	合計	1,044	487	589	566	858	1,125	1,265	1,154	3,544
*	カラス科sp.	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	総合計	1,045	487	589	566	858	1,125	1,265	1,155	3,545

参考	アイガモ	0	0	24	0	0	0	24	0	24
	ガビチョウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	231	207	139	165	134	361	347	168	876
	ワカケホンセイインコ	0	0	11	27	5	0	33	10	43

## 資料4 令和6年7月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	6	0	2	0	3	9	2	0	11
2	イソシギ	4	4	0	0	0	8	0	0	8
3	イソヒヨドリ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
4	イワツバメ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
5	ウミネコ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
6	オオヨシキリ	8	0	0	0	0	8	0	0	8
7	オナガ	14	19	29	80	110	4	142	106	252
8	カイツブリ	0	0	6	0	0	0	6	0	6
9	カルガモ	20	0	55	20	23	54	64	0	118
10	カワウ	7	10	2	3	14	33	1	2	36
11	カワセミ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
12	カワラヒワ	28	1	0	0	7	26	5	5	36
13	キジバト	35	10	23	16	27	19	42	50	111
14	コアジサシ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
15	コゲラ	0	0	0	0	1	0	1	0	1
16	コサギ	3	4	2	0	2	10	0	1	11
17	コチドリ	5	0	0	0	0	5	0	0	5
18	シジュウカラ	3	3	29	10	8	3	37	13	53
19	スズメ	341	120	93	162	254	163	370	437	970
20	セッカ	10	5	0	0	0	15	0	0	15
21	ダイサギ	4	2	0	0	0	6	0	0	6
22	チョウゲンボウ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
23	ツバメ	63	6	23	7	9	57	23	28	108
24	ツミ	0	0	0	5	3	0	8	0	8
25	トビ	0	0	1	0	0	1	0	0	1
26	ハクセキレイ	23	9	5	5	3	31	5	9	45
27	ハシブトガラス	16	14	6	50	52	14	43	81	138
28	ハシボソガラス	15	15	74	29	35	34	94	40	168
29	ヒバリ	4	0	0	0	0	4	0	0	4
30	ヒメアマツバメ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
31	ヒヨドリ	23	3	11	12	13	11	21	30	62
32	ムクドリ	244	220	324	214	216	462	549	207	1,218
33	メジロ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
34	モズ	1	0	0	0	0	0	0	1	1
	合計	887	445	695	613	780	986	1,423	1,011	3,420
*	カラス科sp.	5	0	0	0	0	0	3	2	5
*	ハト科sp.	0	0	0	2	0	0	2	0	2
*	ヨシキリ科sp.	0	1	0	0	0	0	0	1	1
	総合計	887	445	695	613	780	986	1,428	1,014	3,428
参考	アイガモ	0	0	26	0	0	0	26	0	26
	ドバト	307	244	124	162	196	443	348	242	1,033
	ワカケホンセイインコ	0	1	2	19	2	0	20	4	24

### 資料5 令和6年9月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	9	2	4	0	5	15	3	2	20
2	イソシギ	9	3	0	0	0	12	0	0	12
3	ウミネコ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
4	オオバン	0	0	0	0	1	1	0	0	1
5	オオヨシキリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
6	オナガ	21	33	92	92	66	19	196	89	304
7	カイツブリ	0	0	3	0	0	0	3	0	3
8	カルガモ	18	0	16	8	30	53	19	0	72
9	カワウ	3	11	2	1	15	31	1	0	32
10	カワセミ	0	1	0	1	0	2	0	0	2
11	キジバト	19	13	18	17	24	8	39	44	91
12	キンクロハジロ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
13	コゲラ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
14	コサギ	2	0	1	0	0	3	0	0	3
15	シジュウカラ	6	2	55	14	28	2	89	14	105
16	スズメ	594	189	52	176	268	565	328	386	1,279
17	セグロカモメ	0	0	0	0	2	2	0	0	2
18	セッカ	0	1	0	0	1	2	0	0	2
19	ダイサギ	2	9	1	0	2	13	1	0	14
20	チュウサギ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
21	チョウゲンボウ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
22	ツバメ	2	0	0	0	1	2	0	1	3
23	ノビタキ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
24	ハクセキレイ	14	10	5	3	2	21	7	6	34
25	ハシブトガラス	52	19	16	19	78	46	57	81	184
26	ハシボソガラス	35	26	115	27	23	60	142	24	226
27	ヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
28	ヒヨドリ	42	31	11	18	10	42	27	43	112
29	ムクドリ	377	116	170	178	173	352	473	189	1,014
30	モズ	6	2	0	0	0	8	0	0	8
	合計	1,219	468	564	554	729	1,267	1,388	879	3,534
*	カラス科sp.	1	0	0	0	0	0	1	0	1
*	ヒタキ科sp.	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	総合計	1,220	468	564	554	730	1,267	1,389	880	3,536

参考	アイガモ	0	0	36	0	0	0	36	0	36
	ガビチョウ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
	ドバト	429	194	112	231	288	487	449	318	1,254
	ワカケホンセイインコ	0	0	7	10	4	0	13	8	21

## 資料6 令和6年11月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	4	4	1	4	13	2	1	16
2	アオジ	3	0	0	0	0	3	0	0	3
3	イソシギ	8	5	1	0	1	15	0	0	15
4	ウグイス	1	1	3	0	2	2	5	0	7
5	ウミネコ	0	1	0	0	0	1	0	0	1
6	オオジュリン	1	0	0	0	0	1	0	0	1
7	オオタカ	1	0	1	0	0	1	1	0	2
8	オオバン	45	19	42	2	18	113	13	0	126
9	オカヨシガモ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
10	オナガ	14	12	46	73	76	61	76	84	221
11	カイツブリ	0	1	8	0	1	2	8	0	10
12	カモメ	0	0	0	0	1	1	0	0	1
13	カルガモ	17	0	24	30	30	51	50	0	101
14	カワウ	23	22	8	2	15	64	2	4	70
15	カワセミ	0	0	3	0	1	2	2	0	4
16	カワラヒワ	27	41	8	12	0	68	20	0	88
17	カンムリカイツブリ	1	2	1	0	0	4	0	0	4
18	キジバト	30	8	24	17	27	26	47	33	106
19	キンクロハジロ	6	0	1	0	6	12	1	0	13
20	コゲラ	0	0	0	3	0	0	3	0	3
21	コサギ	1	1	2	0	3	7	0	0	7
22	シジュウカラ	12	2	48	13	31	1	70	35	106
23	ジョウビタキ	11	2	1	0	4	2	1	15	18
24	シロハラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
25	スズガモ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
26	スズメ	340	181	81	113	331	280	300	466	1,046
27	セグロカモメ	1	4	0	0	1	6	0	0	6
28	セグロセキレイ	0	2	0	0	0	2	0	0	2
29	ダイサギ	1	3	1	0	3	7	1	0	8
30	タシギ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
31	タヒバリ	15	0	0	0	0	15	0	0	15
32	チョウゲンボウ	2	5	0	0	1	7	0	1	8
33	ツミ	0	0	0	1	0	0	1	0	1
34	トビ	0	3	2	0	0	4	0	1	5
35	ハクセキレイ	67	23	15	14	27	95	33	18	146
36	ハシブトガラス	28	13	16	37	38	14	46	72	132
37	ハシボソガラス	51	49	76	26	42	88	107	49	244
38	ハヤブサ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
39	バン	0	0	3	0	0	0	3	0	3
40	ヒドリガモ	29	0	29	0	16	45	29	0	74
41	ヒバリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
42	ヒヨドリ	197	88	215	134	310	137	499	308	944
43	ホシハジロ	0	0	31	0	4	35	0	0	35
44	マガモ	6	3	0	0	1	10	0	0	10
45	ムクドリ	288	87	135	153	209	196	368	308	872
46	メジロ	9	6	34	17	22	0	56	32	88
47	モズ	7	12	5	0	3	19	7	1	27
48	ユリカモメ	55	7	13	0	3	62	13	3	78
	合計	1,303	607	885	648	1,231	1,475	1,768	1,431	4,674
*	カモ科sp.	5	0	0	0	0	5	0	0	5
*	カモメ科sp.	1	0	1	0	0	1	0	1	2
*	カラス科sp.	8	0	0	0	0	1	0	7	8
*	タカ科sp.	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	総合計	1,318	607	886	648	1,231	1,483	1,768	1,439	4,690

参考	アイガモ	0	0	28	0	0	0	28	0	28
	ガビチョウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	326	218	111	219	340	425	510	279	1,214
	ワカケホンセイインコ	0	0	5	29	2	0	5	31	36

### 資料7 令和7年1月に確認された野鳥

No.	種名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	4	2	4	0	7	15	2	0	17
2	アオジ	6	3	0	1	2	9	3	0	12
3	イソシギ	2	4	0	0	0	6	0	0	6
4	ウグイス	1	1	2	0	4	2	5	1	8
5	ウミネコ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
6	オオジュリン	12	0	1	0	0	12	1	0	13
7	オオセグロカモメ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
8	オオタカ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
9	オオバン	93	25	108	12	134	361	11	0	372
10	オカヨシガモ	0	0	0	0	2	2	0	0	2
11	オナガ	7	18	28	48	85	16	121	49	186
12	カイツブリ	1	0	4	1	3	5	4	0	9
13	カシラダカ	6	0	0	0	0	6	0	0	6
14	カモメ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
15	カルガモ	14	2	28	24	39	58	49	0	107
16	カワウ	549	9	8	1	56	598	2	23	623
17	カワセミ	2	0	2	0	1	2	3	0	5
18	カワラヒワ	30	97	47	46	44	119	138	7	264
19	カンムリカイツブリ	6	3	0	0	2	11	0	0	11
20	キジバト	37	36	43	54	26	32	98	66	196
21	キンクロハジロ	4	6	18	0	4	19	13	0	32
22	クイナ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
23	コガモ	13	24	2	0	0	37	2	0	39
24	コサギ	1	0	2	0	2	2	3	0	5
25	シジュウカラ	25	6	40	25	42	5	72	61	138
26	ジョウビタキ	2	2	1	4	4	2	7	4	13
27	シロハラ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
28	スズメ	273	116	95	228	454	107	588	471	1,166
29	セグロカモメ	9	1	3	0	47	59	0	1	60
30	セグロセキレイ	0	3	0	0	1	4	0	0	4
31	ダイサギ	0	2	0	0	5	7	0	0	7
32	タヒバリ	11	0	0	0	0	11	0	0	11
33	チョウゲンボウ	1	0	1	0	1	1	1	1	3
34	ツグミ	3	4	0	2	0	4	2	3	9
35	トビ	3	1	0	0	0	2	0	2	4
36	ノスリ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
37	ハクセキレイ	42	21	16	13	25	51	38	28	117
38	ハシブトガラス	46	20	10	30	78	50	64	70	184
39	ハシボソガラス	26	20	100	33	22	42	128	31	201
40	バン	1	0	7	0	0	3	5	0	8
41	ヒクイナ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
42	ヒドリガモ	21	0	20	4	42	67	20	0	87
43	ヒバリ	2	0	0	0	0	2	0	0	2
44	ヒヨドリ	178	159	209	114	228	180	378	330	888
45	ホオジロ	11	0	0	0	0	11	0	0	11
46	ホシハジロ	13	27	46	0	27	113	0	0	113
47	マヒワ	0	11	0	0	0	11	0	0	11
48	ムクドリ	186	150	183	162	288	228	395	346	969
49	メジロ	30	22	21	14	114	4	103	94	201
50	モズ	2	5	2	0	3	7	3	2	12
51	ユリカモメ	207	7	13	1	11	169	13	57	239
	合計	1,887	807	1,067	817	1,803	2,459	2,275	1,647	6,381
*	カモメ科sp.	0	0	0	1	0	0	0	1	1
*	カラス科sp.	8	0	0	0	0	0	2	6	8
	総合計	1,895	807	1,067	818	1,803	2,459	2,277	1,654	6,390
参考	アイガモ	0	0	20	0	0	0	20	0	20
	ドバト	156	285	216	176	300	343	562	228	1,133
	ワカケホンセイインコ	0	0	2	24	2	0	0	28	28

## 資料 8 令和 7 年 3 月に確認された野鳥

No.	種 名	地域別					区分別			合計
		A	B	C	D	E	川	公園	その他	
1	アオサギ	3	1	4	0	1	7	2	0	9
2	アオジ	7	10	0	1	9	17	8	2	27
3	アリスイ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
4	イツシギ	5	8	0	0	0	13	0	0	13
5	イツヒヨドリ	0	0	0	0	1	0	0	1	1
6	ウグイス	2	5	4	1	2	7	6	1	14
7	オオジュリン	43	3	0	0	0	46	0	0	46
8	オオバン	132	17	49	5	143	320	26	0	346
9	オシドリ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
10	オナガ	25	11	41	54	68	7	124	68	199
11	カイツブリ	0	1	5	0	1	2	5	0	7
12	カモメ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
13	カルガモ	23	5	52	17	38	94	41	0	135
14	カワウ	106	37	6	1	20	162	3	5	170
15	カワセミ	0	0	1	0	1	1	1	0	2
16	カワラヒワ	30	37	58	2	7	65	67	2	134
17	カンムリカイツブリ	5	3	3	0	0	11	0	0	11
18	キジバト	30	29	81	53	20	35	116	62	213
19	キンクロハジロ	2	17	125	0	4	38	110	0	148
20	クイナ	0	0	1	0	0	0	1	0	1
21	コガモ	24	0	4	0	0	28	0	0	28
22	コサギ	4	2	2	0	1	7	2	0	9
23	シジュウカラ	15	11	47	13	49	19	73	43	135
24	ジョウビタキ	1	3	1	6	6	4	11	2	17
25	シロハラ	0	0	2	0	0	0	2	0	2
26	スズメ	395	116	132	274	350	113	489	665	1,267
27	セグロカモメ	3	1	0	0	0	4	0	0	4
28	ダイサギ	1	2	0	0	0	3	0	0	3
29	タヒバリ	13	34	0	0	0	47	0	0	47
30	チョウゲンボウ	1	0	0	0	1	1	0	1	2
31	ツグミ	126	86	29	17	10	208	48	12	268
32	ツミ	0	0	0	1	0	0	0	1	1
33	トビ	1	2	1	0	0	3	1	0	4
34	ハイタカ	1	1	0	0	0	2	0	0	2
35	ハクセキレイ	39	24	17	26	14	59	39	22	120
36	ハシブトガラス	47	19	21	40	101	41	77	110	228
37	ハシボソガラス	27	38	66	32	25	48	84	56	188
38	バン	1	0	6	0	0	1	6	0	7
39	ヒドリガモ	51	4	37	0	90	135	27	20	182
40	ヒバリ	2	1	1	0	0	4	0	0	4
41	ヒヨドリ	95	38	130	98	144	43	245	217	505
42	ホオジロ	33	6	0	0	0	39	0	0	39
43	ホシハジロ	106	2	36	0	7	151	0	0	151
44	マガモ	11	11	0	0	0	22	0	0	22
45	ムクドリ	337	241	257	213	224	552	425	295	1,272
46	メジロ	31	3	31	12	36	17	56	40	113
47	モズ	5	7	1	0	1	12	2	0	14
48	ユリカモメ	71	43	4	2	11	114	2	15	131
	合計	1,855	879	1,257	868	1,385	2,503	2,101	1,640	6,244
*	カラス科sp.	9	0	0	0	0	4	0	5	9
	総合計	1,864	879	1,257	868	1,385	2,507	2,101	1,645	6,253
参考	アイガモ	0	0	30	0	0	0	30	0	30
	ガビチョウ	1	0	0	0	0	1	0	0	1
	ドバト	232	156	234	163	247	301	487	244	1,032
	ワカケホンセイインコ	0	0	4	23	3	0	3	27	30

## 資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15
1	キジ	キジ	キジ	0	0	5	5	4	5	6	4	0	0	0	0
2			コジュケイ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	0	22	13	18	11	6	17	54	51	39	63	33
8			ヨシガモ	0	29	0	0	0	0	0	0	0	3	5	4
9			ヒドリガモ	30	152	152	279	365	371	274	376	568	932	1,511	1,494
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
11			マガモ	2	17	1	10	15	12	6	9	24	10	1	3
12			カルガモ	131	555	519	599	562	480	755	642	1,077	1,176	763	905
13			ハシビロガモ	0	54	73	94	23	32	10	0	0	11	2	18
14			オナガガモ	210	442	472	1,392	972	800	515	458	608	508	275	362
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16			コガモ	87	190	229	439	287	231	254	94	224	227	383	348
17			オオホシハジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
18			ホシハジロ	345	1,956	803	817	714	230	197	185	340	177	176	208
19			アカハジロ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20			キンクロハジロ	153	96	379	500	432	281	148	93	150	85	94	89
21			スズガモ	0	0	2	0	0	0	0	0	2	4	0	0
*			カモH	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			カモ科sp.	0	0	0	0	31	46	0	9	87	6	1	2
*			ハクチョウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	7	22	21	31	19	11	9	17	19	4	12	6
23			カンムリカイツブリ	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	2	0
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
*			カイツブリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	ハト	ハト	キジバト	456	891	1,084	1,011	945	966	934	997	1,065	1,019	1,078	1,127
26			シラコバト	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	カツオドリ	ウ	カワウ	472	325	1,185	1,943	2,018	2,387	1,888	1,917	2,075	1,325	1,716	1,679
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	1	0	5	0	0	1	0	3	1
30			ゴイサギ	3	38	18	27	31	73	43	29	34	17	15	11
31			ササゴイ	1	0	1	4	5	4	8	5	3	1	4	10
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33			アマサギ	0	0	0	0	1	0	0	0	7	1	0	0
34			アオサギ	2	3	9	17	18	28	25	55	75	95	72	97
35			ダイサギ	3	23	19	44	61	58	41	56	78	62	57	73
36			チュウサギ	0	2	0	2	0	0	1	0	0	3	1	0
37			コサギ	25	87	93	135	83	150	116	131	120	115	82	93
*			サギ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40			バン	0	94	100	78	89	76	103	69	67	59	54	115
41			オオバン	0	1	8	6	0	4	6	3	9	13	32	50
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
43			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44			カッコウ	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
46			ヒメアマツバメ	0	0	0	0	0	4	0	12	0	0	0	0
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
49			イカルチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
50			コチドリ	3	20	10	11	21	17	19	20	23	11	15	8
51			シロチドリ	0	0	7	1	0	4	0	0	0	1	0	0
52			メダイチドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		セイタカシギ	セイタカシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54		シギ	タシギ	0	0	0	4	2	2	1	0	0	0	0	0

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

※種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15			
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
56			チュウシヤクシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
57			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
58			タカブシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
59			キアシシギ	2	2	1	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	6	
60			イソシギ	4	11	13	15	31	28	34	34	49	51	39	57			
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
62			ハマシギ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	
63			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					シギ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
64				カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
65					ユリカモメ	514	916	1,565	3,913	3,639	6,567	4,636	6,677	7,809	9,297	7,376	6,200	
66					ウミネコ	33	160	96	255	186	167	307	343	482	610	319	577	
67			カモメ		0	26	13	28	4	53	6	8	12	0	0	2		
68			シロカモメ		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
69			セグロカモメ		10	115	566	279	132	287	261	265	419	413	307	364		
70			オオセグロカモメ		0	0	0	0	0	0	0	1	3	19	10	1		
71			コアジサシ		9	0	56	46	75	163	64	29	34	81	21	72		
72			アジサシ		0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	
73		クロハラアジサシ	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
*			カモメ科sp.		0	0	0	0	3	7	1	3	4	0	0	0		
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
75		タカ	トビ		0	2	2	0	0	0	0	4	1	1	2	2		
76			ツミ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
77			ハイタカ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
78			オオタカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2		
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					タカ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
81			トラフズク	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0		
82			コムミズク	0	1	4	2	14	3	0	0	0	0	0	0	1		
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	0	3	0	3	4	0	8	3	5	8	6	3			
84	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
85			コゲラ	3	11	7	25	7	23	35	36	14	12	21	36			
86			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
87	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	1	0	9	32	28	27	29	35	44	32	78	32			
88			ハヤブサ	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4			
89	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
90		モズ	モズ	9	37	50	57	36	32	63	40	45	48	56	43			
91		カラス	カケス	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
92			オナガ	412	493	618	742	532	489	417	318	557	545	630	662			
93			ハシボソガラス	111	353	389	772	673	781	788	836	1,397	1,456	1,340	1,229			
94			ハシブトガラス	404	1,091	1,357	1,217	1,099	1,393	1,674	2,189	2,910	3,899	3,725	3,936			
*				カラス科sp.	0	0	0	0	1	10	10	39	10	0	0	0	0	
95		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	9	0	3	0	0	0	0	0	0		
96		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0		
97			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4		
98			ヒガラ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0		
99			シジュウカラ	49	147	221	108	211	106	142	180	121	230	179	303			
100		ヒバリ	ヒバリ	37	106	184	249	250	266	196	140	180	193	197	134			
101		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	0	0			
102			ツバメ	269	416	437	426	335	417	509	364	391	711	492	713			
103			イワツバメ	12	50	60	57	54	74	73	64	79	44	25	33			
104		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1,248	2,116	2,154	1,805	1,691	1,788	1,846	2,475	3,008	3,245	3,213	3,435			
105		ウグイス	ウグイス	5	32	18	25	27	27	41	42	37	51	47	48			
*				ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
106	エナガ	エナガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
107	ムシクイ	メボソムシクイ(上種含む)	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
108		センダイムシクイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
109	メジロ	メジロ	76	106	200	192	235	196	347	361	223	436	545	311				
110	ヨシキリ	オオヨシキリ	20	43	111	105	133	133	115	73	128	97	104	80				
111		コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0			
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
112	セッカ	セッカ	9	18	41	71	67	65	58	56	104	90	57	53				
113	レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	73	0	0	0	0	0	0	0	0			
114		ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
115	ムクドリ	ムクドリ	1,593	2,647	5,478	4,924	4,755	6,035	5,323	5,070	6,566	6,728	6,913	7,024				
116		コムクドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	71	0	70			

※種名にsp. とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15		
117	スズメ	ヒタキ	シロハラ	0	0	0	1	3	0	5	2	7	7	7	1		
118			アカハラ	0	0	6	1	2	1	1	0	4	4	4	5		
119			ツグミ	123	277	485	573	707	584	513	483	565	599	889	617		
120			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	
121			ジョウビタキ	11	19	18	22	45	41	57	57	45	67	90	90		
122			ノビタキ	0	0	1	2	2	5	0	0	0	0	0	0	2	
123			サバクヒタキ	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
124			イトヒヨドリ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
125			エゾビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
126			サメビタキ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
127			コサメビタキ	1	0	0	9	1	1	0	2	1	1	1	1	0	
128			キビタキ	1	2	1	1	3	1	0	5	0	2	0	0	1	
129			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
130			オオルリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					ヒタキ科sp.	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
131			スズメ		ニューナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
132					スズメ	3,287	7,756	10,129	12,217	11,639	14,300	12,487	15,329	18,003	18,171	18,821	15,919
133			セキレイ		キセキレイ	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
134					ハクセキレイ	159	348	493	624	535	607	606	604	708	678	755	591
135				セグロセキレイ	7	48	20	2	3	4	1	4	0	2	0	0	
136		ビンズイ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
137		タヒバリ		0	1	39	40	52	30	5	1	10	14	5	13		
*				セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
138	アトリ		アトリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		
139			カワラヒワ	256	552	566	455	822	506	429	463	554	748	907	838		
140			マヒワ	0	0	2	0	184	0	0	0	2	0	12	0		
141			ベニマシコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3		
142			ウソ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
143			シメ	0	3	7	0	6	6	9	13	2	21	9	18		
144			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
145	ホオジロ		ホオジロ	5	20	8	57	42	71	57	41	66	62	99	38		
146			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0		
147			キマユホオジロ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
148			カシラダカ	0	0	22	0	0	9	2	1	5	3	1	3		
149			アオジ	0	0	66	60	128	75	111	114	106	175	160	161		
150			クロジ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
151			シベリアジュリン	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0		
152			オオジュリン	2	49	42	106	167	86	164	54	127	297	190	310		
*			ホオジロ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
総 合 計 (羽)				10,613	23,007	30,765	36,999	35,359	41,760	36,824	42,110	51,557	55,212	54,091	50,794		

*	(参考) ※	アイガモ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		ワカケホンセイインコ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		ドバト	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		セキセイインコ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		ガビチョウ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載。

※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。

※アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和2年度から参考として掲載。

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

※種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目名	科名	種名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	
1	キジ	キジ	キジ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
2			コジュケイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6			オシドリ	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7			オカヨシガモ	59	40	14	15	0	8	6	1	1	0	0	0	0
8			ヨシガモ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9			ヒドリガモ	1,180	1,518	1,785	2,217	1,661	1,578	1,925	739	805	1,301	727	875	
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
11			マガモ	6	0	4	5	0	5	11	7	37	4	4	3	
12			カルガモ	652	881	742	606	736	690	757	760	786	677	687	852	
13			ハシビロガモ	25	22	21	30	6	13	41	18	43	28	14	15	
14			オナガガモ	81	289	185	429	158	273	439	412	283	380	355	326	
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
16			コガモ	210	304	151	266	201	244	214	309	163	176	192	239	
17			オオホシハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18			ホシハジロ	204	95	27	38	7	24	24	19	3	12	35	73	
19			アカハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20			キンクロハジロ	104	126	97	117	72	76	69	40	22	16	46	69	
21			スズガモ	0	3	1	1	0	0	4	1	0	117	0	0	
*			カモH	1	0	1	0	0	0	0	10	0	0	0	0	
*	アメリカヒドリH	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
*	カモ科sp.	2	0	1	5	0	2	2	1	0	0	1	14			
*	ハクチョウ科sp.	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0			
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	1	9	3	13	24	22	24	16	21	19	7	15	
23			カンムリカイツブリ	0	0	2	0	1	12	0	0	0	1	1	13	
24			ハジロカイツブリ	1	1	0	0	0	1	2		0	0	0	0	
*			カイツブリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	ハト	ハト	キジバト	942	917	881	757	723	675	607	688	693	628	615	739	
26			シラコバト	0	0	0	4	2	1	0	0	1	0	0	0	
27			アオバト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28	カツオドリ	ウ	カワウ	1,117	1,597	872	947	841	1,356	1,548	963	1,057	1,085	742	2,377	
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	4	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0		
30			ゴイサギ	20	17	10	7	15	14	14	5	2	8	3	0	
31			ササゴイ	2	14	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0	
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
33			アマサギ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
34			アオサギ	112	104	64	108	89	89	118	117	90	100	78	90	
35			ダイサギ	105	68	50	74	122	91	74	58	55	71	45	50	
36			チュウサギ	1	0	0	7	37	15	0	0	0	1	0	2	
37			コサギ	118	117	70	132	89	113	69	61	59	63	37	51	
*			サギ科sp.	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	1	2	
38	ツル	クイナ	クイナ	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40			バン	129	145	136	136	69	53	69	42	86	43	35	52	
41			オオバン	132	160	132	209	160	163	234	246	204	229	466	431	
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
43			ツツドリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
44			カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
46			ヒメアマツバメ	0	23	8	22	0	11	0	15	6	0	20	0	
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
49			イカルチドリ	0	0	0	0	0	5	0	4	2	0	0	5	
50			コチドリ	17	6	8	19	3	13	19	18	23	7	6	6	
51			シロチドリ	0	0	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	
52			メダイチドリ	0	0	0	0	0	4	17	27	1	18	6	4	
*			チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
53			セイタカシギ	0	1	3	3	0	2	0	0	0	15	0	0	
54	シギ	0	0	0	1	0	3	4	18	10	7	6	0			

\*種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

\*種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
56			チュウシヤクシギ	0	0	0	3	5	7	5	5	2	4	7	5		
57			クサシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
58			タカブシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
59			キアシシギ	11	11	19	24	3	7	9	25	0	4	8	0		
60			イソシギ	73	80	71	104	81	112	93	111	125	91	72	60		
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
62			ハマシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
63			アカエリヒレアシシギ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					シギ科sp.	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	2	
64				カモメ	ミツユビカモメ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65					ユリカモメ	7,289	5,450	5,808	6,789	4,167	2,899	3,793	1,448	1,424	2,010	848	1,588
66					ウミネコ	142	249	225	417	396	302	67	222	98	129	73	121
67			カモメ		3	4	13	5	0	0	1	0	23	0	6	2	
68			シロカモメ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
69			セグロカモメ		297	217	189	337	245	163	163	128	145	170	104	119	
70			オオセグロカモメ		4	1	8	12	2	2	2	5	6	3	2	1	
71			コアジサシ		37	84	78	36	89	61	63	45	33	59	14	17	
72			アジサシ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
73		クロハラアジサシ	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*			カモメ科sp.		84	0	3	2	3	32	84	19	2	0	9	60	
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
75		タカ	トビ		3	0	0	1	3	0	0	1	1	1	2	2	
76			ツミ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
77			ハイタカ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78			オオタカ	1	1	2	3	2	3	5	3	1	2	1	2		
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					タカ科sp.	0	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
81			トラフズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
82			コミミズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	4	11	8	6	4	26	17	13	10	11	7	9		
84	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
85			コゲラ	21	26	25	22	37	18	15	23	17	18	23	21		
86			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
87	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	31	31	32	24	20	15	13	12	19	20	16	10		
88			ハヤブサ	0	0	0	0	0	2	1	1	2	1	2	0		
89	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
90		モズ	モズ	52	46	76	53	103	88	72	68	66	69	53	68		
91		カラス	カケス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
92			オナガ	709	622	840	635	591	739	757	763	990	929	824	644		
93			ハシボソガラス	1,212	1,441	998	1,004	802	834	829	922	912	965	842	975		
94			ハシブトガラス	3,207	3,282	2,698	2,659	1,903	1,702	1,642	1,707	1,223	1,203	1,146	1,184		
*				カラス科sp.	10	30	12	32	121	125	59	27	7	10	42	22	
95		ツリスガラ	ツリスガラ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
96		シジュウカラ	コガラ	31	0	0	4	0	9	18	4	0	0	0	0	0	
97			ヤマガラ	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
98			ヒガラ	0	0	0	0	0	0	0	2	10	3	0	2		
99			シジュウカラ	299	315	584	611	537	470	491	441	651	476	556	585		
100		ヒバリ	ヒバリ	118	96	63	67	74	127	77	86	50	71	46	33		
101		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
102			ツバメ	627	587	665	578	553	589	574	456	506	419	327	371		
103			イワツバメ	36	17	20	4	6	45	14	7	36	26	55	36		
104		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,646	2,863	3,415	2,665	3,058	2,285	2,178	2,118	2,597	2,173	2,742	2,689		
105		ウグイス	ウグイス	41	39	58	60	39	44	32	15	26	24	20	28		
*				ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
106	エナガ	エナガ	0	0	6	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0		
107	ムシクイ	メボソムシクイ(上種含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
108		センダイムシクイ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0		
109	メジロ	メジロ	416	296	588	510	561	401	420	366	494	375	568	366			
110	ヨシキリ	オオヨシキリ	92	101	83	68	84	67	56	52	47	29	43	72			
111		コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
112	セッカ	セッカ	51	28	19	31	35	34	26	26	36	10	13	29			
113	レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
114		ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0		
115	ムクドリ	ムクドリ	5,967	6,658	7,223	6,748	6,680	6,459	5,781	6,902	7,823	7,156	7,527	7,382			
116		コムクドリ	38	6	30	24	31	18	13	38	3	0	9	4			

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

No	目名	科名	種名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27		
117	スズメ	ヒタキ	シロハラ	12	0	16	3	9	11	6	2	14	1	8	6		
118			アカハラ	6	0	9	6	6	6	3	0	7	1	1	2		
119			ツグミ	844	588	767	618	1,190	669	1,343	716	875	459	630	577		
120			ルリビタキ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
121			ジョウビタキ	91	43	64	67	70	57	64	35	62	41	42	41		
122			ノビタキ	0	0	1	1	5	0	1	9	1	0	1	0	0	
123			サバクヒタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
124			イトヒヨドリ	0	1	0	5	1	5	3	2	4	2	2	3		
125			エゾビタキ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
126			サメビタキ	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
127			コサメビタキ	0	1	1	0	0	0	1	1	1	1	2	1		
128			キビタキ	1	1	0	1	2	3	0	2	0	0	0	1		
129			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
130			オオルリ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
*					ヒタキ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131			スズメ		ニューナイスズメ	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
132					スズメ	15,258	15,573	14,844	15,073	14,726	13,913	14,747	14,010	14,028	13,580	14,173	12,779
133			セキレイ		キセキレイ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0
134					ハクセキレイ	698	684	676	677	631	536	562	556	489	439	467	507
135					セグロセキレイ	0	0	1	0	0	0	1	0	13	0	12	14
136		ビンズイ		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
137		タヒバリ		90	66	62	77	109	73	106	69	133	41	65	51		
*				セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
138	アトリ			アトリ	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	
139			カワラヒワ	619	496	851	722	734	646	687	596	693	529	1,258	1,108		
140			マヒワ	0	0	0	0	0	0	3	0	24	0	0	0		
141			ベニマシコ	4	0	1	0	0	2	0	0	4	0	9	2		
142			ウソ	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0		
143			シメ	10	1	3	6	19	7	14	1	23	1	24	10		
144			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	
145		ホオジロ		ホオジロ	37	24	35	35	33	29	17	25	49	17	43	28	
146			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		
147			キマユホオジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
148			カシラダカ	2	9	0	0	1	0	11	3	2	0	4	4		
149			アオジ	171	129	133	119	81	57	55	40	108	46	107	51		
150			クロジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
151			シベリアジュリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
152			オオジュリン	348	265	299	347	248	223	208	133	205	122	199	197		
*				ホオジロ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
総 合 計 (羽)				46,997	46,946	46,911	47,472	43,141	39,492	41,513	36,862	38,584	36,776	37,192	38,211		

*	(参考) ※	アイガモ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		ワカケホンセイインコ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		ドバト	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		セキセイインコ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
*		ガビチョウ	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載。  
 ※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。  
 ※アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和2年度から参考として掲載。  
 ※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。  
 ※種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6					
1	キジ	キジ	キジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
2			コジュケイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
3	カモ	カモ	ハクガン	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
4			コハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
5			オオハクチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
6			オシドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1			
7			オカヨシガモ	0	2	5	1	0	0	0	0	14	4				
8			ヨシガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
9			ヒドリガモ	923	593	698	529	726	313	454	442	343					
10			アメリカヒドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
11			マガモ	0	5	13	36	18	45	29	26	32					
12			カルガモ	563	707	803	666	667	744	711	774	656					
13			ハシビロガモ	2	26	3	8	1	0	0	9	0					
14			オナガガモ	279	212	178	85	51	43	33	3	0					
15			トモエガモ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
16			コガモ	224	197	133	112	96	100	95	102	68					
17			オオホシハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
18			ホシハジロ	172	155	87	176	145	112	230	263	299					
19			アカハジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
20			キンクロハジロ	176	121	177	175	172	95	241	202	194					
21			スズガモ	1	1	0	7	3	11	23	4	1					
*					カモH	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
*			アメリカヒドリH	0	0	0	0	0	0	0	1	0					
*			カモ科sp.	18	48	76	24	24	119	57	14	5					
*			ハクチョウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
22	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	6	20	47	24	50	30	41	36	38					
23			カンムリカイツブリ	25	11	5	18	8	14	31	21	26					
24			ハジロカイツブリ	0	0	0	1	0	0	1	0	0					
*			カイツブリ科sp.	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0				
25	ハト	ハト	キジバト	710	638	746	569	593	765	718	720	871					
26			シラコバト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
27			アオバト	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0				
*			ハト科sp.	0	0	0	0	0	0	0	11	2					
28	カツオドリ	ウ	カワウ	627	714	639	413	356	647	2,183	1,976	997					
*			ウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
29	ペリカン	サギ	ヨシゴイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
30			ゴイサギ	12	11	13	6	3	1	0	0	0	0				
31			ササゴイ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0				
32			アカガシラサギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
33			アマサギ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0				
34			アオサギ	93	78	94	69	65	96	95	98	84					
35			ダイサギ	44	56	36	38	58	32	54	61	39					
36			チュウサギ	1	0	2	0	0	0	3	1	1					
37			コサギ	81	75	44	23	22	61	37	54	46					
*					サギ科sp.	0	0	0	2	0	1	0	0	0			
38	ツル	クイナ	クイナ	2	0	2	1	0	0	0	5	2					
39			ヒクイナ	0	0	0	0	0	0	0	1	1					
40			バン	25	42	42	43	38	18	10	23	18					
41			オオバン	679	692	628	450	775	789	723	626	847					
42	カッコウ	カッコウ	ホトトギス	0	0	0	0	0	0	0	1	0					
43			ツツドリ	0	0	0	0	0	0	0	1	0					
44			カッコウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
*			カッコウ科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
45	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	0	13	0	0	0	0	0	7	1					
46			ヒメアマツバメ	4	0	0	0	0	1	0	20	2					
47	チドリ	チドリ	タゲリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
48			ダイゼン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
49			イカルチドリ	8	1	0	1	0	0	0	23	0					
50			コチドリ	2	11	6	13	1	10	5	4	9					
51			シロチドリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
52			メダイチドリ	0	0	18	0	0	13	3	5	0					
*					チドリ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0				
53			セイタカシギ	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0				
54		シギ	2	1	2	1	3	2	0	7	1						

\*種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。

\*種名にHとあるものは交雑種 (hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

No	目名	科名	種名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6				
55	チドリ	シギ	オオソリハシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
56			チュウシヤクシギ	3	2	4	0	0	3	12	3	5				
57			クサシギ	0	0	1	1	0	0	0	0	0				
58			タカブシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
59			キアシシギ	0	5	21	0	0	15	27	3	6				
60			イソシギ	80	110	47	46	55	61	51	62	66				
61			キョウジョシギ	0	0	0	0	0	0	3	0	0				
62			ハマシギ	1	0	0	0	0	0	8	0	0				
63			アカエリヒレアシシギ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
*					シギ科sp.	0	4	0	4	0	1	8	3	0		
64			カモメ	ミツユビカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
65				ユリカモメ	1,825	1,859	1,168	806	1,011	183	163	454	450			
66				ウミネコ	20	14	17	67	11	20	14	15	14			
67				カモメ	1	7	18	5	5	0	6	0	4			
68				シロカモメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
69				セグロカモメ	54	69	28	31	42	24	53	145	72			
70				オオセグロカモメ	3	0	1	4	0	1	1	0	1			
71				コアジサシ	25	27	18	5	4	3	36	14	35			
72				アジサシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
73				クロハラアジサシ	0	0	0	0	1	0	0	0	0			
*			カモメ科sp.	14	0	6	4	17	22	68	4	3				
74	タカ	ミサゴ	ミサゴ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
75		タカ	トビ	0	1	1	3	2	8	20	19	19				
76			ツミ	4	6	13	8	3	6	8	7	12				
77			ハイタカ	0	0	0	0	1	0	0	2	2				
78			オオタカ	1	0	1	2	1	5	3	7	3				
79			ノスリ	0	0	0	0	0	0	0	2	1				
*					タカ科sp.	0	0	0	0	1	0	0	1	1		
80	フクロウ	フクロウ	アオバズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
81			トラフズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
82			コムミズク	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
83	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	10	15	14	12	13	10	7	10	14				
84	キツツキ	キツツキ	アリスイ	0	0	0	0	0	0	0	0	1				
85			コゲラ	22	18	10	7	15	14	14	9	8				
86			アカゲラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
87	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	11	19	12	14	18	11	15	8	18				
88			ハヤブサ	3	1	3	0	0	2	1	0	1				
89	スズメ	サンショウクイ	サンショウクイ	0	0	0	2	0	0	0	0	0				
90		モズ	モズ	83	73	61	46	51	57	51	69	62				
91		カラス	カケス	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
92			オナガ	798	893	897	951	747	872	728	1,049	1,394				
93			ハシボソガラス	946	893	879	696	869	932	1,022	1,110	1,163				
94			ハシブトガラス	1,097	1,197	1,274	849	926	1,042	922	842	1,036				
*				カラス科sp.	22	5	16	30	19	35	44	16	32			
95		ツリスガラ	ツリスガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
96		シジュウカラ	コガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
97			ヤマガラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
98			ヒガラ	0	0	0	1	4	0	0	0	0				
99			シジュウカラ	612	657	575	423	534	666	512	725	642				
100		ヒバリ	ヒバリ	24	27	22	10	14	23	8	12	17				
101		ツバメ	ショウドウツバメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
102			ツバメ	476	360	487	428	202	263	335	210	202				
103			イワツバメ	28	14	27	6	16	8	9	9	13				
104		ヒヨドリ	ヒヨドリ	2,734	2,512	2,640	2,061	2,335	2,127	2,607	2,498	2,629				
105		ウグイス	ウグイス	21	26	14	22	15	22	20	38	31				
*				ウグイス科sp.	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
106		エナガ	エナガ	0	1	0	6	3	4	11	0	0				
107	ムシクイ	メボソムシクイ(上種含む)	0	0	0	0	0	0	0	1	0					
108		センダイムシクイ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0				
109	メジロ	メジロ	477	367	327	310	330	374	315	471	408					
110	ヨシキリ	オオヨシキリ	70	58	111	27	11	33	25	36	54					
111		コヨシキリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
*			ヨシキリ科sp.	0	0	0	0	0	0	1	0	1				
112	セッカ	セッカ	18	19	2	14	9	7	19	34	23					
113	レンジャク	キレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
114		ヒレンジャク	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
115	ムクドリ	ムクドリ	7,332	8,301	7,460	5,625	5,058	6,612	6,224	6,602	6,427					
116		コムクドリ	30	4	0	1	0	3	0	0	0					

※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。メボソムシクイ上種は、コムシクイ、オオムシクイ、メボソムシクイのいずれか。

資料9 年度別確認種及び個体数一覧

No	目名	科名	種名	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6							
117	スズメ	ヒタキ	シロハラ	6	2	2	3	6	2	4	3	4							
118			アカハラ	3	0	2	0	0	1	1	2	0							
119			ツグミ	591	461	270	180	458	332	324	450	277							
120			ルリビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
121			ジョウビタキ	61	34	33	17	36	28	24	37	48							
122			ノビタキ	0	0	0	0	0	1	0	0	1							
123			サバクヒタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
124			イトヒヨドリ	5	4	5	5	7	4	2	7	4							
125			エゾビタキ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
126			サメビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
127			コサメビタキ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0						
128			キビタキ	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0						
129			オジロビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
130			オオルリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
*					ヒタキ科sp.	1	0	1	0	0	0	0	0	1					
131			スズメ		ニューナイスズメ	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
132					スズメ	13,013	11,545	9,853	7,697	7,542	7,046	5,752	6,061	6,753					
133			セキレイ		キセキレイ	0	0	1	1	1	0	0	0	0					
134					ハクセキレイ	447	494	443	344	466	516	518	525	500					
135					セグロセキレイ	7	33	8	1	0	2	3	8	8					
136		ビンズイ		0	0	16	2	0	0	0	0	0							
137		タヒバリ		17	18	6	9	25	73	90	112	73							
*				セキレイ科sp.	0	0	0	0	0	0	3	0	0						
138	アトリ			アトリ	149	0	34	0	0	2	0	12	0						
139			カワラヒワ	836	757	514	245	397	382	352	296	546							
140			マヒワ	0	0	0	0	0	0	5	0	11							
141			ベニマシコ	7	0	0	0	4	0	1	0	0							
142			ウソ	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
143			シメ	9	7	24	8	1	3	1	0	0							
144			コイカル	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
145		ホオジロ		ホオジロ	13	23	36	7	15	16	7	19	50						
146			ホオアカ	0	0	0	0	0	0	1	0	0							
147			キマユホオジロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
148			カシラダカ	2	0	1	0	4	2	0	10	6							
149			アオジ	48	30	41	18	33	38	28	61	42							
150			クロジ	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
151			シベリアジュリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
152			オオジュリン	102	65	54	35	94	68	78	80	60							
*			ホオジロ科sp.	0	0	4	4	0	0	0	0	0							
総合計(羽)				36,847	35,471	32,027	24,596	25,309	26,047	26,342	27,731	27,842							

*	(参考) ※	アイガモ					253	256	235	156	164							
*		ワカケホンセイインコ			11	29	39	52	81	103	182							
*		ドバト				2,594	4,393	6,410	5,652	6,130	6542							
*		セキセイインコ								1	0	0						
*		ガビチョウ									3	5						

※ワカケホンセイインコの数は調査記録があったもののみ集計し、平成30年度から参考として掲載。  
 ※ドバトの数は調査記録があったもののみ集計し、令和元年度から参考として掲載。  
 ※アイガモの数は調査記録があったもののみ集計し、令和2年度から参考として掲載。  
 ※種名にsp.とあるものは、種名まで確認できなかったもの。  
 ※種名にHとあるものは交雑種(hybrid)。特定の種の特徴が強く表れているものは、その種名の後にHをつけている。

年度	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
モニター人数	23	36	36	31	27	30	29	32	31	33	34	36	33	35	36	37	34
調査地域数	23	36	36	36	32	35	34	37	38	39	40	40	38	40	39	39	39

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
モニター人数	36	38	36	40	40	38	40	40	40	39	40	40	40	40	37	39
調査地域数	39	41	41	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40

## 資料10 令和6年度 野鳥モニター活動記録

4月	野鳥モニターに区内の野鳥生息調査を委嘱
4月21日(日)	野鳥モニター基礎研修会
5月	野鳥生息調査(1回目)
7月	野鳥生息調査(2回目)
8月19日(月)	野鳥モニター調査報告会
9月	野鳥生息調査(3回目)
11月	野鳥生息調査(4回目)
11月17日(日)	野鳥モニター研修会(舎人公園)
1月	野鳥生息調査(5回目)
3月	野鳥生息調査(6回目)



野鳥モニター研修会



チョウゲンボウ



カイツブリ



アオサギ



カルガモ



ツミ



サンカノゴイ



チョウゲンボウ

令和7年10月発行

発行 足立区

編集 足立区 環境部 環境政策課 環境事業係

足立区中央本町一丁目17番1号

電話03-3880-5860

